

HDDナビゲーション内蔵
HDD/DVD/MS 7.0VGA-AVシステム

AVN9903HD

取扱説明書

オーディオ編

お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくご使用いただくために、
この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も必要ときに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

 アドバイス	本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと 本機が故障したときにしていただきたいこと
 ワンポイント	知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと

はじめに

本書の見方	8
特長	10
操作概要	12
ご使用になる前に	16
ディスクについて	17
“メモリースティック”について	20
液晶パネルについて	21
TVについて	21

基本操作

ソースの切り替え方	22
ソースを切り替える	22
操作画面の表示	22
各ソースの操作画面	23
音の調整	24
主音量の調整	24
操作音の設定	24
音質の調整	25
音質調整画面の表示	25
SOUND調整画面を表示する	25
SETTING画面の表示	25
その他の音質調整画面を 表示する	25
DSP（音場）の設定	28
DSP（音場）モードを 設定する	28
DSP（音場）の調整、記憶	28
DSP（音場）レベルを リセットする	28
EQ（イコライザ）の調整	29
音質を設定する	29
EQカーブの調整、記憶	29
EQカーブをリセットする	30
リスニングポジションの設定	31
音量バランスの調整	32

オートLOUDの設定	33
MP3音質補正の設定 (MP3ハーモナイザー) ...	33
サブウーファの設定	34
位相を切り替える (Phase Control) ...	34
サブウーファの出力を 調整する ...	34
サラウンドシステムの調整	35
Dolby Pro Logicを設定する	35
COMPRESSIONを調整する	36
Center Blendを調整する	36
Center Levelを調整する	37
Rear Levelを調整する	37
スピーカーの調整	38
スピーカーサイズを設定する	38
タイムアライメントの調整	40
出力レベルの調整	40
背景画の設定	41
Pic-CLIPの設定	41
Pic-CLIPを切り替える	41
Pic-CLIPを書き換える	42
画像データを保存する	44
画像データを消去する	46
画面の調整・設定	48
画質調整画面の表示	48
ライト点灯時に昼画表示に するには ...	49
画面を消すときは	49
画質の調整	50
サブディスプレイの コントラスト調整 ...	51
優先画面の設定	51
画面スイッチの表示切り替え	52
時計表示の切り替え	52
画面モード切り替え	53

ラジオの操作

ラジオの使い方	54
ラジオを聞く	54
聞きたい放送局を選ぶ	54
手動で選ぶ	54
自動で選ぶ	54
プリセットスイッチ／番号ボタン から選ぶ ...	55
放送局を記憶する	55
マニュアル（手動）で 記憶する ...	55
AUTO.P（自動）で記憶する ...	56
AUTO.Pで記憶した放送局を 変更する ...	56
エリアスイッチについて	57
局名スイッチについて	57
ラジオを止める	57

CDプレーヤーの操作

CDプレーヤーの使い方	58
CDを聞く	58
聞きたい曲を選ぶ	59
早送り・早戻しする	59
聞きたい曲を探す	59
同じ曲を繰り返して聞く	60
曲の順番をランダムに聞く	60
トラック情報の表示について	61
トラックナンバー・再生時間を 表示する ...	61
トラック情報を切り替える	61
CDを止める	61

MP3プレーヤーの操作

MP3プレーヤーの使い方	62
MP3を聞く	63
聞きたいフォルダを選ぶ	63

聞きたい音楽ファイルを選ぶ	64
フォルダ・ファイル切り替え スイッチから選ぶ ...	64
TUNE／TRACKボタンから 選ぶ ...	64
早送り・早戻しする	64
階層の表示を切り替える	64
聞きたい音楽ファイルを探す	65
同じ音楽ファイルを 繰り返して聞く ...	65
順番をランダムに聞く	66
ファイル情報の表示について	66
フォルダ・ファイル名を 表示する ...	67
ファイル情報を表示する	67
再生時間を表示する	67
トラック情報を切り替える	67
MP3を止める	67
MP3について	68
再生可能なMP3ファイルの 規格について ...	68
ID3タグについて	68
使用できるメディアについて	68
使用できるディスクの フォーマットについて ...	69
ファイル名について	70
マルチセッションについて	70
MP3の再生について	70
MP3の演奏時間表示について ...	70
MP3ファイル、フォルダの リスト表示順番 ...	70
MP3ファイルの作り方、 楽しみ方 ...	71
インターネット上のMP3音楽配信 サイトから入手する場合 ...	71
音楽CDからMP3ファイルに 変換する場合 ...	71
CD-R/RWに書き込む場合	71

“メモリースティック”プレーヤーの操作

“メモリースティック”プレーヤー の使い方 ...	72
“メモリースティック”を聞く	72
聞きたい曲を選ぶ	73
早送り・早戻しする	73
聞きたい曲を探す	73
同じ曲を繰り返して聞く	74
曲の順番をランダムに聞く	74
トラック情報の表示について	75
フォルダ・ファイル名を 表示する ...	75
トラックナンバー・再生時間を 表示する ...	75
トラック情報を切り替える	75
“メモリースティック”を止める ...	75

CDチェンジャーの操作

CDチェンジャーの使い方	76
CDを聞く	76
聞きたい曲を選ぶ	76
早送り・早戻しする	76
聞きたいCDを選ぶ	77
チェンジャー内の全CDから 聞きたい曲やCDを探す ...	77
聞きたい曲を探す	77
聞きたいCDを探す	77
聞きたい曲や同じCDを 繰り返し聞く ...	78
いま聞いている曲を繰り返し 再生する ...	78
いま聞いているCDを繰り返し 再生する ...	78
曲の順番をランダムに聞く	78
いま聞いているCDの中から ランダムに聞く ...	78

チェンジャー内全CDの中から ランダムに聞く ...	78
トラックナンバー・再生時間を 表示する ...	79
CDを止める	79

MDチェンジャーの操作

MDチェンジャーの使い方	80
MDを聞く	80
聞きたい曲を選ぶ	81
早送り・早戻しする	81
聞きたいMDを選ぶ	81
チェンジャー内の全MDから 聞きたい曲やMDを探す ...	82
聞きたい曲を探す	82
聞きたいMDを探す	82
聞きたい曲や同じMDを 繰り返し聞く ...	83
いま聞いている曲を繰り返し 再生する ...	83
いま聞いているMDを繰り返し 再生する ...	83
曲の順番をランダムに聞く	84
いま聞いているMDの中から ランダムに聞く ...	84
チェンジャー内全MDの中から ランダムに聞く ...	84
トラック情報の表示について	85
ディスクタイトル・トラック タイトルを表示する ...	85
トラックナンバー・再生時間を 表示する ...	85
トラック情報を切り替える	85
MDを止める	86

MUSIC JUKEの操作

MUSIC JUKEを

- お使いになる前に ... 87
- MUSIC JUKEの概要 87
- MUSIC JUKEの構成について ... 87
 - プレイモード・プレイリストに
ついて ... 88
- データベースについて 89
 - Gracenote CDDbについて 89
 - オートタイリング機能に
ついて ... 90
- データベース情報の表示・更新 ... 91
 - データベース情報を表示する 91
 - データベースを更新する 91
- ハードディスクの容量確認 92
- 操作の流れについて 93

MUSIC JUKEへの録音 94

- MUSIC JUKEへの
録音について ... 94
 - 録音できるオーディオソースと
録音方式について ... 94
 - 録音についての注意 94
 - デジタル録音について 95
 - アナログ録音について 95
- 録音方式の設定 96
 - デジタル録音モードを
設定する ... 96
 - オートトラックマークを
設定する ... 97
 - 録音ビットレートを設定する 97
- MUSIC JUKEへの録音 98
 - CDを再生しながら自動で
録音する ... 99
 - CDの中から好みのトラック
(音楽) を録音する ... 100
 - CDプレーヤー以外のオーディオ
モードから録音する ... 100

MUSIC JUKEの使い方 101

- MUSIC JUKEを聞く 101
 - 聞きたいトラック (曲) を選ぶ ... 101
 - TUNE/TRACKボタンから
選ぶ ... 102
 - プレイリスト画面から選ぶ 103
 - 早送り・早戻しする 104
 - 聞きたいトラック (曲) を探す ... 104
 - プレイリストの中から聞きたい
曲を探す ... 104
 - プレイモードの中から聞きたい
プレイリストを探す ... 104
 - 聞きたいトラック (曲) を
繰り返し聞く ... 105
 - いま聞いている曲を繰り返し
再生する ... 105
 - いま聞いているプレイリストを
繰り返し再生する ... 105
- トラック (曲) の順番を
ランダムに聞く ... 106
 - いま聞いているプレイリストの
中からランダムに再生する ... 106
 - MUSIC JUKEに保存されている全曲
の中からランダムに再生する ... 106
- トラック情報の表示について 107
 - トラックナンバー・再生時間を
表示する ... 107
 - トラック情報を切り替える 107
- MUSIC JUKEを止める 108
- プレイリストの編集 109
 - プレイリストの作成 109
 - プレイリストの名称入力 111
 - カナ、英字、数・記号の入力 ... 111
 - リスト名称の編集 112
 - プレイリスト・トラックの
並び替え ... 114
 - お好みに合わせて並び替える ... 114
 - 作成した順番に並び替える 114
 - プレイリストの消去 115

トラックの編集	116
トラックの追加	116
トラックの検索	117
トラック情報の編集	117
トラック編集画面の 呼び出し ...	117
トラックタイトルを変更する ...	118
アーティストを変更する	119
ジャンルを変更する	119
トラックの消去	120

TVの操作

TVの使い方	122
TVを見る	122
見たいチャンネルを選ぶ	123
手動で選ぶ	123
自動で選ぶ	123
プリセットスイッチから選ぶ ...	123
チャンネルを記憶する	123
マニュアル（手動）で 記憶する ...	123
AUTO.P（自動）で 記憶する ...	124
AUTO.Pで記憶したチャンネルを 変更する ...	124
マルチチャンネルビューを 表示する ...	125
TV設定画面の切り替え	125
エリアスイッチについて	126
局名スイッチについて	126
音声多重放送を切り替える	126
TVソースを終わる	126

DVD/VTRの操作

DVDプレーヤーを お使いになる前に ...	127
DVDビデオの特長	127
マルチ音声機能について	127

マルチアングル機能 について ...	127
字幕表示機能について	128
ディスクについて	128
再生できるディスクの種類に ついて ...	128
再生可能なディスクの地域番号 （リージョンコード）について ...	128
再生できるサラウンド システムについて ...	129
ディスクに表示されている マークについて ...	129
ディスクの構成について	129
操作の流れについて	130
DVDプレーヤーの使い方	131
DVDを見る	131
映像を操作する	132
映像を再生する	132
早送り・早戻しする	132
パネルボタンから 早送り・早戻しする ...	132
タッチスイッチから 早送り・早戻しする ...	132
映像を一時止める	132
映像を止める	132
ディスクメニューを操作する	133
チャプターナンバー・再生時間を 表示する ...	133
DVDを止める	133
見たい映像を探す	134
チャプターから探す	134
タイトル番号から探す	134
メニュー番号から探す	135
タッチスイッチの表示を 切り替える ...	136
タッチスイッチを消す	136
タッチスイッチの表示場所を 切り替える ...	136
画面表示・音声の切り替え	136

アングルの切り換え	136
字幕言語の切り替え	137
音声言語の切り替え	137
DVDプレーヤーの設定	138
音声言語を設定する	139
コードを入力する	139
字幕言語を設定する	139
コードを入力する	139
メニュー言語を設定する	140
コードを入力する	140
マルチアングルマーク（アングル選 択マーク）の表示を設定する ...	140
視聴制限を設定する	141
映像出力を切り替える	142
言語コード一覧	143
VTRの使い方	144
VTRを見る	144
VTRソースを終わる	144

マルチウィンドウの操作

マルチウィンドウ機能	145
マルチウィンドウについて	145
マルチメニュー画面	145

マルチウィンドウ画面の操作	147
TV・DVD画面の操作	147
目的地情報画面の操作	148
オーディオ画面の操作	148

ご参考に

知っておいて

 いただきたいこと ... 149

 こんなメッセージが

 表示されたときは ... 149

 CD／MP3

 CDCH／MDCH

 MEMORY STICK

 MUSIC JUKE

 TV／DVD

 その他

 故障とお考えになる前に

用語説明

gracenote CDDbの

 ご利用について ... 162

目的別索引

索引

目的別索引は各機能の説明ページを簡単に検索できます。
操作でお困りのときは、目的別索引から該当の操作を検索
してお使いください。

●製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。

これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。

●仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

本書はやさしく取り扱ってください。

無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

本書の見方

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル

項目ごとにタイトルがつけられています。

操作タイトル

操作目的ごとにタイトルがつけられています。

操作条件

2通りの操作があり、それぞれ操作が違う場合につけられています。

●タッチスイッチの操作

ディスプレイを立ち上げて操作することを表示しています。

●パネルボタンの操作

ディスプレイを収納して操作することを表示しています。

操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作してください。

ワンポイント

操作に関連することなどを記述しています。

●本操作

●音の調整

●主音量の調整

主音量の調整レベルは0～80です。

●●タッチスイッチの操作

1 VOLスイッチを押します。

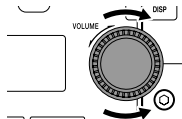
- (上側) : 音量UP (大きくなる)
- (下側) : 音量DOWN (小さくなる)



●パネルボタンの操作

1 VOLUMEボタンを回します。

- 右に回す : 音量が大きくなる
- 左に回す : 音量が小さくなる



操作音の設定

パネルボタンを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの操作音を設定することができます。

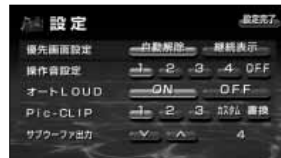
1 **INFO**を押します。

2 **設定**にタッチします。



3 操作音設定の **1**、**2**、**3**、**4**、**OFF** のいずれかにタッチします。

- **OFF** にタッチすると、操作音が解除 (消音) になります。



4 **設定完了**にタッチします。



ワンポイント

- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- オーディオソースを切り替えたとき、音量に違いが生じることがあります。音量は、お使いになるオーディオソースに合わせて調整してください。
- DVDプレーヤーを再生中に音量を調整すると、DVDプレーヤー用の音量レベルとして記憶させることができます。
- DVDプレーヤー再生中に調整した音量レベルは、他のオーディオソースでは機能しません。DVDの前に使用していたオーディオソースで調整した音量レベルになります。

基本操作

音質の調整

車室内では再生するメディアやお聞きになる音楽の種類、スピーカーからの距離など、さまざまな要因で音本来の性質を大きく変えられてしまいます。
本機は、それらを調整することで最適な音質を設定することができます。

音質調整画面の表示

SOUND調整画面を表示する

- 1 各オーディオ操作画面、またはTV・VTR・DVD設定画面で[SOUND]にタッチします。

- SOUND調整画面が表示されます。
- SOUND調整画面から27ページの操作を行うことができます。



SETTING画面の表示

- 2 SOUND調整画面で[SET]にタッチします。

- SETTING画面が表示されます。
- SETTING画面から27ページの操作を行うことができます。



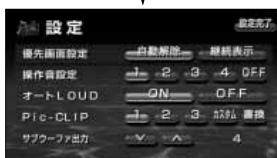
その他の音質調整画面を表示する

- 1 [INFO]を押します。

- インフォメーション（情報）画面が表示されます。

- 2 [設定]にタッチします。

- 各設定画面が表示されます。
- 設定画面から27ページの操作を行うことができます。



セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

操作画面

操作する画面を表示しています。

次のページに続く

次のページに操作説明が続くことを表示しています。



TV、VTR操作画面では[設定]に、DVD操作画面では[NEXT]、[設定]の順にタッチすると[SOUND]が表示されます。

次ページに続く

25

ボタン／スイッチ表示について

パネルボタンを押すときは、[]（[SOURCE]・[REC]など）でボタン名称を表示しています。

画面のタッチスイッチにタッチするときは、[]でスイッチ名称を表示しています。

1つ前の画面にもどるときは、[戻る]にタッチするとタッチした画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないものがあります。）

特長

ディスプレイ立ち上げ時、ディスプレイ収納時と、どちらからでもオーディオの操作が可能なディスプレイ収納式AVN

本機は、ディスプレイ立ち上げ時、収納時とどちらの状態でもオーディオの操作が可能です。ディスプレイを必要としない場合は収納時のオーディオパネルで、TVやDVDなどディスプレイが必要な場合は立ち上げ時のタッチディスプレイでオーディオを操作することができます。

音楽の録音や画像の保存を可能にしたMUSIC JUKE (ミュージックジューク) (87ページ)

大容量の音楽専用ハードディスクを搭載し、各オーディオモードから流れる音楽や音声を、好きなときに簡単に録音できます。大量に録音したデータも種類別に検索し簡単に探し出すことができるほか、編集機能でMUSIC JUKEにあなただけのプライベートアルバムを作成することもできます。



さまざまな演奏会場を擬似的に再現するDSP機能 (28ページ)

お聞きになる音楽のジャンルやソースによって、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現し、楽しむことができます。



多様なサラウンド方式に対応する音質調整機能 (35ページ)

Dolby Digital(5.1ch) や DTS (5.1ch)、Dolby Pro Logicに対応しており、車室内で映画館やコンサートホールのような迫力ある臨場感を楽しむことができます。



約1/10に圧縮した音楽ディスクを再生するMP3プレーヤー (62ページ)

MP3形式で編集されたCD-R、CD-RWディスクを再生します。(MP3は一枚のCD-R、CD-RWに音楽アルバム数枚分の曲を収録することができる形式です。)



パソコンや携帯電話などからダウンロードした音楽を再生する"メモリースティック"プレーヤー (72ページ)

高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術、ATRAC3に対応しています。パソコンや携帯電話などから"MGメモリースティック"にダウンロードした音楽データを再生することができます。



美しい映像と迫力あるサウンドが 楽しめるDVDプレーヤー(127ページ)

高画質・高音質で記録されたDVD-Videoを再生します。(DVDは、映画1本分に相当する高画質映像と、CDを上回る高音質なデジタルサウンドを記録することができるメディアです。)



複数の番組を同時に表示するTV マルチチャンネルビュー機能

(125ページ)

プリセットされている放送局の番組情報を順次表示します。放送中の番組を一度に確認することができます。



ナビゲーションと各オーディオ 画面などを同時表示するマルチ ウィンドウ機能 (145ページ)

ナビゲーションの画面とオーディオ、またはテレビの操作画面を左右分割して同時に表示します。また、オーディオ機能以外に目的地情報や走行情報、時計を表示することができます。



お好みの画像を壁紙として 表示するPic-CLIP機能

(41ページ)

CD-R、CD-RW、“メモリースティック”に記録した画像データを取り込み、壁紙として表示することができます。



システムアップ

●CDチェンジャー (76ページ) ・MDチェンジャー (80ページ)

複数のディスクをノンストップで再生するので、ロングドライブなどのとき便利です。

また、それぞれのチェンジャーの中から聞きたい曲を簡単に探し出し、再生することもできます。

●外部ビデオ入力 (144ページ)

別売のビデオ接続コードで、本機とビデオ、またはゲーム機を接続すると、車室内でビデオやゲームを楽しむことができます。

●外部ビデオ出力

お手持ちのモニターを接続すると、本機で再生しているDVDなどの画像を映し出すことができます。

操作概要

本機には、ディスプレイを収納した状態と、立ち上げた状態があり、ディスプレイの状態により操作手順や操作できることが違います。

各機能と、ディスプレイ収納時および立ち上げ時の操作の概要は下記ようになります。

■基本操作

機能		ディスプレイ収納時	ディスプレイ立ち上げ時
ソースの切り替え		ロータリーボタン	SOURCE →各ソーススイッチ
音量の調整	主音量の調整	VOLUMEボタン	VOL + 、VOL -
	操作音の設定	—	INFO → 設定
音質の調整		—	SOUND →各音質スイッチ
		—	INFO → 設定
Pic-CLIP（壁紙）の設定		—	INFO → 設定
画像データの保存・消去		—	INFO → 次ページ → データ管理
画質の調整		LCD （一部）	マルチW/画質 →各調整スイッチ
優先画面の設定		—	INFO → 設定
時計表示の切り替え		DISP	—
画面モード切り替え		—	各オーディオ操作画面 → 設定 → ワイドモード

■ソースがラジオ・TVのとき

機能		ディスプレイ収納時	ディスプレイ立ち上げ時
放送局を選局する		▲ 、または V	▲ 、または V
放送局を記憶する	マニュアル操作	番号ボタン 1 ~ 6 （ラジオのみ）	プリセットスイッチ 1 ~ 6
	AUTO.P操作	—	AUTO.P
エリアスイッチ操作	ラジオの操作	—	エリア
	テレビの操作	—	設定 → エリア
局名スイッチ操作	ラジオの操作	—	局名
	テレビの操作	—	設定 → 局名
音声多重放送の切り替え（テレビのみ）		—	設定 → 主/副

■ソースがCD・MP3・“MG メモリースティック” のとき

機能	ディスプレイ収納時	ディスプレイ立ち上げ時
選曲 (音楽ファイル) ・早送り／早戻し	、または	、、または
フォルダ・音楽ファイルの選択 (MP3のみ)	番号ボタン 、または (フォルダ切り替えのみ)	、
曲 (音楽ファイル) の検索	番号ボタン	SCAN
繰り返し再生	番号ボタン	RPT
ランダム再生	番号ボタン	RAND
階層表示の切り替え	—	、 HOME
ディスプレイの表示切り替え	番号ボタン	TITLE 、または TITLE OFF (MP3のみ)

■ソースがCD／MDチェンジャーのとき

機能	ディスプレイ収納時	ディスプレイ立ち上げ時
ディスクの切り替え	番号ボタン 、または	ディスク番号スイッチ
選曲・早送り／早戻し	、または	、または
曲の検索	再生中のディスク内 番号ボタン (短押し)	SCAN
	チェンジャー内のディスク 番号ボタン (長押し)	DISC SCAN
曲の繰り返し再生	再生中の曲 番号ボタン (短押し)	RPT
	再生中のディスク 番号ボタン (長押し)	DISC RPT
曲のランダム再生	再生中のディスク内 番号ボタン (短押し)	RAND
	チェンジャー内のディスク 番号ボタン (長押し)	DISC RAND
ディスプレイの表示切り替え	番号ボタン (長押し)	TITLE 、または TITLE OFF (MDチェンジャーのみ)

操作概要

■ソースがMUSIC JUKEのとき

機能		ディスプレイ収納時	ディスプレイ立ち上げ時
音楽・音声の録音		●REC	●REC
データベース情報の表示・更新		—	INFO → 次ページ → データ管理
ハードディスクの容量確認		—	INFO → 次ページ → データ管理
録音方式の設定		—	設定
プレイモードの切り替え		—	PLAYMODE
			PLAYLIST → 各プレイモードスイッチ
プレイリストの切り替え		番号ボタン 1 、または 2	△ 、または ▽
			PLAYLIST → 各プレイリストスイッチ
選曲（トラック）・早送り／早戻し		△ 、または ▽	△ 、または ▽
曲の検索	再生中のプレイリスト内	番号ボタン 4 （短押し）	SCAN
	再生中のプレイモード内	番号ボタン 4 （長押し）	DISC SCAN
曲の繰り返し再生	再生中の曲	番号ボタン 5 （短押し）	RPT
	再生中のプレイリスト	番号ボタン 5 （長押し）	DISC RPT
曲のランダム再生	再生中のプレイリスト内	番号ボタン 6 （短押し）	RAND
	MUSIC JUKE内の全曲	番号ボタン 6 （長押し）	DISC RAND
ディスプレイの表示切り替え		番号ボタン 3	—
オリジナルプレイリストの作成		—	編集 → プレイリストの新規作成
プレイリストの編集		—	編集 → 名称編集
			→ プレイリストの編集
トラック情報の編集		—	編集 → 名称編集
			→ トラックの編集
オリジナルプレイリストのトラックの追加		—	編集 → トラックの追加
プレイリスト・トラックの消去		—	編集 → 削除

■ソースがDVDのとき

機能		ディスプレイ収納時	ディスプレイ立ち上げ時
映像の操作	再生	—	
	早送り・早戻し	、または	、 、または
	一時停止	—	
	スロー再生	—	→ (短くタッチ)
	コマ送り再生	—	→
	停止	—	
チャプターの切り替え		、または	、または
ディスクメニューの操作		—	NEXT → メニュー / トップメニュー → →
映像の検索	チャプターから検索する	、または	、または
	タイトル番号から検索する	—	NEXT → サーチ
	メニュー番号から検索する	—	NEXT → 数字
アングルの切り替え		—	NEXT → アングル → アングル切換
字幕言語の切り替え		—	NEXT → 字幕 → 字幕切換
音声言語の切り替え		—	NEXT → 音声 → 音声切換
DVDプレーヤーの設定		—	NEXT → 設定 → 初期設定

■マルチウィンドウの操作

機能	ディスプレイ収納時	ディスプレイ立ち上げ時
各操作	—	マルチW/画質 → 各ソーススイッチ

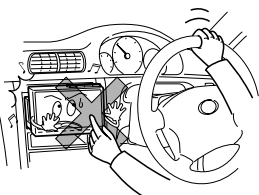
ご使用になる前に



●走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。

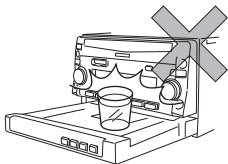
●走行中運転者はテレビの操作を極力しないでください。

●オーディオは、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。

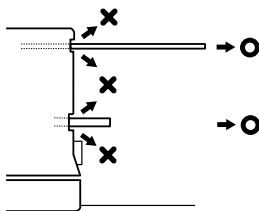


交通事故の原因となります。

モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。また、モニターを倒したままにしないでください。

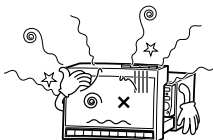


故障の原因となります。



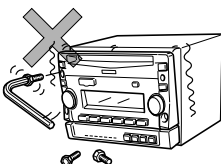
故障したままの使用は絶対しないでください。

煙、変な音、変なにおいがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。



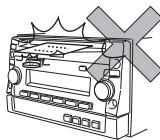
こんなときはすぐにオーディオの電源をOFFにしてください。

分解、改造はしないでください。



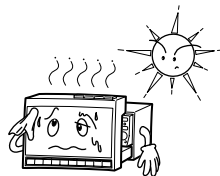
本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

差し込み口にはディスクおよび“メモリースティック”以外のものを絶対に入れないでください。



故障の原因となります。

車内温度には注意してください。夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げてからお使いください。



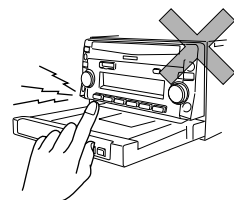
故障の原因となります。

モニターに強い力を加えたりしないでください。



故障の原因となります。

モニター収納時指などを差し込まないように注意してください。



ケガをしたり、故障の原因となります。

本機からディスクまたは“メモリースティック”を取り出すときは水平方向に引き出してください。

上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながらかき出さないでください。

ディスクに傷がつき、音とびをしたり、“メモリースティック”を破損するおそれがあります。

ディスクについて



ワンポイント

- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。
- コピーコントロールCD、レーベルゲートCDは再生できない場合があります。ご使用になる前に必ずディスクに付属されている説明書などをお読みください。



- CD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）は、ディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWやUDFフォーマットで書き込みされたCD-R、CD-RWは再生できません。
- 音楽用CD・映像用DVDは下記のマークのついたディスクが使用できます。



- Dolby Digital(5.1ch)音声やDTS(5.1ch)音声にも対応※1しており下記のマークのついたCD、およびDVDも使用できます。



※2



※3

※1 Dolby Digital(5.1ch)音声やDTS(5.1ch)音声で再生するためには、別売のセンタースピーカー、サブウーファなどが必要です。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

※2 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

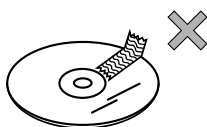
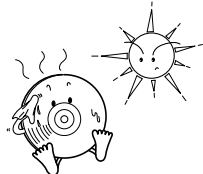
※3 DTS及びDTS Digital Surroundは、Digital Theater System,Inc.の商標です。

ご使用になる前に



ディスクの取扱いについて

- ディスクは直射日光を避け、必ずケースにいれて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。
- ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。

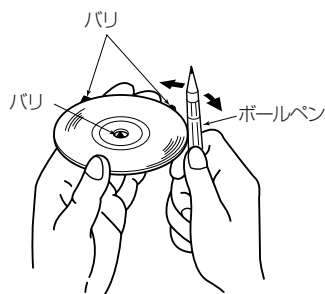


- 記録面に触れないように持ってください。(虹色に光っている面) ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。
- 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。



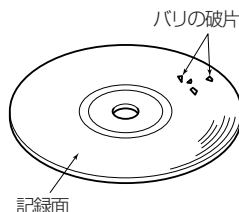
新しいディスクについて

- 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、“バリ”の破片がディスクの信号面に付着し、音とびをする場合があります。



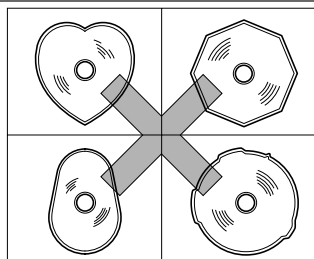
レンタルディスクについて

- ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



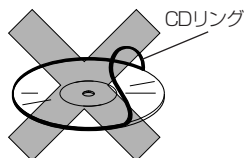
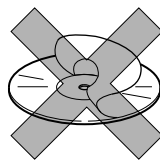
特殊形状のディスクについて

- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



ディスクのアクセサリについて

- 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。
- 音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリ（CDリング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



ご使用になる前に

“メモリースティック” について



ワンポイント

- 静電気や電氣的ノイズを受ける恐れのある場所に、“メモリースティック” を放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- “メモリースティック Duo” を使用する場合は、“メモリースティック Duoアダプター” をご使用ください。
- 128MBまでの容量の“メモリースティック”に対応しています。
- “メモリースティック PRO”には対応していません。
- “MG メモリースティック”の再生後およびHDDへデータ転送後は、すみやかに“メモリースティック”を取り出してください。
- 下記のマークの付いた“MG メモリースティック”は使用できます。

MAGIC GATE

- 下記のマークの付いた“メモリースティック”は本機に画像を取り込む場合のみ使用できます。

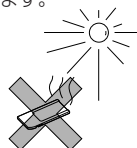
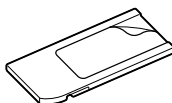


※ “MagicGate Memory Stick” (“マジックゲートメモリースティック”)  “Memory Stick” (“メモリースティック”)  はソニー株式会社の商標です。

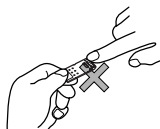
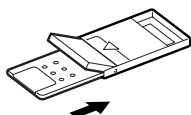
- “メモリースティック” 再生中、またはHDDにデータ転送中は抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- “MG メモリースティック” のフォーマット（初期化）は、専用機器で行ってください。専用機器以外でフォーマットを行った場合、本機で再生できません。

“メモリースティック” の取扱いについて

- いつもよい音を楽しむため、定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってある“メモリースティック”は使用しないでください。
- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。“メモリースティック”が使用できなくなる場合があります。



- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



液晶パネルについて



ワンポイント

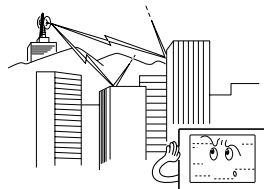
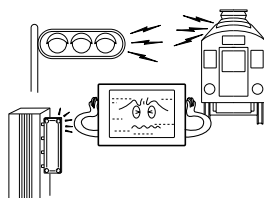
- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。

TVについて



ワンポイント

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断れたときは、セットしたチャンネルの記憶は全て消去されます。
- 車載TVの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。
 - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入っている場合があります。
 - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
 - ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入っている場合があります。
 - トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - 一部の地域において、TV、ラジオ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。

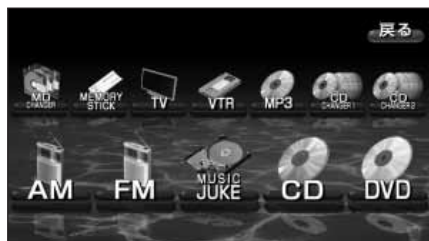


ソースの切り替え方

ソースを切り替える

●タッチスイッチの操作

- 1 **SOURCE** を押して、オーディオソースのタッチスイッチにタッチすると、タッチしたソースがスクリーン表示（オンスクリーン表示）されます。



●オンスクリーン画面

操作画面の表示

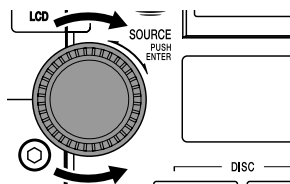
- 1 **AUDIO CONT** を押します。



●FM操作画面

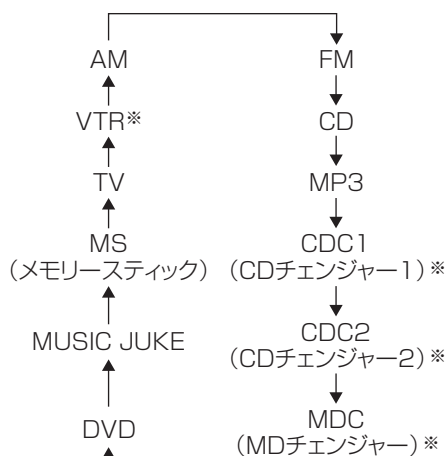
●パネルボタンの操作

- 1 ロータリーボタンを回し、オーディオソースを切り替えます。



- 2 希望のオーディオソースで、ロータリーボタンを押します。

- ロータリーボタンを右に回すと、下記のようにオーディオソースが切り替わります。



※：別売

- ソースを表示させてから約20秒以上操作をしなかったときは、自動解除されます。

各ソースの操作画面

各ソースの操作画面は、次のように表示されます。

●AM操作画面



●FM操作画面



●CDプレーヤー操作画面



●MP3プレーヤー操作画面



●“メモリースティック”プレーヤー操作画面



●MUSIC JUKE操作画面



●TV操作画面



●DVDプレーヤー操作画面



●CDチェンジャー操作画面（別売）



●MDチェンジャー操作画面（別売）



「優先画面の設定」（51ページ）で画面の切り替えを自動解除に設定すると、操作画面を表示させてから約20秒以上（TV・DVD操作画面では約6秒以上）操作をしなかったときは、操作画面は自動解除され、その後もとの画面にもどります。また、画面の切り替えを継続表示に設定すると、操作画面は自動解除されずに継続して表示されます。

音の調整

主音量の調整

主音量の調整レベルは0～80です。

●タッチスイッチの操作

1 VOLスイッチを押します。

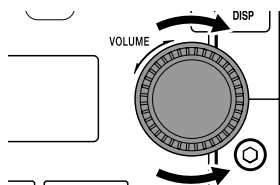
- **+** (上側) : 音量UP (大きくなる)
- **-** (下側) : 音量DOWN (小さくなる)



●パネルボタンの操作

1 VOLUMEボタンを回します。

- 右に回す : 音量が大きくなる
- 左に回す : 音量が小さくなる



操作音の設定

パネルボタンを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの操作音を設定することができます。

1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。



3 操作音設定の **1**、**2**、**3**、**4**、**OFF** のいずれかにタッチします。

- **OFF** にタッチすると、操作音が解除 (消音) になります。



4 **設定完了** にタッチします。



- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- オーディオソースを切り替えたとき、音量に違いが生じることがあります。音量は、お使いになるオーディオソースに合わせて調整してください。
- DVDプレーヤーを再生中に音量を調整すると、DVDプレーヤー用の音量レベルとして記憶させることができます。
- DVDプレーヤー再生中に調整した音量レベルは、他のオーディオソースでは機能しません。DVDの前に使用していたオーディオソースで調整した音量レベルになります。

音質の調整

車室内では再生するメディアやお聞きになる音楽の種類、スピーカーからの距離など、さまざまな要因で音本来の性質を大きく変えられてしまいます。

本機は、それらを調整することで最適な音質を設定することができます。

音質調整画面の表示

SOUND調整画面を表示する

- 1 各オーディオ操作画面、またはTV・VTR・DVD設定画面で**SOUND**にタッチします。

- SOUND調整画面が表示されます。
- SOUND調整画面から27ページの操作を行うことができます。



SETTING画面の表示

- 2 SOUND調整画面で**SET**にタッチします。

- SETTING画面が表示されます。
- SETTING画面から27ページの操作を行うことができます。



その他の音質調整画面を表示する

- 1 **INFO**を押します。

- インフォメーション（情報）画面が表示されます。

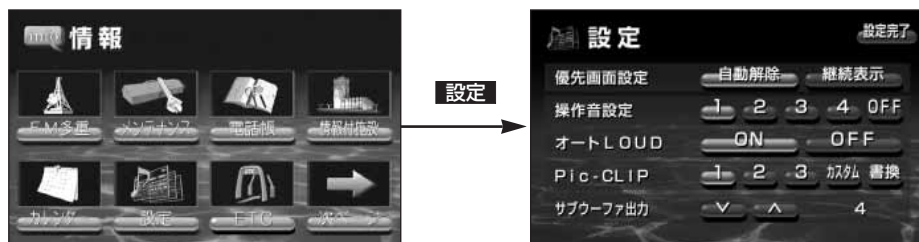
- 2 **設定**にタッチします。

- 各設定画面が表示されます。
- 設定画面から27ページの操作を行うことができます。



TV、VTR操作画面では**設定**に、DVD操作画面では**NEXT**、**設定**の順にタッチすると**SOUND**が表示されます。

FM
12:48
76.1 81.3
1 InterFM 4 J-WAVE
77.1 82.5
2 放送大学 5 NHK-FM エリア
80.0
3 東京 FM
AUTO P



■簡単にできる音場・音質調整

項目・タッチスイッチ	機能	ページ
DSP	お聞きになる音楽のジャンルやソースに合わせて音場を調整することができます。	28
EQ	あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択したり、お好みのイコライザカーブを作成することができます。	29
POS	乗車位置や人数に合わせた音像定位の切り替えや、前後左右の音量バランスを調整することができます。	31,32
オートLOUD	小音量時の低・高音を強調することができます。	33

■MP3で圧縮された音楽に効果のある音質補正レベル調整

項目	機能	ページ
MP3ハーモナイザー	圧縮された音楽データをできるだけ原音に戻して再生する音質補正レベルを設定することができます。	33

■サブウーファー接続時の出力・位相調整

項目	機能	ページ
Phase Control	サブウーファの位相を切り替えることができます。	34
サブウーファ出力	サブウーファの出力を調整することができます。	34

■サラウンドシステムの調整

項目	機能	ページ
Dolby Pro Logic	Dolby Pro Logic機能のON、OFFを切り替えることができます。	35
COMPRESSION	ダイナミックレンジ（最大音と最小音の音量差）を調整することができます。	36
Center Blend	Dolby Digital/DTS/LPCM対応のディスクを再生する場合でDolby Pro LogicがON時に、センタースピーカーから聞こえる会話やセリフなどを左右のフロントスピーカーにブレンドし、センターの音像定位を調整することができます。	36
Center Level	Dolby Digital/DTS/LPCM対応のディスクを再生する場合に、センタースピーカーから聞こえる会話やセリフなどの出力レベルを調整することができます。	37
Rear Level	Dolby Digital/DTS/LPCM対応のディスクを再生する場合に、リアスピーカーから聞こえる効果音などの出力レベルを調整することができます。	37

■タイムアライメント・スピーカーサイズ調整

タッチスイッチ	機能	ページ
SP設定	スピーカーサイズの設定やタイムアライメントを設定します。	38,40
SPレベル	スピーカーの出力レベルを調整します。	40

音質の調整

DSP（音場）の設定

再生する音楽に残響音を加え、あらかじめ設定されているさまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。

DSP（音場）モードを設定する

1 **DSP** にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。

●設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音場モードの種類	タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール	STADIUM	野外スタジアム
LIVE	ライブハウス	CLUB	ディスコ、クラブ
CATHEDRAL	残響音の多い教会	OFF	DSP OFF

DSP（音場）の調整、記憶

あらかじめ設定されている各モードのDSP（音場）をお好みのレベルに調整、記憶することができます。

1 お好みの音場モードで、**▲**、**▼** にタッチします。

●調整レベルは＋側、－側各5段階です。

2 調整した音場モードを“ピーツ”と音がするまでタッチします。



DSP（音場）レベルをリセットする

現在、記憶されているDSP（音場）レベルをメーカー調整値（初期値）にもどすことができます。

1 **OFF** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

●音場レベルが初期値にリセットされます。



●次のとき、DSPは操作できません。

- アナログで録音しているとき
- Dolby Digital (5.1ch)、またはDTS (5.1ch) 方式でディスクを再生するとき
- Dolby Pro Logicが“AUTO”、または“ON”に設定されているとき（「Dolby Pro Logicを設定する」35ページ参照）
- DSP（音場）レベルを調整中に、別のDSP（音場）モードに切り替えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。

EQ（イコライザ）の調整

お聞きになる音楽ジャンルやソースによって好みの音質で聞けるようにイコライザで音質を調整できます。

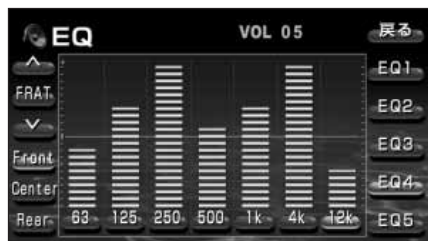
また、フロント、リヤ、センターと各スピーカーを別々に設定することができます。

音質を設定する

あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、好みの音質に設定できます。

1 **EQ** にタッチします。

2 **Front**、**Center**、または **Rear** にタッチします。



3 タッチスイッチにタッチすると、表のような音質モードになります。

●設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

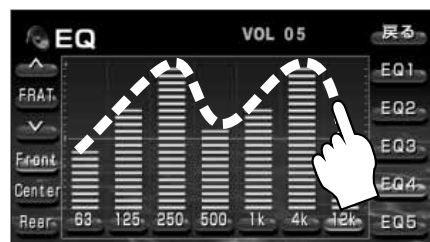
タッチスイッチ	音質モードの種類
FLAT	EQ補正なし
EQ1	POPSに効果のあるカーブ
EQ2	ROCKに効果のあるカーブ
EQ3	JAZZに効果のあるカーブ
EQ4	CLASSICに効果のあるカーブ
EQ5	VOCALに効果のあるカーブ

EQカーブの調整、記憶

あらかじめ設定されているイコライザカーブをお好みの音質に調整、記憶することができます。また、フロント、リヤ、センターと各スピーカーを別々に調整、記憶することができます。

1 **Front**、**Center**、または **Rear** にタッチします。

2 お好みのイコライザカーブをイメージして指でゆっくり画面をタッチします。



●微調整するときは、調整したい周波数帯域、または周波数スイッチにタッチし、画面左の **▲**、**▼** にタッチします。



音質の調整

3 記憶したいスイッチ **EQ1** ～ **EQ5** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- 記憶されたイコライザカーブで設定できるようになります。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

EQカーブをリセットする

現在、記憶されているイコライザカーブをあらかじめ設定されているイコライザカーブ（メーカー初期値）にもどすことができます。

1 イコライザカーブを呼び出します。

2 **FLAT** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- イコライザカーブが初期値にリセットされます。



ワンポイント

- フロント、リヤ、センターは、同時に調整できません。
- 微調整時に **▲**、**▼** にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 **▲**、**▼** にタッチしてください。

リスニングポジションの設定

人数、乗車位置に合わせて、音場感が楽しめる音像定位に切り替えることができます。各シートにタッチして簡単に音像定位を切り替えることができます。

1 **POS** にタッチします。

2 ポジション（シート）にタッチします。

- 設定されたポジションは水色に表示が替わります。再びタッチすると設定は解除されます。表のような4つのポジションに設定できます。
- **OFF** にタッチすると、全ての設定は解除されます。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



表示	ポジション（位置）	表示	ポジション（位置）
	運転席を 中心にした音場		前席を 中心にした音場
	助手席を 中心にした音場		後席を 中心にした音場



音量バランス（BALANCE FADER）と同時に設定できません。

音質の調整

音量バランスの調整

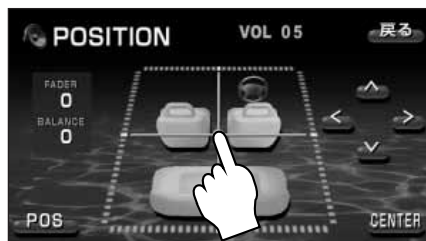
前後左右の音量バランスを調整し、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

1 **POS** にタッチします。

2 **BALANCE FADER** にタッチします。

3 お好みのバランスポイントにタッチします。

- 微調整するときは、**▲**、**▼**、**◀**、または**▶**にタッチしてください。
- 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。
- CENTER** にタッチすると、音量バランスの設定がリセットされます。(設定値が0になります。)



ワンポイント

- リスニングポジション (POS) と同時に設定できません。
- 微調整時に**▲**、**▼**、**◀**、または**▶**にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値になった場合は停止するので、再度**▲**、**▼**、**◀**、または**▶**にタッチしてください。

オートLOUDの設定

小さな音で聞いているときなどの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。

3 オートLOUDの **ON**、または **OFF** にタッチします。



4 **設定完了** にタッチします。

MP3音質補正の設定 (MP3ハーモナイザー)

原音からMP3に変換するとき、通常人間の耳に聞こえない音域が圧縮されます。MP3ハーモナイザーはその圧縮された音域をできるだけ原音に戻して再生することができます。クリアで迫力あるサウンドを楽しむことができます。

1 **Low**、または **Hi** にタッチします。

- **Low** : 補正効果が小さい
- **Hi** : 補正効果が大きい
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。
- **OFF** にタッチすると、MP3ハーモナイザー機能を解除します。



音質の調整

サブウーファの設定

サブウーファを接続したときの位相切り替え（出力タイミングの切り替え）や出力調整を設定します。

位相を切り替える（Phase Control）

サブウーファから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーの音と同じ周波数帯域のものが、さまざまな車内条件により、これらの音が互いに打ち消しあってしまうことがあります。この現象を防ぐものがサブウーファの位相切り替えです。

車内条件に合わせて位相を設定することができます。

- 1 **Normal**、または **Reverse** にタッチします。

- **Normal** : 各スピーカーとサブウーファの出力タイミングを同じにする

- **Reverse** : 各スピーカーとサブウーファの出力タイミングをずらす

- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



サブウーファの出力を調整する

サブウーファの出力レベルを調整することができます。

- 1 **INFO** を押します。

- 2 **設定** にタッチします。

- 3 サブウーファ出力の **▲**・**▼** にタッチします。

- 出力レベルは4段階の設定ができます。



- 4 **設定完了** にタッチします。

サラウンドシステムの調整

本機は、Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)、LPCM、Dolby Pro Logicに対応しており、これらの方式で記録されているディスクを再生すると、限られた空間でも、映画館のような臨場感あふれるサウンドを楽しむことができます。

ch（チャンネル）… 同時に再生することのできる音源の数

Dolby Pro Logicを設定する

本機でDolby Pro Logic処理されたDVDビデオを再生する場合、ドルビー効果のON、OFFを切り替えることができます。

ドルビー効果をONにすると、2chで録音されている名画や旧作品も豊かな臨場感で楽しむことができます。

1 SOUND調整画面で **SET** にタッチします。

2 **AUTO**、**ON**、または**OFF** にタッチします。

- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。
- お好みにより、各タッチスイッチにタッチしてDolby Pro Logicの設定を切り替えることができます。



タッチスイッチ	機能
AUTO	Dolby Pro Logicで処理されたDVDビデオを再生する場合はドルビー効果をON、それ以外はOFFにします。
ON	2chで記録されたDVDビデオを再生する場合、全てドルビー効果をONにします。
OFF	ドルビー効果をOFFにします。



ワンポイント

Dolby Digital(5.1ch)やDTS(5.1ch)音声で再生するためには、センタースピーカー、サブウーファが必要です。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

音質の調整

COMPRESSIONを調整する

Dolby Digital(5.1ch)対応のディスクを再生する場合に、音域の幅（最大値と最小値の差）を調整することができます。COMPRESSIONレベルが大きくなると、音域の幅が狭くなり、効果音などが大きい場面でも会話やセリフなどが聞きとりやすくなります。

1 SOUND調整画面で **SET** にタッチします。

2 **▲**・**▼** にタッチします。

● **▼** にタッチし続けると“OFF”に、**▲** にタッチし続けると“Full”になります。調整レベルと機能については下記を参照してください。

調整レベルの表示が切り替わるのに、約2秒ほどかかります。

● 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



調整レベル	機能
OFF	COMPRESSIONの効果をおFFにします。
1～7	COMPRESSIONの効果をお好みに合わせて調整することができます。
Full	COMPRESSIONの効果をお最大にします。

Center Blendを調整する

Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)、LPCM対応のディスクを再生する場合でDolby Pro LogicがON時に、センタースピーカーから聞こえる会話やセリフなどを、左右のフロントスピーカーにブレンドし、センターの音像定位を調整することができます。

1 **▲**、または**▼**にタッチします。

- 調整レベルは+側、-側各5段階です。
+側：フロントスピーカー（Rch）にブレンドするレベルを大きくする
-側：フロントスピーカー（Lch）にブレンドするレベルを小さくする
- 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



Dolby Pro Logic処理されたDVDビデオを再生する場合、Dolby Pro Logicが“OFF”に設定されていると、Center Blendは調整できません。Dolby Pro Logicを“AUTO”、または“ON”に切り替えてから調整してください。（「Dolby Pro Logicを設定する」前ページ参照）

Center Levelを調整する

Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)対応のディスクを再生する場合に、センタースピーカーから聞こえる会話やセリフなどの出力レベルを調整して、会話やセリフなどを聞きとりやすくすることができます。

1 ▲、または▼にタッチします。

- 調整レベルは+側、-側各10段階です。
+側：出力レベルが強くなる
-側：出力レベルが弱くなる
- 調整完了後、**戻る**にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



Rear Levelを調整する

Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)対応のディスクを再生する場合に、リヤスピーカーから聞こえる効果音などの出力レベルを調整することができます。

1 ▲、または▼にタッチします。

- 調整レベルは+側、-側各10段階です。
+側：出力レベルが強くなる
-側：出力レベルが弱くなる
- 調整完了後、**戻る**にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



ワンポイント

Dolby Pro Logic処理されたDVDビデオを再生する場合、Dolby Pro Logicが“OFF”に設定されていると、Center Level、Rear Levelは調整できません。Dolby Pro Logicを“AUTO”、または“ON”に切り替えてから調整してください。（「Dolby Pro Logicを設定する」35ページ参照）

音質の調整

スピーカーの調整

各スピーカーからお聞きになる位置までの距離調整（タイムアライメント）や各スピーカーの出力調整により、全体的な音のバランスを調整し、理想的な音像定位を創り出すことができます。

スピーカーサイズを設定する

お車のスピーカーサイズを設定することができます。

- 1 SOUND調整画面で **SET** にタッチします。



- 2 **SP設定** にタッチします。

●スピーカー設定画面が表示されます。



- 3 スピーカーサイズおよびWoofer（ウーファ）の有無を選択します。

●各タッチスイッチはタッチするごとに下記のように切り替わります。



●スピーカー設定画面

タッチスイッチ	スピーカーサイズの切り替わり方
Center • Rear	LARGE → SMALL ↗ NONE ↖
Woofer	YES ↔ NO

各スピーカーの設定と機能

スピーカーの種類	接続	サイズ	機能
Center (センタースピーカー)	無	NONE	センタースピーカーからの出力は、フロント左右のスピーカーに振り分けられ出力されます。 センタースピーカーから出力されません。
	有	SMALL	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できない場合は“SMALL”に設定してください。 (100Hz以下の低域は出力されません。)
		LARGE	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できる場合は“LARGE”に設定してください。
Rear (リヤスピーカー)	無	NONE	リヤスピーカーからの出力は、フロント左右のスピーカーに振り分けられ出力されます。 リヤスピーカーから出力されません。
	有	SMALL	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できない場合は“SMALL”に設定してください。 (100Hz以下の低域は出力されません。)
		LARGE	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できる場合は“LARGE”に設定してください。
Woofer (ウーファ)	有	YES	ウーファスピーカーから出力されます。
	無	NO	ウーファスピーカーから出力されません。



ワンポイント

- スピーカーが接続されていない位置のスピーカーサイズは設定できません。
- スピーカーサイズおよびWoofer（ウーファ）の接続は必ず設定してください。お車のスピーカーに合わせて設定していないと、音声出力されない場合があります。
- Frontはあらかじめ“LARGE”に設定されています。
- モノラル方式のDVDビデオはセンタースピーカーからのみ音声出力されます。センタースピーカーを接続している場合は、Centerを“NONE”に設定してください。センタースピーカーからの音声をフロント左右のスピーカーに振り分けて出力します。

音質の調整

タイムアライメントの調整

1 SOUND調整画面で **SET** にタッチします。

2 **SP設定** にタッチします。

●スピーカー設定画面が表示されます。

3 **▲**・**▼** にタッチして、各スピーカーからお聞きになる位置までの距離を設定します。

●設定範囲は0～4mです。距離の数値が小さくなると、スピーカーから出る音が遅れて耳に届くようになります。

●調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



出力レベルの調整

1 SOUND調整画面で **SET** にタッチします。

2 **SPレベル** にタッチします。

●スピーカーレベル設定画面が表示されます。

3 **▲**・**▼** にタッチして、各スピーカーの出力レベルを設定します。

●設定範囲は、-12～0dBです。レベル数値が小さくなると、スピーカーから出力される音量が小さくなります。

●調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



●スピーカーが接続されていない場合や、スピーカーサイズの設定で“Center”、“Rear”、“Woofer”を“NONE”または“NO”に設定した場合に、お聞きになる位置までの距離や各スピーカーの出力レベルを調整しても機能しません。

●リスニングポジション (POSITION) の設定で、シートが選択されていると、ウーファ以外の各スピーカー出力レベルは調整できません。リスニングポジション (POSITION) を“OFF”に切り替えてから設定してください。(「リスニングポジションの設定」31ページ参照)

背景画の設定

オーディオ操作画面やインフォメーション（情報）画面の背景画をお好みのPic-CLIP（壁紙）に切り替えることができます。

Pic-CLIPの設定

インフォメーション（情報）画面やオーディオの操作画面の背景をお好みに合わせて切り替え、表示することができます。また、あらかじめHDDやCD-R/RW、“MG メモリースティック”、“メモリースティック”に記録した画像データを取り込むこともできるので、お気に入りのPic-CLIPを背景画として表示することができます。

Pic-CLIPを切り替える

1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。



3 Pic-CLIPの **1**、**2**、**3**、**カスタム** のいずれかにタッチします。



- **カスタム** にタッチすると書き換えた画像が設定されます。（画像データを書き換えていない場合、**カスタム** はタッチできません。）
- Pic-CLIPの書き換えは次ページを参照してください。

4 **設定完了** にタッチします。

背景画の設定

Pic-CLIPを書き換える

HDDやCD-R/RW、“MG メモリースティック”、“メモリースティック” に記録した画像データをPic-CLIPとして表示することができます。

1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。



3 Pic-CLIPの **書換** にタッチします。



4 **MEMORY STICK**、**CD**、または **HDD** にタッチします。

5 Pic-CLIPに設定するデータにタッチします。



6 **決定** にタッチします。



- 画像データ以外のデータが同じディスクに混在すると、画像データを読み込むことはできません。
- HDD（ハードディスク）から書き換える場合は、あらかじめHDDに画像データを保存してください。（「**画像データを保存する**」44ページ参照）
- CD-R/RWから書き換える場合は、記録したCD-R/RWをCD・DVD挿入口に挿入してください。
- “メモリースティック”から書き換える場合は、記録した“メモリースティック”を、“メモリースティック”挿入口に挿入してください。
- MUSIC JUKEに音楽や音声进行録音している場合は、録音を止めてからPic-CLIPを書き換えてください。（「**MUSIC JUKEへの録音**」98ページ参照）
- 複数のデータがある場合は、**▲**、**▼**にタッチすると、データを切り替えて表示することができます。

- **プレビュー** にタッチすると、選択した画像を表示することができます。



● プレビュー画面

- 7 **戻る** にタッチします。

- 8 **カスタム** にタッチします。

- 設定したPic-CLIPが表示されます。



- 9 **設定完了** にタッチします。



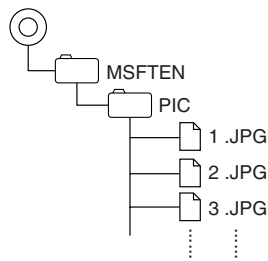
- Pic-CLIPに使用できる取り込み画像は下記の条件で書き込まれたメディアになります。下記の条件以外で書き込まれたファイルは、リスト表示できなかったり、ファイル名を正しく表示できない場合があります。

【CD-R/RWの場合】

- ディスクフォーマット：ISO9660規格 (MODE1)
- 画像容量：1.5MB以下 (1ファイル当たり)
- 表示ファイル名：ISO9660 LEVEL1方式
- 表示拡張子：.jpg (JPEG2000は非対応)
- 書き込み方式：シングルセッションのみ
- 表示とファイル数 (枚数)：100まで
- 画像サイズ：横800×縦480dot以下
- 表示文字数：半角8文字* (+.jpg) まで
*半角数字、半角英字 (大文字)、記号 “_” (アンダースコア) のみ
- 表示ファイル：ルートディレクトリのみ (最上階層のみ)

【“メモリースティック” の場合】

- 画像容量：1.5MB以下 (1ファイル当たり)
- 表示ファイル名：半角8文字.JPG
- 表示拡張子：.jpg (JPEG2000は非対応)
- 表示とファイル数 (枚数)：100まで
- 画像サイズ：横800×縦480dot以下
- 表示文字数：半角8文字* (+.jpg) まで
*半角数字、半角英字 (大文字)、記号 “_” (アンダースコア) のみ
- 表示ファイル：下記作成例を参照してください。



- 推奨サイズを超える場合は、プレビューおよび取り込みできません。
- 推奨サイズより小さい場合は、縦横ともセンタリング (中央表示) して表示します。
- 画像データの取り込みは1画面のみになります。

背景画の設定

画像データを保存する

CD-R/RWや“MG メモリースティック”、“メモリースティック”に記録した画像データを本機のHDDに最大100ファイル（100枚）まで保存することができます。

1 **INFO** を押します。

2 **次ページ** にタッチします。



3 **データ管理** にタッチします。



4 **HDDへ保存** にタッチします。

●データ保存画面が表示されます。



5 **MEMORY STICK**、または **CD** にタッチします。

●タッチしたメディアに保存されている画像データを表示します。

6 保存したい画像データにタッチします。



●画像データ以外のデータが同じディスクに混在すると、画像データを読み込むことはできません。

●CD-R/RWからHDDに保存する場合は、記録したCD-R/RWをCD・DVD挿入口に挿入してください。

●“メモリースティック”からHDDに保存する場合は、記録した“メモリースティック”を“メモリースティック”挿入口に挿入してください。音楽と画像データが混在する“メモリースティック”で、“メモリースティック”の音楽を再生中に画像データを保存する場合、音楽の再生が一時停止します。保存が完了してから音楽を再生してください。

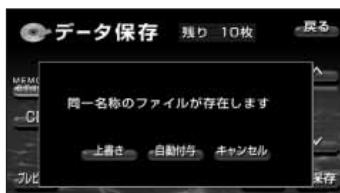
●MUSIC JUKEに音楽や音声を録音している場合は、録音を止めてから画像データを保存してください。（「MUSIC JUKEへの録音」98ページ参照）

7 保存 にタッチします。

- **全保存** にタッチすると“MG メモリースティック”、または“メモリースティック”、CDに記録されている全ての画像データを保存します。
- 保存後、**戻る** にタッチすると、直前の画面にもどります。

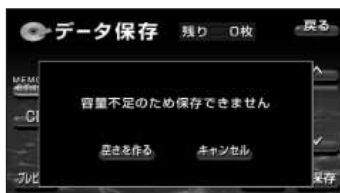


- すでに同じ名称のデータが存在すると、次の画面が表示されます。



- **上書き** にタッチすると、新しいデータに書き換えます。
- **自動付与** にタッチすると、データ名の前に番号を付けて保存します。
(例)“AA1.jpg”がすでに存在する場合、新しく保存する同じ名称の“AA1.jpg”には“001_AA1.jpg”と番号が自動で付けられ、保存されます。
- **キャンセル** にタッチすると、保存を中止します。
- **全保存** タッチ後に **キャンセル** にタッチすると、保存中の画像データ保存を中止し、次の画像データの保存を開始します。

- HDDの容量が足りない場合、次の画面が表示されます。



- **空きを作る** にタッチすると、すでに保存されているデータを一部消去します。
(「画像データを消去する」次ページ参照)
- **キャンセル** にタッチすると、保存を中止します。

背景画の設定

画像データを消去する

画像データを本機のHDDから消去します。

1 **INFO** を押します。

2 **次ページ** にタッチします。



3 **データ管理** にタッチします。



4 **HDDから消去** にタッチします。

●データ消去画面が表示されます。



5 画像データにタッチします。

●**プレビュー** にタッチすると、選択した画像を表示することができます。



●プレビュー画面

6 **消去** にタッチします。

- **全消去** にタッチするとHDDに保存されている全ての画像データを消去します。



7 **YES** にタッチします。



現在、Pic-CLIPで使用している画像データを消去すると、初期設定のPic-CLIPに切り替わります。

画面の調整・設定

オーディオの操作画面や、TV、DVD、VTRなどの画質調整、サブディスプレイのコントラスト調整、時計表示などを設定することができます。また、ディスプレイ立ち上げ時の操作画面などを自動解除、または継続表示に設定することができます。

画質調整画面の表示

オーディオ操作画面のコントラストや明るさ、TV、DVD、VTR画面のコントラストや明るさ、色などを調整することができます。

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の消灯・点灯により昼画／夜画に表示が切り替わります。

（初期状態） ●ライト消灯時・・・＜昼画表示＞

●ライト点灯時・・・＜夜画表示＞

＜オーディオ操作画面＞



●昼画表示＜ライト消灯時＞



●夜画表示＜ライト点灯時＞

＜TV・DVD・VTR画面＞



●昼画表示＜ライト消灯時＞



●夜画表示＜ライト点灯時＞

- 1 オーディオモードの操作画面、またはTV、DVD、VTR画面で**マルチW/画質**を（ピーと音がするまで）1秒以上押します。

- 2 調整が完了したら、**調整完了**にタッチします。

- 約20秒以上操作をしなかったときは、自動で設定し表示していた画面にもどります。



●オーディオ操作画面時



●TV・DVD・VTR画面時

ライト点灯時に昼画表示するには

- 1 **昼画面** にタッチすることにより、昼画表示と夜画表示が切り替わります。



●オーディオ操作画面時



●TV・DVD・VTR画面時

画面を消すときは

- 1 **画面消** にタッチします。

- 再度、画面を表示させるには、**SOURCE**を押します。



「優先画面の設定」(51ページ)で画面の切り替えを自動解除に設定すると、操作画面を表示させてから約20秒以上操作をしなかったときは、画面に何も表示されなくなります。(「画面消」にタッチした状態にもどります。)

画面の調整・設定

画質の調整

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。



●オーディオ操作画面時

■色合い (TV・DVD・VTR画面時のみ)

1 緑色を強くするときは **緑**、赤色を強くするときは **赤** にタッチします。

■コントラスト

1 強くするときは **強**、弱くするときは **弱** にタッチします。



●TV・DVD・VTR画面時

■色の濃さ (TV・DVD・VTR画面時のみ)

1 濃くするときは **濃**、淡くするときは **淡** にタッチします。

■明るさ

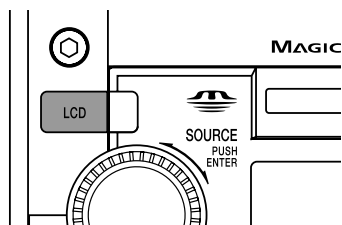
1 明るくするときは **明**、暗くするときは **暗** にタッチします。

サブディスプレイのコントラスト調整

サブディスプレイのコントラストを調整することができます。

1 **LCD** を押します。

- **LCD** を押すごとに、コントラストが11段階、切り替わります。



優先画面の設定

インフォメーション（情報）画面、オーディオ・MUSIC JUKE・TV・DVD・VTR操作画面を表示させて、約20秒以上操作しなかったとき、自動的に「解除する（もとの画面にもどる）」、または「継続表示」に切り替えることができます。

1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。



3 優先画面設定の **自動解除**、または **継続表示** にタッチします。

- 各画面を継続して表示させるには **継続表示** にタッチしてください。



4 **設定完了** にタッチします。



ワンポイント

優先画面設定を **自動解除** に設定すると、オーディオ操作画面を表示しても、自動でナビゲーション画面に切り替わります。オーディオ操作画面を表示させる場合は、**AUDIO CONT** を押してください。また、ACCをOFFからONにしたときに、オーディオ操作画面を表示させる場合も、同様に **AUDIO CONT** を押してください。

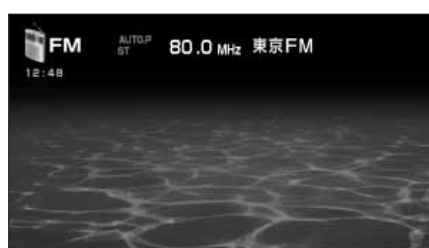
画面の調整・設定

画面スイッチの表示切り替え

オーディオの操作画面や、TV・DVD・VTRなどの設定画面でタッチスイッチを表示させないようにすることができます。

1 各オーディオの操作画面、またはTV・DVD・VTR設定画面で、**ボタン消**にタッチします。

- タッチスイッチが表示されていないときは、タッチスイッチによる操作をすることができません。操作をするときは、タッチスイッチを表示させてください。
- タッチスイッチを表示させるときは、画面にタッチします。

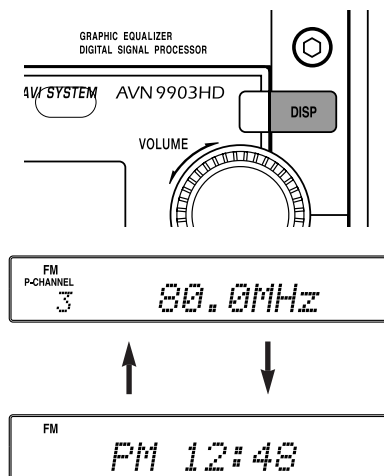


時計表示の切り替え

サブディスプレイに時計を表示することができます。

1 **DISP** を押します。

- DISP** を押すごとに、サブディスプレイに表示されている周波数やトラックタイトルと時計の表示が切り替わります。



時計表示の時刻はGPS電波を利用して自動調整します。(操作することはできません。)

画面モード切り替え

1 TV、VTR操作画面で**設定**、DVD操作画面では**NEXT**、**設定**の順にタッチします。

2 **ワイドモード** にタッチします。

●ワイドモード切り替え画面になります。

3 **標準**、**ワイド1**、**ワイド2**、または**ワイド3** にタッチします。

●ワイドモードを選択します。



■標準画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



■ワイド2画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に非均等に拡大して表示します。



■ワイド1画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



■ワイド3画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。

●ワイド画面放送を受信するときは、このモードに切り替えてください。

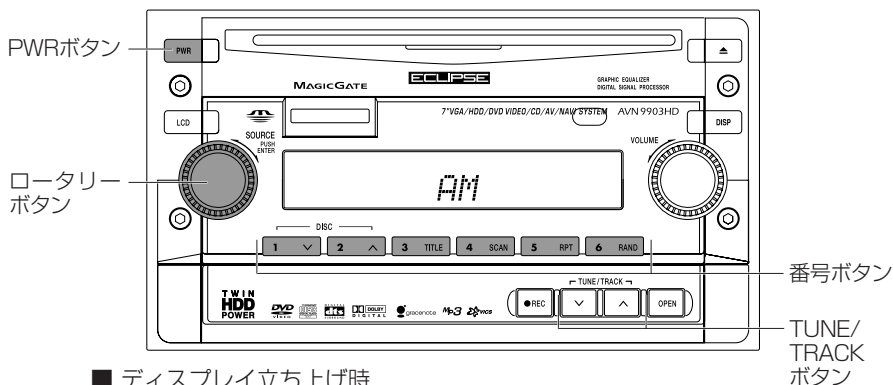


注意

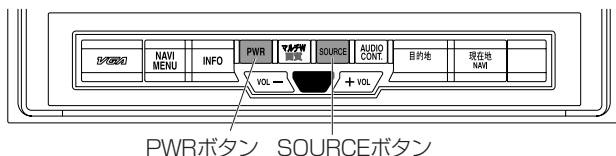
お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ラジオの使い方

■ ディスプレイ収納時



■ ディスプレイ立ち上げ時



ラジオを聞く

●タッチスイッチの操作

- 1 **SOURCE** を押します。
- 2 AMは **AM** に、FMは **FM** にタッチします。

●パネルボタンの操作

- 1 ロータリーボタンを回し、AM、またはFMを選びます。
- 2 ロータリーボタンを押します。

聞きたい放送局を選ぶ

手動で選ぶ

- 1 **▲**、または **▼** を押します。
- **▲** (上側) : 1ステップ上げるとき
 - **▼** (下側) : 1ステップ下げるとき
(1ステップ: AM9kHz, FM: 0.1MHz)

自動で選ぶ

- 1 **▲**、または **▼** を“ピッ”と音がするまで押します。
- 現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。



受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

プリセットスイッチ／番号ボタンから選ぶ

●タッチスイッチの操作

- 1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- 放送局の記憶は「放送局を記憶する」(下記)を参照してください。



プリセット
スイッチ

●パネルボタンの操作

- 1 記憶されている番号ボタンを押します。

- 放送局の記憶は「放送局を記憶する」(下記)を参照してください。

放送局を記憶する

プリセットボタンに放送局を記憶させるにはマニュアル(手動)とAUTO.P(自動)の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル(手動)で記憶する

●タッチスイッチの操作

- 1 放送局を選び、記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。



- “AUTO.P”、または“AREA.P”が表示されているときは **AUTO.P**、または **エアア** にタッチします。
- プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

●パネルボタンの操作

- 1 放送局を選び、記憶させたい番号ボタン **1** ~ **6** を“ピツ”と音がするまで押します。
- 番号ボタンを押して選局できるようになります。



マニュアル操作で記憶させた放送局は、ディスプレイ収納時の番号ボタンからも選ぶことができます。

ラジオの使い方

AUTO.P (自動) で記憶する

1 **AUTO.P** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

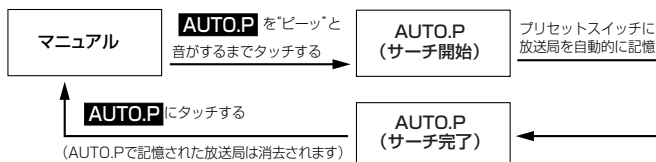
- “AUTO.P”が表示され自動的に選局を始めます。“ピーツ”と音がすると自動選局が終了し一時的に記憶されます。
- もう一度 **AUTO.P** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局が表示が切り替わります。



AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P動作中、または動作後に**AUTO.P**にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態にもどります。(このときAUTO.Pで記憶した放送局は消去されます。) AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



ワンポイント

- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とAUTO.Pスイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
- **AUTO.P**で一時的に記憶させた放送局は、ディスプレイ収納時の番号ボタンから選ぶことができます。

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

1 エリア にタッチします。

- “AREA.P” の表示と、その地域で放送されている放送局名および周波数が表示されます。
- 放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。



局名スイッチについて

ラジオを受信したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

1 局名 にタッチします。

- 重複した放送局名が切り替わります。



ラジオを止める

1 PWR を押します。

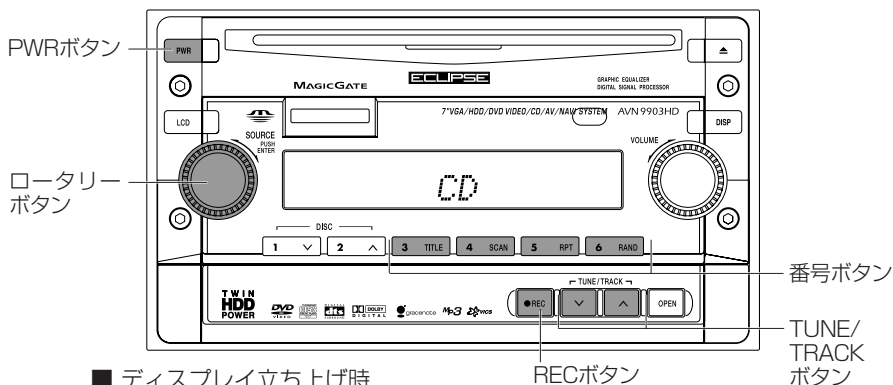
- もう一度 **PWR** を押すと、電源を切る前の受信放送局（周波数）が受信されます。



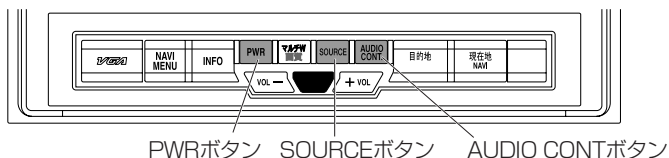
- 放送が受信できても、放送局名を表示できない地域があります。
- **エリア** で一時的に記憶させた放送局は、モニター収納時の番号ボタンからも選ぶことができます。

CDプレーヤーの使い方

■ ディスプレイ収納時



■ ディスプレイ立ち上げ時



CDを聞く

ディスク挿入口にCDを挿入すると、再生を始めます。

- 本機のMUSIC JUKEは、デジタル録音モードの初期設定がAUTOに設定されているので、CDを挿入し、自動で再生が始まると、同時に自動でMUSIC JUKEへ録音を開始します。
●**REC** ボタンを1秒以上押すと録音を停止します。(「**MUSIC JUKEへの録音**」98ページ参照)

RECマークの表示方法で、録音状態がわかります。

状態	ディスプレイの表示	サブディスプレイの表示
録音中	“REC” を表示 (回転)	“REC” を表示 (点滅)
録音待機中	“REC” を小さく表示 (回転なし)	“REC” を表示 (点滅なし)



ワンポイント

- 同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合は、最初のセッションに記録されているデータのみ再生することができます。
- 本機はCD-TEXT、DTS-CDに対応しています。DTS-CDを再生すると、ディスプレイ立ち上げ時の画面に **dts** を表示します。
- DTS-CDを再生する場合、スピーカーの設定状況により、音声が出力されない場合があります。(「**スピーカーの調整**」38ページ参照)

●タッチスイッチの操作

1 CDが挿入されているときに **SOURCE** を押します。

2 **CD** にタッチします。

●再生を始めます。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

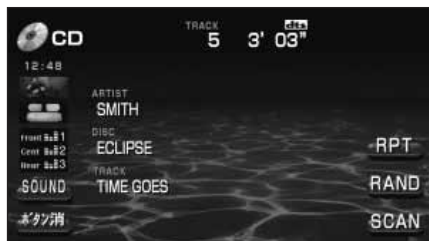
1 **△**、または **▽** を押します。

- **△**（上側）：次曲を選ぶとき
- ▽**（下側）：前曲を選ぶとき

聞きたい曲を探す

●タッチスイッチの操作

1 **SCAN** にタッチします。



- 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 **SCAN** にタッチする、または番号ボタン **4** を押すとその曲で再生を続けます。

●パネルボタンの操作

1 CDが挿入されているときにロータリーボタンを回し、CDを選びます。

2 ロータリーボタンを押します。

●再生を始めます。

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 **△**、**▽** を“ピッ”と音がするまで押します。

- **△**（上側）：曲を進めるとき
- ▽**（下側）：曲を戻すとき

“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、ボタンから手を離すまで早送り（早戻し）します。

●パネルボタンの操作

1 番号ボタン **4** を押します。

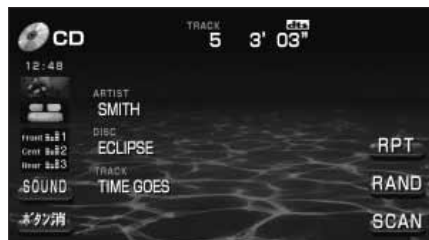
- SCAN機能を使用しているときは、サブディスプレイにトラックナンバー、および再生時間を表示します。

CDプレイヤーの使い方

同じ曲を繰り返して聞く

●タッチスイッチの操作

- 1 **RPT** にタッチします。



●パネルボタンの操作

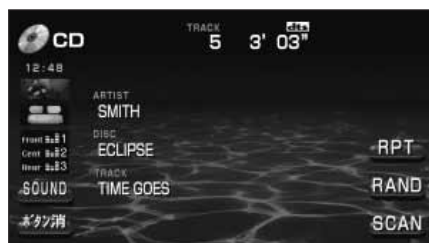
- 1 番号ボタン **5** を押します。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチする、または番号ボタン **5** を押すと解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

●タッチスイッチの操作

- 1 **RAND** にタッチします。



●パネルボタンの操作

- 1 番号ボタン **6** を押します。

- 一度設定すると解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチする、または番号ボタン **6** を押すと解除されます。
- ランダム再生中に **RPT** にタッチすると、再生中の曲を繰り返して再生します。もう一度 **RPT** にタッチすると、ランダム再生にもどります。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

トラック情報の表示について

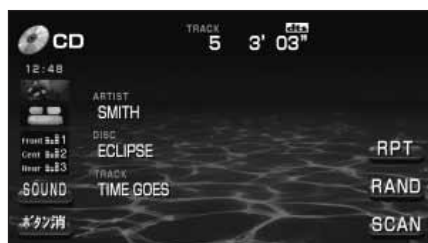
CD-TEXTにアルバム名やトラックタイトル、アーティスト名が収録されている場合、表示することができます。

CD-TEXTが収録されていなくても、本機のデータベースに再生しているディスクのトラック情報が収録されていれば、表示することができます。表示できる文字数は下記になります。但し、複数のタイトル候補がある場合は、表示されません。

文字の種類	ディスプレイの表示	サブディスプレイの表示
全角文字	最大14文字	—
半角文字	最大28文字	最大10文字（英語・数字・記号のみ）

■ ディスプレイの表示

- 1 **AUDIO CONT** を押し、操作画面を表示します。



■ サブディスプレイの表示

トラックナンバー・再生時間を表示する

- 1 番号ボタン **3** を1秒以上押します。

- もう一度、番号ボタン **3** を1秒以上押すと、もとの表示に切り替わります。

トラック情報を切り替える

アーティスト名とトラックタイトルの表示を切り替えることができます。

- 1 番号ボタン **3** を押します。

- アーティスト名、トラックタイトルを順にスクロール表示し、その後、トラックタイトルの固定表示になります。
- ソースをCDに切り替えたとき、アルバム名、トラックタイトルを順にスクロール表示し、その後トラックタイトルを固定表示します。

CDを止める

- 1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開されます。

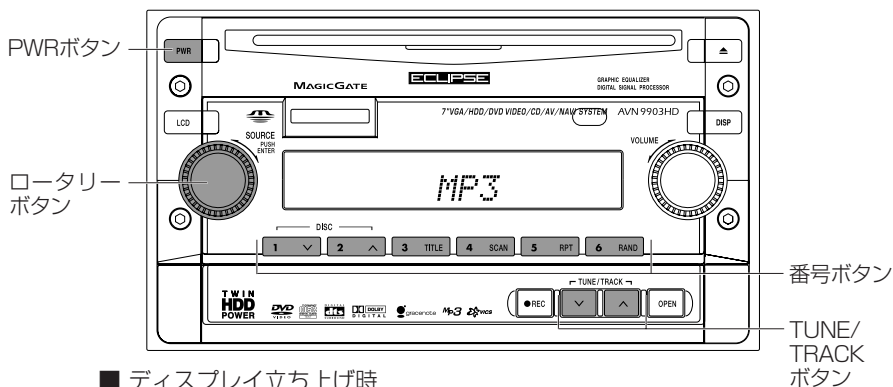


- サブディスプレイが時計表示に設定されていると、トラック情報は表示されません。**DISP** を押すと、トラック情報が表示されます。（「時計表示の切り替え」52ページ参照）
- 表示するトラック情報が何も無い場合や、英語／数字／記号以外の文字が収録されている場合は、サブディスプレイに“NO TITLE”を表示します。

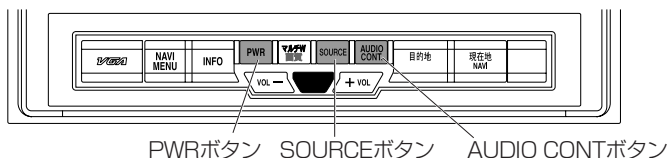
MP3プレーヤーの使い方

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

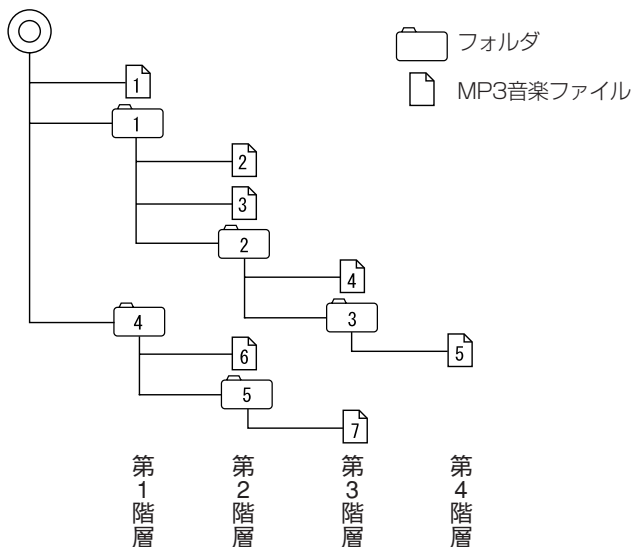
■ ディスプレイ収納時



■ ディスプレイ立ち上げ時



〈MP3ファイル作成例〉 MP3ファイル作成例をもとに説明しています。



同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合は、最初のセッションに記録されているデータのみ再生することができます。

MP3を聞く

ディスク挿入口にCDを挿入すると、再生を始めます。

●タッチスイッチの操作

1 ディスクが挿入されているときに、**SOURCE**を押します。

2 **MP3** にタッチします。

●再生を始めます。

●CDを挿入すると、挿入されたCDが音楽CDかMP3かをチェックするため、約2秒間CDプレーヤーの画面を表示します。

●通常は、**1** → **2** → **3** → **4** → **5** → **6** → **7** の順に再生します。

●同じ階層に複数のMP3音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に再生します。

●パネルボタンの操作

1 ディスクが挿入されているときに、ロータリーボタンを回し、MP3を選びます。

2 ロータリーボタンを押します。

聞きたいフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

●タッチスイッチの操作

1 フォルダ（**ROCK**）にタッチします。

●選択されたフォルダ内の音楽ファイルが表示されます。

●パネルボタンの操作

1 番号ボタン**1**、または**2**を押します。

●サブディスプレイにフォルダ名を表示します。

●フォルダ内に収録されている音楽ファイルを再生します。



MP3プレイヤーの使い方

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

フォルダの中から聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

フォルダ・ファイル切り替えスイッチから選ぶ

●タッチスイッチの操作

1 音楽ファイル () にタッチします。

- 表示部にいま選ばれているファイル名、フォルダ名が表示されます。
- 同じフォルダ内に音楽ファイルが8個以上ある場合は、  にタッチするとデータを切り替えて表示することができます。(走行中は操作できません)



TUNE/TRACKボタンから選ぶ

同じフォルダに複数の音楽ファイルを記録している場合は、TUNE/TRACKボタンから次の音楽ファイル、前の音楽ファイルを選ぶことができます。

1 , または  を押します。

-  (上側) : 次の音楽ファイルを選ぶとき
-  (下側) : 前の音楽ファイルを選ぶとき

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 ,  を“ピッ”と音がするまで長く押します。

-  (上側) : 曲を進めるとき
 -  (下側) : 曲を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、ボタンから手を離すまで早送り(早戻し)します。

階層の表示を切り替える

階層を切り替えて表示することができます。

1 , または **HOME** にタッチします。

-  : 1つ上の階層を表示する
- HOME** : 現在の階層を表示する



聞きたい音楽ファイルを探す

●タッチスイッチの操作

- 1 **SCAN** にタッチします。



●パネルボタンの操作

- 1 番号ボタン **4** を押します。

- SCAN機能を使用しているときは、サブディスプレイに再生時間を表示します。

- 再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルを曲の始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度**SCAN**にタッチ、または番号ボタン**4**を押すとその曲で再生を続けます。

同じ音楽ファイルを繰り返して聞く

●タッチスイッチの操作

- 1 **RPT** にタッチします。



●パネルボタンの操作

- 1 番号ボタン **5** を押します。

- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度**RPT**にタッチ、または番号ボタン**5**を押すと解除されます。

MP3プレーヤーの使い方

順番をランダムに聞く

●タッチスイッチの操作

1 **RAND** にタッチします。



●パネルボタンの操作

1 番号ボタン **6** を押します。

- 再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルの中から任意にファイルを選び出し再生します。
- 一度設定すると解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチ、または番号ボタン **6** を押すと解除されます。
- ランダム再生中に **RPT** にタッチすると、再生中の曲を繰り返し再生します。もう一度 **RPT** にタッチすると、ランダム再生にもどります。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

ファイル情報の表示について

ディスクにフォルダ名やファイル名、ファイル情報（アーティスト名やアルバム名）が記録されている場合、表示することができます。

表示できる文字数は下記になります。

文字の種類	ディスプレイの表示		サブディスプレイの表示
	フォルダ・ファイル名	音楽ファイル情報	
全角文字	最大4文字	最大14文字	—
半角文字	最大8文字	最大28文字	最大10文字 (英語・数字・記号のみ)

■ ディスプレイの表示

フォルダ・ファイル名を表示する

- 1 **AUDIO CONT** を押し、操作画面を表示します。



ファイル情報を表示する

- 1 **TITLE** にタッチします。
- ファイル情報を表示しているときは、**TITLE** が **TITLE OFF** に切り替わります。**TITLE OFF** にタッチすると、フォルダ／ファイル切り替えスイッチに表示が切り替わります。



■ サブディスプレイの表示

再生時間を表示する

- 1 番号ボタン **3** を1秒以上押します。

- もう一度、番号ボタン **3** を1秒以上押すと、もとの表示に切り替わります。

トラック情報を切り替える

アーティスト名とトラックタイトルの表示を切り替えることができます。

- 1 番号ボタン **3** を押します。

- アーティスト名、トラックタイトルを順にスクロール表示し、その後、トラックタイトルの固定表示になります。
- 下記の場合、アルバム名、トラックタイトルを順にスクロール表示し、その後トラックタイトルを固定表示します。
 - ソースをMP3に切り替えたとき
 - トラックを切り替えたとき (自動／手動)
 - フォルダを切り替えたとき (自動／手動)
 - ランダム再生を設定し、トラックが切り替わったとき

MP3を止める

- 1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開されます。



- サブディスプレイが時計表示に設定されていると、トラック情報は表示されません。**DISP** を押すとトラック情報が表示されます。(「時計表示の切り替え」52ページ参照)
- 表示するファイル情報が何も無い場合や、英語／数字／記号以外の文字が収録されている場合は、サブディスプレイに" NO TITLE " を表示します。

MP3プレーヤーの使い方

MP3について

MP3 (MPEG Audio レイヤ3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。本機で使用できるMP3ファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットに制限があります。MP3ファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格について

- 対応規格 : MPEG Audio レイヤ3 (=MPEG1 Audio LayerⅢ)
- 対応サンプリング周波数 : 16、22.05、24、32、44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート : 32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160、192、224、256、320 (kbps)
※VBRに対応しています。
※フリーフォーマットには対応していません。
※MPEG1、2でビットレートが異なります。
- 対応チャンネルモード : ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

ID3タグについて

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

本機はID3v1.0、ID3v1.1のID3タグに対応しています。また、日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

使用できるメディアについて

MP3の再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。

なお、CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合再生できない場合や音飛びする場合があります。

一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2です。また、必ず“MODE1”で書き込んでください。“MODE2”で書き込まれたディスクには対応していません。

日本語を含むフォルダ名／ファイル名を使用することもできますが、この場合はRomeo形式で書き込まないと文字化けします。(Jolietには対応していません。)

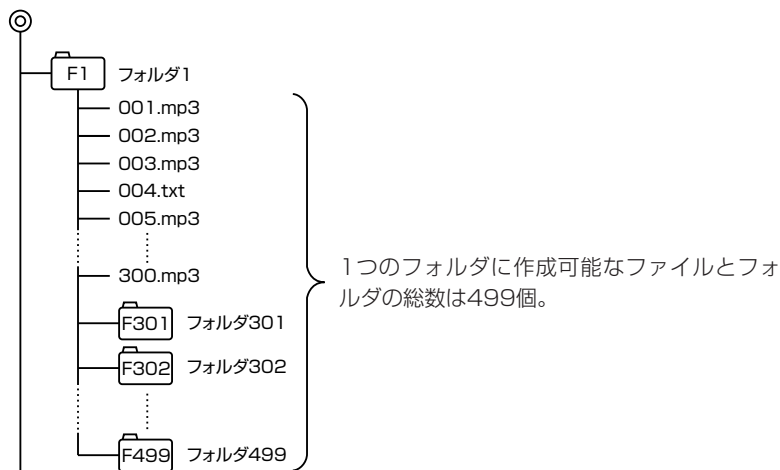
また、この場合は特に下記制限に注意してください。

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大ディレクトリ階層 : 8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数 : 半角31文字 (区切り文字 "." + 拡張子3文字を含む) 日本語1文字は半角2文字として扱われるため文字数が減ります。
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字 : A～Z、0～9、_ (アンダースコア)
日本語 (シフトJIS)
- 1つのフォルダ内に書き込み可能なファイルとフォルダの総数 : 499個

<MP3対応CDの構造例>



- 一枚のディスクに書き込み可能なフォルダ、ファイルの総数 : 499個

MP3プレーヤーの使い方

ファイル名について

MP3と認識し再生するファイルはMP3の拡張子 ".mp3" (*1) が付いたものだけです。MP3ファイルには、"mp3" の拡張子を付けて保存してください。

(*1) : 拡張子名 "MP" は大文字でも小文字でもかまいません。

マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3ファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、"Track at once" で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイルナライズ処理をしてください。

MP3の再生について

MP3ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると最初のMP3ファイルを再生します。チェックが終わるまで"MP3データを読み込み中です"が表示されます。(最大10分程度)なお、ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。

ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

MP3の演奏時間表示について

MP3ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

MP3ファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3ファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3ファイル、フォルダを次のように表示します。

1. MP3ファイルを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示
2. 次にフォルダを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示



注意

MP3以外のファイルに"mp3"の拡張子を付けると、MP3ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3以外のファイルに、"mp3"の拡張子を付けしないでください。

MP3ファイルの作り方、楽しみ方

MP3ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

インターネット上のMP3音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。ISDN回線ならば、1曲約15分から25分ぐらいでダウンロードできます（ただし、回線接続状況によります）。

音楽CDからMP3ファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3エンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3エンコーダソフトの手順に従って音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3形式の音楽データファイルができます。12cmの音楽CD1枚（最大74分収録／データ容量650MB）が約65MBのデータ量（約10分の1）になります。

CD-R/RWに書き込む場合

MP3ファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R、CD-RWに書き込みます。この時、ライティングソフトでISO9660レベル1またはレベル2（拡張フォーマット含まず）という記録フォーマットに設定して書き込みます。



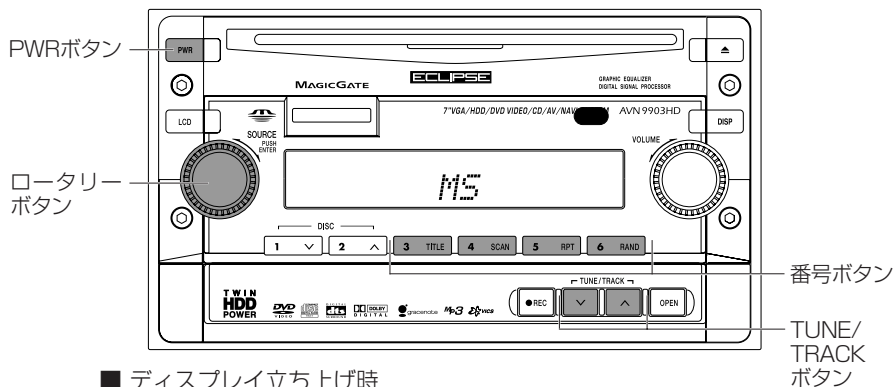
ワンポイント

- 安定した音質で再生するために、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数を推奨します。
- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。

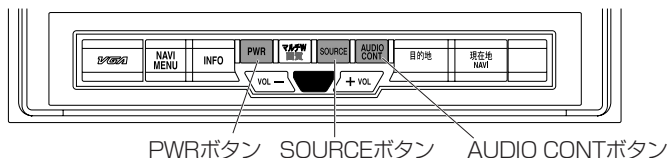
“メモリスティック” プレーヤーの使い方

本機は、ATRAC3（オーディオ圧縮技術）で“MG メモリスティック”に記録された音楽データを再生することができます。

■ ディスプレイ収納時



■ ディスプレイ立ち上げ時



“メモリスティック” を聞く

● タッチスイッチの操作

“メモリスティック” 挿入口に“MG メモリスティック”を挿入し、**CLOSE** にタッチします。

1 “MG メモリスティック”が挿入されているときに**SOURCE**を押します。

2 **MEMORY STICK** にタッチします。

●再生を始めます。

● パネルボタンの操作

“メモリスティック” 挿入口に“MG メモリスティック”を挿入します。

1 “MG メモリスティック”が挿入されているときにロータリーボタンを回し、MS（メモリスティック）を選びます。

2 ロータリーボタンを押します。

●再生を始めます。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 ▲、または▼を押します。

- ▲（上側）：次曲を選ぶとき
- ▼（下側）：前曲を選ぶとき

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 ▲、▼を“ピッ”と音がするまで押します。

- ▲（上側）：曲を進めるとき
 - ▼（下側）：曲を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたい曲を探す

●タッチスイッチの操作

1 **SCAN** にタッチします。



●パネルボタンの操作

1 番号ボタン **4** を押します。

- SCAN機能を使用しているときは、サブディスプレイにトラックナンバー、および再生時間を表示します。

- 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 **SCAN** にタッチする、または番号ボタン **4** を押すとその曲で再生を続けます。



ワンポイント

- 本機は、“MG メモリースティック”（白色）に記録されている音楽データのみ再生することができます。
- ATRAC3 Plusで記録された音楽データは再生することができません。
- “MG メモリースティック”を挿入すると、約4秒間、データ確認のため操作できなくなります。
- 再生可能回数、または期限が制限されている場合は、ディスプレイに回数および期限を表示します。
- 再生可能回数、または期限が切れた場合は、メッセージを表示します。（151ページ参照）

“メモリースティック” プレーヤーの使い方

同じ曲を繰り返して聞く

●タッチスイッチの操作

- 1 **RPT** にタッチします。



●パネルボタンの操作

- 1 番号ボタン **5** を押します。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチする、または番号ボタン **5** を押すと解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

●タッチスイッチの操作

- 1 **RAND** にタッチします。



●パネルボタンの操作

- 1 番号ボタン **6** を押します。

- 一度設定すると解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチする、または番号ボタン **6** を押すと解除されます。
- ランダム再生中に **RPT** にタッチすると、再生中の曲を繰り返して再生します。もう一度 **RPT** にタッチすると、ランダム再生にもどります。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

トラック情報の表示について

“MGメモリースティック” にトラックタイトルやアーティスト名が収録されている場合、表示することができます。

表示できる文字数は下記になります。

文字の種類	ディスプレイの表示	サブディスプレイの表示
全角文字	最大14文字	—
半角文字	最大28文字	最大10文字（英語・数字・記号のみ）

■ ディスプレイの表示

フォルダ・ファイル名を表示する

- 1 **AUDIO CONT** を押し、操作画面を表示します。



■ サブディスプレイの表示

トラックナンバー・再生時間を表示する

- 1 番号ボタン **3** を1秒以上押します。

- もう一度、番号ボタン **3** を1秒以上押すと、もとの表示に切り替わります。

トラック情報を切り替える

アーティスト名とトラックタイトルの表示を切り替えることができます。

- 1 番号ボタン **3** を押します。

- アーティスト名、トラックタイトルを順にスクロール表示し、その後、トラックタイトルの固定表示になります。

“メモリースティック” を止める

- 1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開されます。



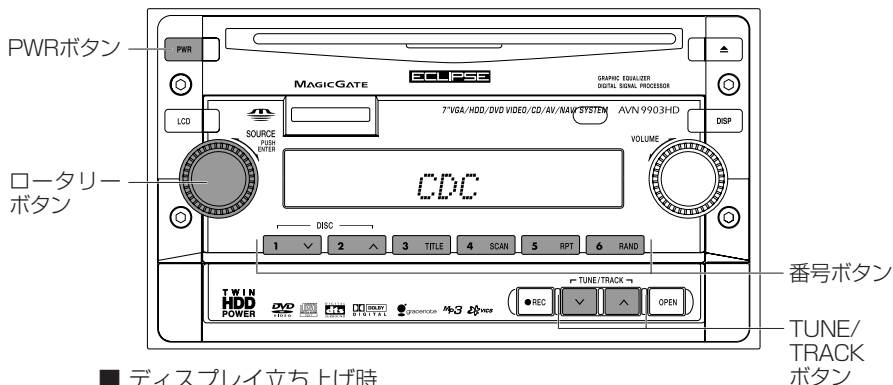
- サブディスプレイが時計表示に設定されていると、トラック情報は表示されません。**DISP** を押すと、トラック情報が表示されます。（「時計表示の切り替え」52ページ参照）

- 表示するトラック情報が何も無い場合や、英語／数字／記号以外の文字が収録されている場合は、サブディスプレイに“NO TITLE”を表示します。

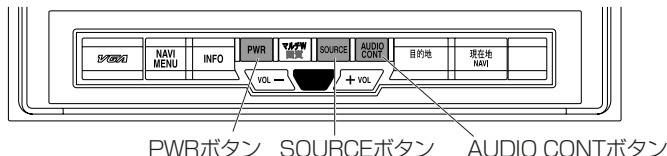
CDチェンジャーの使い方

別売のCDチェンジャーを接続すると操作できます。

■ ディスプレイ収納時



■ ディスプレイ立ち上げ時



CDを聞く

●タッチスイッチの操作

- 1 **SOURCE** を押します。

- 2 CDチェンジャー1台を接続している場合は **CD CHANGER 1** に、CDチェンジャー2台を接続している場合は **CD CHANGER 1**、または **CD CHANGER 2** にタッチします。

●パネルボタンの操作

- 1 ロータリーボタンを回し、CDチェンジャー1台を接続している場合は CDC、CDチェンジャー2台を接続している場合は CDC 1、または CDC 2を選びます。

- 2 ロータリーボタンを押します。

聞きたい曲を選ぶ

「CDプレーヤーの使い方」(59ページ)を参照してください。

早送り・早戻しする

「CDプレーヤーの使い方」(59ページ)を参照してください。



- ディスク切り替えスイッチは、CDチェンジャーに挿入できるCDの枚数分を表示し、挿入したディスク番号のみ選択することができます。
- CD-TEXTは表示できません。

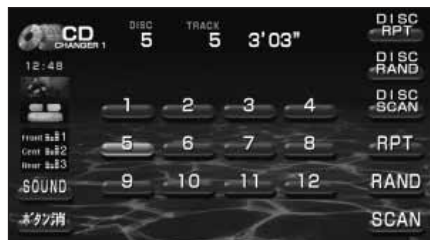
聞きたいCDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいCDを選ぶことができます。

●タッチスイッチの操作

1 ディスク切り替えスイッチにタッチします。

- 選択されたディスク番号の色が反転します。



●パネルボタンの操作

1 番号ボタン **1**、または **2** を押し、希望のディスクに切り替えます。

- 選択されたCDの番号を表示します。
- CDチェンジャー2台を接続している場合、ソースを切り替えていなくてもチェンジャー1からチェンジャー2のディスクに切り替えることができます。
チェンジャー1の最後のディスクを再生中に番号ボタン **1** を押しと、チェンジャー2の最初のディスクに切り替わります。

チェンジャー内の全CDから聞きたい曲やCDを探す

聞きたい曲を探す

「CDプレーヤーの使い方」(59ページ)を参照してください。

聞きたいCDを探す

●タッチスイッチの操作

1 **DISC SCAN** にタッチします。



- CDチェンジャー内、全CDの1曲目に録音されている曲を、始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 **DISC SCAN** にタッチする、または番号ボタン **4** を押しとそのまま再生を続けます。

●パネルボタンの操作

1 番号ボタン **4** を1秒以上押します。

- SCAN機能を使用しているときは、サブディスプレイにディスク番号、および再生時間を表示します。

CDチェンジャーの使い方

聞きたい曲や同じCDを繰り返し聞く

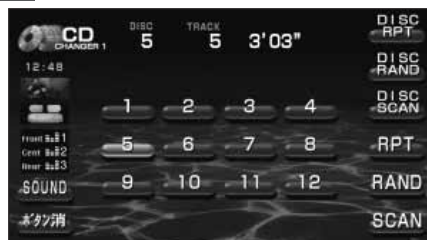
いま聞いている曲を繰り返し再生する

「CDプレーヤーの使い方」(60ページ)を参照してください。

いま聞いているCDを繰り返し再生する

●タッチスイッチの操作

1 **DISC RPT** にタッチします。



●一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度**DISC RPT** にタッチする、または番号ボタン**5**を押すと解除されます。

●パネルボタンの操作

1 番号ボタン**5**を1秒以上押します。

曲の順番をランダムに聞く

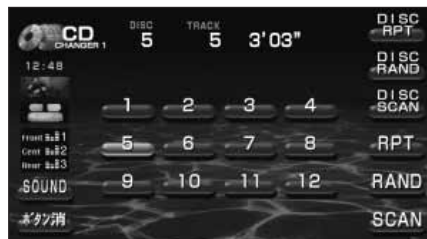
いま聞いているCDの中からランダムに聞く

「CDプレーヤーの使い方」(60ページ)を参照してください。

チェンジャー内全CDの中からランダムに聞く

●タッチスイッチの操作

1 **DISC RAND** にタッチします。



●一度設定すると解除するまでランダム再生します。もう一度**DISC RAND** にタッチする、または番号ボタン**6**を押すと解除されます。

●曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

●パネルボタンの操作

1 番号ボタン**6**を1秒以上押します。

トラックナンバー・再生時間を表示する

サブディスプレイに、トラックナンバー、および再生時間を表示することができます。

■ ディスプレイの表示

1 番号ボタン **[3]** を1秒以上押します。

- もう一度番号ボタン **[3]** を1秒以上押すと、もとの表示に切り替わります。

CDを止める

1 **[PWR]** を押します。

- もう一度 **[PWR]** を押すと再生が再開されます。

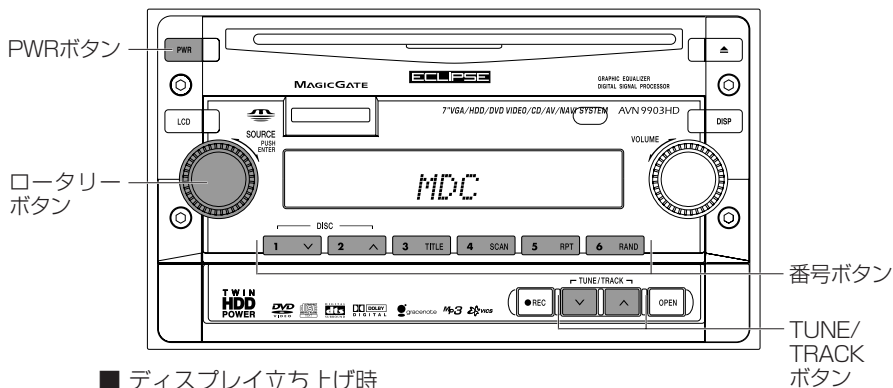


サブディスプレイが時計表示に設定されていると、トラックナンバー、再生時間は表示されません。**[DISP]** を押すと、トラックナンバー、再生時間が表示されます。(「時計表示の切り替え」52ページ参照)

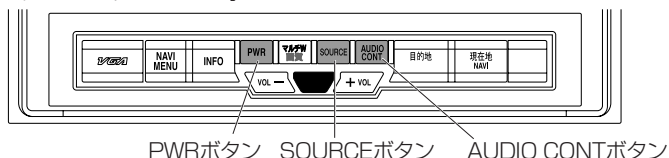
MDチェンジャーの使い方

別売のMDチェンジャーを接続すると操作できます。

■ ディスプレイ収納時



■ ディスプレイ立ち上げ時



MDを聞く

● タッチスイッチの操作

- 1 **SOURCE** を押します。
- 2 **MD CHANGER** にタッチします。

● パネルボタンの操作

- 1 ロータリーボタンでMDCを選びます。
- 2 ロータリーボタンを押します。



- ディスク切り替えスイッチは、MDチェンジャーに挿入できるMDの枚数分を表示し、挿入したディスク番号のみ選択することができます。
- MDLP方式で録音されたMDは再生できません。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 **△**、または**▽**を押します。

- **△**（上側）：次曲を選ぶとき
- **▽**（下側）：前曲を選ぶとき

聞きたいMDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいMDを選ぶことができます。

●タッチスイッチの操作

1 ディスク切り替えスイッチにタッチします。

- 選択されたディスク番号の色が反転します。



早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 **△**、**▽**を“ピッ”と音がするまで押します。

- **△**（上側）：曲を進めるとき
- **▽**（下側）：曲を戻すとき

“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

●パネルボタンの操作

1 番号ボタン**1**、または**2**を押し、希望のディスクに切り替えます。

- 選択されたMDの番号を表示します。

MDチェンジャーの使い方

チェンジャー内の全MDから聞きたい曲やMDを探す

聞きたい曲を探す

●タッチスイッチの操作

- 1 **SCAN** にタッチします。



- 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 **SCAN** にタッチする、または番号ボタン **4** を押すとその曲で再生を続けます。

聞きたいMDを探す

●タッチスイッチの操作

- 1 **DISC SCAN** にタッチします。



- MDチェンジャー内、全MDの1曲目に録音されている曲を、始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 **DISC SCAN** にタッチする、または番号ボタン **4** を押すとその曲で再生を続けます。

●パネルボタンの操作

- 1 番号ボタン **4** を押します。

- SCAN機能を使用しているときは、サブディスプレイにディスク番号、および再生時間を表示します。

●パネルボタンの操作

- 1 番号ボタン **4** を1秒以上押します。

聞きたい曲や同じMDを繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

●タッチスイッチの操作

- 1 **RPT** にタッチします。



●パネルボタンの操作

- 1 番号ボタン **5** を押します。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** をタッチする、または番号ボタン **5** を押すと解除されます。

いま聞いているMDを繰り返し再生する

●タッチスイッチの操作

- 1 **DISC RPT** にタッチします。



●パネルボタンの操作

- 1 番号ボタン **5** を1秒以上押します。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RPT** にタッチする、または番号ボタン **5** を押すと解除されます。

MDチェンジャーの使い方

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているMDの中からランダムに聞く

●タッチスイッチの操作

1 **RAND** にタッチします。



●パネルボタンの操作

1 番号ボタン **6** を押します。

- 一度設定すると解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチする、または番号ボタン **6** を押すと解除されます。
- ランダム再生中に **RPT** にタッチすると、再生中の曲を繰り返し再生します。もう一度 **RPT** にタッチすると、ランダム再生にもどります。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

チェンジャー内全MDの中からランダムに聞く

●タッチスイッチの操作

1 **DISC RAND** にタッチします。



●パネルボタンの操作

1 番号ボタン **6** を1秒以上押します。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RAND** にタッチする、または番号ボタン **6** を押すと解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

トラック情報の表示について

MDにディスクタイトルやトラックタイトルが記録されている場合、表示することができます。表示できる文字数は下記になります。

文字の種類	ディスプレイの表示	サブディスプレイの表示
全角文字	—	—
半角文字	最大28文字	最大10文字（英語・数字・記号のみ）

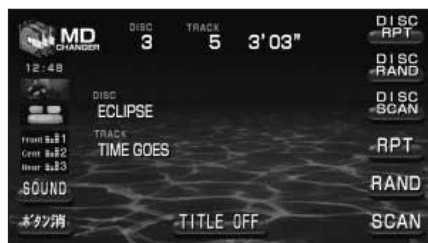
■ ディスプレイの表示

ディスクタイトル・トラックタイトルを表示する

1 **AUDIO CONT** を押し、操作画面を表示します。

2 **TITLE** にタッチします。

- ディスクタイトル、トラックタイトルを表示しているときは、**TITLE** が **TITLE OFF** に切り替わります。**TITLE OFF** にタッチするとディスク切り替えスイッチに表示が切り替わります。



■ サブディスプレイの表示

トラックナンバー・再生時間を表示する

1 番号ボタン **3** を1秒以上押します。

- もう一度、番号ボタン **3** を1秒以上押すと、もとの表示に切り替わります。

トラック情報を切り替える

ディスクタイトルとトラックタイトルの表示を切り替えることができます。

1 番号ボタン **3** を押します。

- ディスクタイトル、トラックタイトルを順にスクロール表示し、その後、トラックタイトルの固定表示になります。
- 下記の場合、ディスクタイトル、トラックタイトルを順にスクロール表示し、その後トラックタイトルを固定表示します。
 - ソースをMDチェンジャーに切り替えたとき
 - ディスクを切り替えたとき（自動／手動）

MDチェンジャーの使い方

MDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開されます。



ワンポイント

- サブディスプレイが時計表示に設定されていると、トラック情報は表示されません。**DISP** を押すと、トラック情報が表示されます。(「時計表示の切り替え」52ページ参照)
- 表示するトラック情報が何も無い場合や、英語／数字／記号以外の文字が収録されている場合は、サブディスプレイに” NO TITLE ” を表示します。

MUSIC JUKEをお使いになる前に

MUSIC JUKEの概要

MUSIC JUKEはCDやラジオなどで再生されている音楽・音声をATRAC3（アトラックスリー）圧縮技術で圧縮し、録音することができます。録音には、CDプレーヤーからCDアルバムを録音すると、「Gracenote CDDDB[®]音楽認識サービス」により、アルバム名やアーティスト名、ジャンルを検索し、該当する名称でリスト（プレイリスト）を自動で作成するデジタル録音*と、CDプレーヤー以外のオーディオモードから録音し、録音したオーディオモードや録音日別にプレイリストを自動で作成するアナログ録音があります。

※…該当する名称が検索できなかった場合は、アナログ録音と同じ条件でプレイリストを作成します。

MUSIC JUKEの構成について

MUSIC JUKEは、録音された音楽・音声を6種類のプレイモードに大きく分類し、各プレイモードに作成したプレイリストに細かくグループを分けて管理することができます。聞きたい音楽は、プレイモードやプレイリストから絞り込んで検索することができるので便利です。



プレイモード

録音した音楽（トラック）を6つの再生モード（アルバム、アーティストやジャンルなど）で分けています。

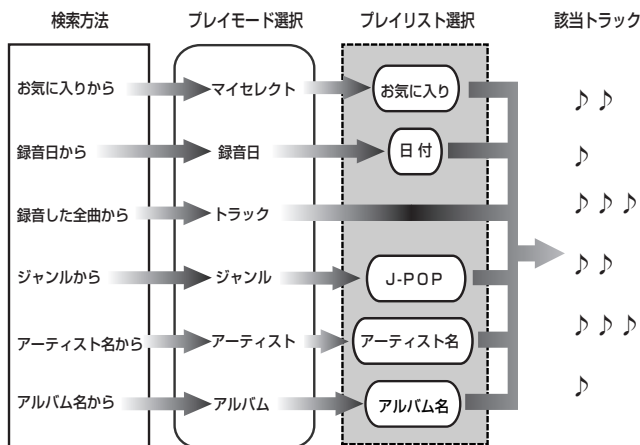


プレイリスト

各プレイモード（再生モード）ごとに録音した音楽（トラック）をそれぞれの種類別に分けています。

トラック

録音した音楽、音声データ



MUSIC JUKEをお使いになる前に

プレイモード・プレイリストについて

本機は、録音した音楽を種類や録音条件によってグループ分けして、MUSIC JUKEに保存します。

録音した音楽は、5種類のプレイモードの中に自動で作成された、アルバム名別やアーティスト別、ジャンル別のグループに分けられます。また、お好みの曲だけを集めたグループを作成することもできます。

プレイモード	プレイリスト
アルバム	録音すると、トラックを収録したプレイリストを作成します。オートタイトリング機能でアルバム名が付与された場合アルバム名がプレイリスト名になります。オートタイトリング機能でアルバム名が付与されなかった場合は日付／オーディオモード／番号がプレイリスト名になります。
マイセレクト	お好みの曲だけを集めたオリジナルプレイリストです。編集作業で新規作成することができます。
トラック	プレイリストはありません。
アーティスト	●オートタイトリング機能で、録音された曲のアーティスト名が付与された場合、アーティスト名でプレイリストを作成します。 ●録音されたトラックの情報に新規でアーティスト名を入力し、プレイリストを作成することができます。
ジャンル	オートタイトリング機能で、録音された曲のジャンルが付与された場合、ジャンルでプレイリストを作成します。
録音日	録音した日付別にプレイリストを作成します。



ワンポイント

MUSIC JUKEには、最大999個*のプレイリストを作成することができ、1つのプレイリストには最大99曲*までトラックを録音することができます。録音可能なトラックの総数は最大3000曲*です。

※…録音時間や録音モードによって、作成可能なプレイリスト数や録音可能なトラック数は異なります。

データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをMUSIC JUKEにデジタル録音した場合、ハードディスクに収録されているGracenote CDDDBデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトルを検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。

本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote CDDDBのデータベース情報を使用しています。

Gracenote CDDDBについて

Gracenote is CDDDB, Inc. d/b/a "Gracenote."

CD and music-related data from Gracenote CDDDB®

Music Recognition Service © 2000, 2001, 2002 Gracenote.

Gracenote CDDDB Client Software © 2000, 2001, 2002 Gracenote.

米国特許番号 5,987,525, 6,061,680, 6,154,773 その他特許取得済みまたは申請中。

CDDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteロゴ及びロゴタイプ、Gracenote CDDDBロゴ及びロゴタイプ、ならびに"Powered by Gracenote CDDDB"ロゴは、Gracenoteの商標です。音楽認識サービスとMRSはGracenoteのサービスマークです。

音楽認識技術及び関連データは、Gracenote及びthe Gracenote CDDDB Music Service により提供されています。Gracenoteは音楽認識技術及び関連コンテンツ配信分野での業界標準です。

より詳しい情報は、www.gracenote.comをご覧ください。



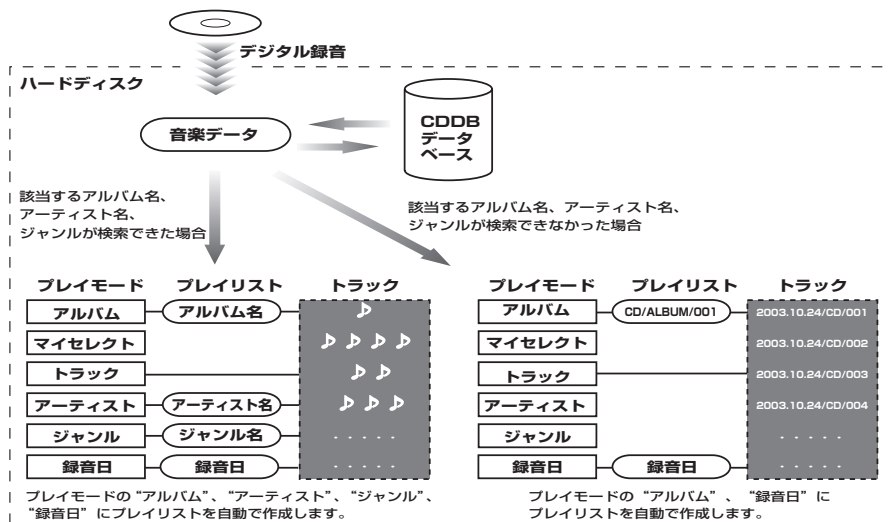
「Gracenote CDDDB®音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

MUSIC JUKEをお使いになる前に

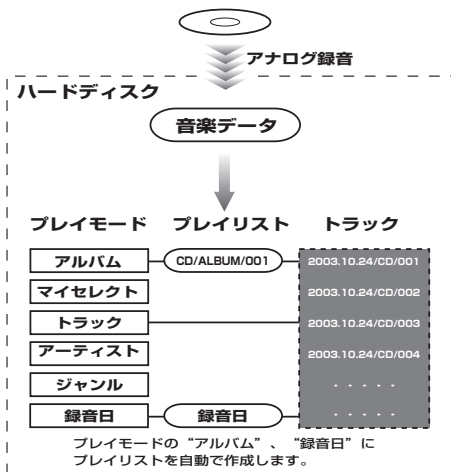
オートタイトリング機能について

本機は、録音した音楽を録音条件やデータベースからのタイトル情報によって自動でプレイリストを作成し、グループ分けします。

デジタル録音



アナログ録音



ワンポイント

デジタル録音時にタイトル情報が付与できなかったものや、アナログ録音時には下記の情報を付与し、下記のプレイモードにプレイリストを作成します。

アルバムプレイモード…
オーディオモード／ALBUM／3桁の番号※

トラックプレイモード…
日付／オーディオモード／3桁の番号※

※…日付が変わった場合、番号を1から順に付与する。

データベース情報の表示・更新

ハードディスクに収録されているタイトルデータベースのバージョンを表示したり、データベースの情報を更新することができます。

データベース情報を表示する

タイトルデータベース情報画面は表示例であり、タイトルデータベースの収録時期によって表示内容が異なります。

- 1 **INFO** を押します。
- 2 **次ページ** にタッチします。
- 3 **データ管理** にタッチします。



- 4 **バージョン情報** にタッチします。

●データベース情報を表示します。



データベースを更新する

本機のGracenote CDDDBデータベースは、提供されたデータによって更新することができます。なお、更新データの提供については、別途、弊社よりご連絡する予定です。

- 1 **INFO** を押します。
- 2 **次ページ** にタッチします。
- 3 **データ管理** にタッチします。



- 4 **データベースの更新** にタッチします。

●データベースの更新が完了します。



一度付与されたタイトル情報は、Gracenote CDDDBデータベースを更新しても変更されません。CDアルバムをデジタル録音した場合に、日付やオーディオモード、番号などが付いたタイトルは、データベース更新後に、データベースに該当するタイトル情報が保有されていても、更新されません。

MUSIC JUKEをお使いになる前に

ハードディスクの容量確認

ハードディスク内の録音トラック数や作成プレイリスト数を表示することができます。録音可能な曲数や、作成可能なプレイリスト数も確認することができます。

- 1 **INFO** を押します。
- 2 **次ページ** にタッチします。
- 3 **データ管理** にタッチします。



- 4 **確認** にタッチします。

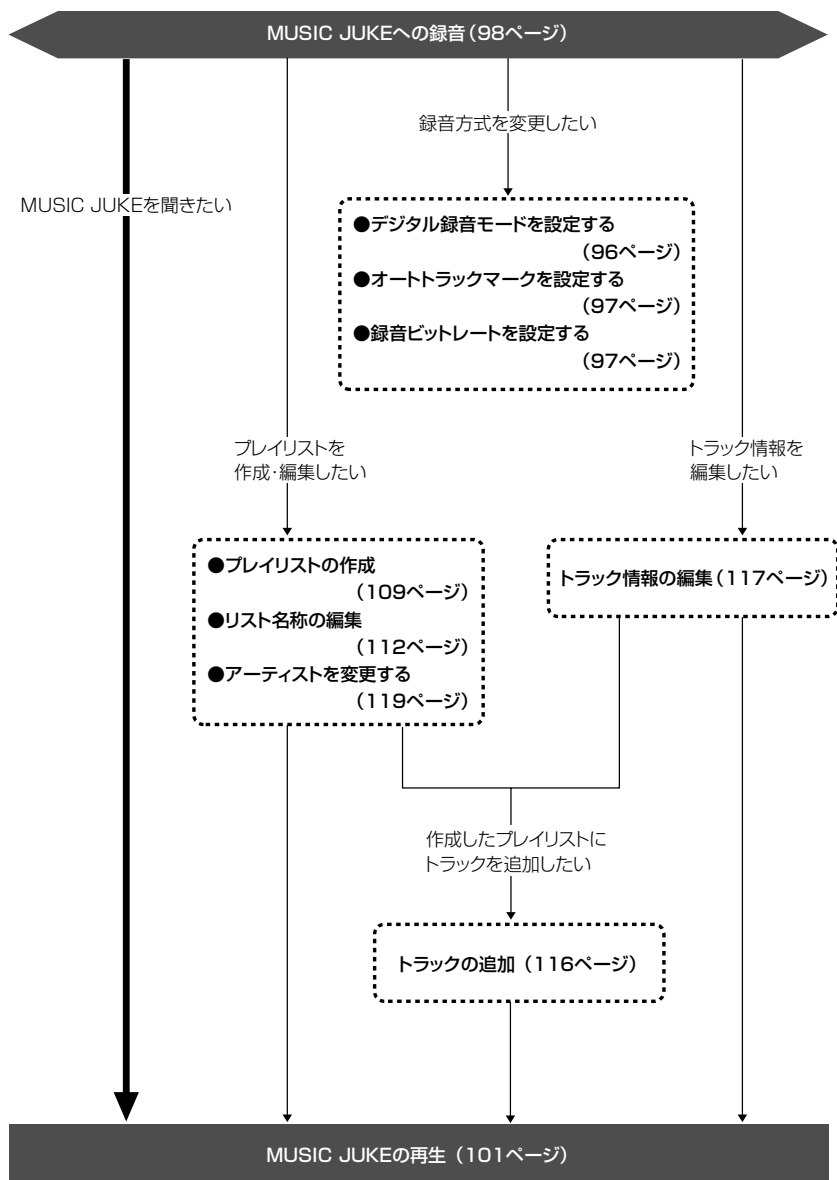


- ハードディスクの使用状況を表示します。



操作の流れについて

MUSIC JUKEへの録音や、プレイリスト、トラック情報の編集、MUSIC JUKEの聞き方などの操作を説明します。



MUSIC JUKEへの録音

MUSIC JUKEへの録音について

- 本機は、内蔵のCDプレーヤー、別売のCDチェンジャー・MDチェンジャーで再生している音楽や、ラジオ、TV（音声）、VTR（音声）で放送している・再生している音楽・音声をMUSIC JUKEに録音することができます。
- MP3ファイル、“メモリースティック”、DVDから録音することはできません。

録音できるオーディオソースと録音方式について

MUSIC JUKEは、録音できるオーディオソースにより、録音方式が異なります。

録音方式	録音可能なオーディオソース
デジタル録音	CDプレーヤー
アナログ録音	FM、AM、TV（音声）、VTR（音声）、CDチェンジャー、MDチェンジャー、CDプレーヤー（デジタル録音禁止されているCDの場合のみ）

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽・音声データについては保証できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、音楽・音声データが正しく録音されていることを確認してください。
- ACC ONの状態で録音している時に、エンジンスタートすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップCD（曲と曲の間の無音部分が無いCD）を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがありますが、録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- 録音の開始時や、終了時には、約2秒間音楽や音声が停止します。
 - アナログ録音開始時および終了時は約2秒間音楽や音声が聞こえなくなります。
 - 音楽CDなどをデジタル録音中にラジオなどに切り替え、録音を終了すると、約2秒間ラジオの放送が聞こえなくなります。

デジタル録音について

- SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、下記のCDはデジタル録音方式で録音することができません。
 - ・ 音楽CDなどからデジタル録音したCD-RやCD-RW*
 - ・ 録音が禁止されている音楽CD*

※ RECを押して、アナログ録音方式として録音することは可能です。
- 下記の場合、録音途中のトラック（曲）を削除します。
 - ・ 録音中にお車のエンジンをOFF(ACC OFF)にした場合
 - ・ 録音中にCDを取り出した場合
- デジタル録音モード（96ページ）が” AUTO” に設定されていると、下記の場合、自動で録音を再開します。
 - ・ エンジンをONにした場合*¹
 - ・ CDを挿入した場合*²

※1 録音途中だったトラック（曲）の頭から録音を再開します
※2 CDを最初から順に再生し、録音されていないトラック（曲）の順番になると録音を再開します。
- 下記の場合、録音を継続します。
 - ・ 録音中にオーディオモードを切り替えた場合
 - ・ 録音中にオーディオをOFFにした場合
- すでに録音されている曲は、重複して録音することはできません。
- 手動で録音を停止する場合は、次曲を3秒ほど再生してから **●REC** を押してください。音楽の終了と同時に **●REC** を押し、録音を終了すると正常に録音できていない場合があります。

アナログ録音について

- アナログ録音は、5時間以上連続で録音することはできません。続けて録音する場合は、再度 **●REC** を押して録音してください。
- アナログ録音中にお車のエンジンをOFF（ACC OFF）にした場合、録音を中止します。また、録音中、オーディオモードを切り替えると録音は中止されます。

MUSIC JUKEへの録音

録音方式の設定

MUSIC JUKEの録音方式を切り替えることができます。

- 1 MUSIC JUKE操作画面で、**設定** にタッチします。



●MUSIC JUKE操作画面

- MUSIC JUKE設定画面が表示されます。
- MUSIC JUKE設定画面から下記の設定を切り替えることができます。



●MUSIC JUKE設定画面

項目	機能	ページ
デジタル録音モード	デジタル録音時のオート、マニュアルの設定	下記
オートトラックマーク	録音したトラック（曲）の区切り設定	次ページ
録音ビットレート	録音時の音質切り替え	次ページ
表示並び替え	プレイリスト・トラックの表示・再生順の並び替え	114

デジタル録音モードを設定する

デジタル録音する場合に、CD再生と同時に録音を開始する **AUTO**、またはパネルボタン（**●REC**）を押すと、再生している曲の頭に戻り録音を開始する

MANUAL に切り替えることができます。

- 1 MUSIC JUKE操作画面で、**設定** にタッチします。

- 2 **AUTO**、または **MANUAL** にタッチします。

- **AUTO** ……CDを挿入すると、自動で再生と録音を開始、CD内全曲の再生終了と同時に録音を終了。
- **MANUAL** ……**●REC** を押すと録音を開始、再度 **●REC** を押すと録音を終了。



オートトラックマークを設定する

トラック（曲など）とトラックの間を設定します。

1 MUSIC JUKE操作画面で、**設定** にタッチします。

2 **ON**、または**OFF** にタッチします。

- **ON** …… CDなどは、曲と曲の間にある無音部分を検知して、トラックを設定する。
CD以外のオーディオモードを録音する場合は、録音を終了した時点でトラックを設定する。
- **OFF** …… 録音開始から録音終了までを1トラックとして設定する。



録音ビットレートを設定する

録音するときの音質を選ぶことができます。録音ビットレートの数字が大きくなるほど、音質は良くなりますが、データの容量も大きくなります。

1 MUSIC JUKE操作画面で、**設定** にタッチします。

2 **132k**、**105k**、または**66k** にタッチします。



MUSIC JUKEへの録音

MUSIC JUKEへの録音

本機は、CDプレーヤーからMUSIC JUKEへ録音するデジタル録音と、CDプレーヤー以外のオーディオモードからMUSIC JUKEへ録音するアナログ録音があります。

デジタル録音は、CDの再生と同時に自動で録音を開始するAUTO録音と **●REC** スイッチを押して録音を開始するマニュアル録音があります。

状態	ディスプレイの表示	サブディスプレイの表示
録音中	“REC” を表示（回転）	“REC” を表示（点滅）
録音待機中	“REC” を小さく表示（回転なし）	“REC” を表示（点滅なし）

録音中は下記のスイッチが使用できなくなります。

録音の種類	オーディオモード (音声モード)	タッチスイッチ	パネルボタン
デジタル録音	CD	RPT RAND SCAN 番号ボタン 4 5 6	長押しのみ 長押しのみ
	CD以外※	制約なし	制約なし
アナログ録音	AM、FM、CD、 CDチェンジャー、 MDチェンジャー、 TV、VTR	RPT RAND SCAN DISC DISC DISC RPT RAND SCAN 各プリセットスイッチ エリア AUTO.P マルチ 番号ボタン 4 5 6	

※ …デジタル録音しながら、オーディオモードをラジオやTV、VTR、CDチェンジャー、MDチェンジャーに切り替えた場合。

CDを再生しながら自動で録音する

CDを挿入すると、再生と同時に、自動でMUSIC JUKEへ録音を開始します。

1 CDを挿入します。

- 「CDを聞く」(58ページ)を参照してください。
- 自動でMUSIC JUKEへ録音を開始します。
- 録音を停止する場合は、次曲を3秒ほど再生してから **●REC** を1秒以上押します。
- すでにCDが挿入されているときに、オーディオソースをCDに切り替えても自動で録音は開始されません。 **●REC** を押すと、録音を開始します。

RECマーク



- ディスプレイ立ち上げ時

RECマーク



- ディスプレイ収納時



- コピー許可されていないCD-R/RWや、CDプレーヤー以外のオーディオソースからMUSIC JUKEに録音する場合はアナログ録音となり、マニュアル操作でのみ録音することができます。
- お好みの曲から録音を開始したい場合は、「デジタル録音モードを設定する」(96ページ参照)で録音モードを **MANUAL** に設定してください。

MUSIC JUKEへの録音

CDの中から好みのトラック（音楽）を録音する

CDを再生中、好みの曲から録音を開始します。

1 CDを再生します。

- 「CDを聞く」（58ページ）を参照してください。

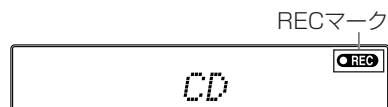
2 ●REC を1秒以上押します。

- 曲の初めに戻り、MUSIC JUKEへ録音を開始します。
- 録音を停止する場合は、●REC を1秒以上押します。

RECマーク



- ディスプレイ立ち上げ時



- ディスプレイ収納時

CDプレーヤー以外のオーディオモードから録音する

ラジオ、TV、VTR、CDチェンジャー、MDチェンジャーを再生中、好みのタイミングで録音を開始します。

1 録音するオーディオソースに切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」（22ページ）を参照してください。

2 ●REC を1秒以上押します。

- MUSIC JUKEへ録音を開始します。
- 録音を停止する場合は、●REC を1秒以上押します。

RECマーク



- ディスプレイ立ち上げ時



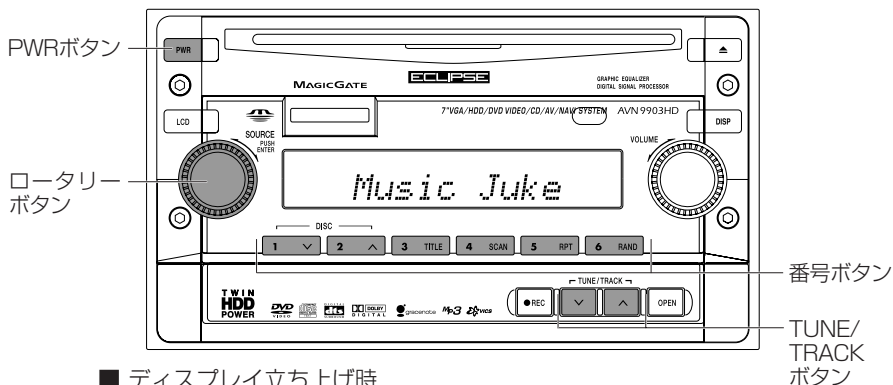
- ディスプレイ収納時



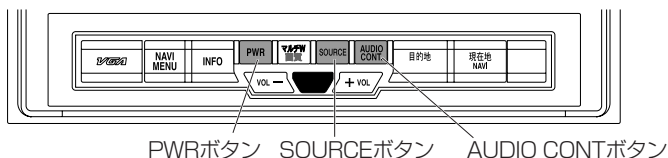
CDを挿入し、再生と同時に録音を開始する場合は、「デジタル録音モードを設定する」（96ページ参照）で録音モードを **AUTO** に設定してください。

MUSIC JUKEの使い方

■ ディスプレイ収納時



■ ディスプレイ立ち上げ時



MUSIC JUKEを聞く

●タッチスイッチの操作

- 1 **SOURCE** を押します。
- 2 **MUSIC JUKE** にタッチします。

●再生を始めます。

●前回、MUSIC JUKEを再生していた場合は、最後に聞いていたトラック（曲）の最初から再生を始めます。

●パネルボタンの操作

- 1 ロータリーボタンを回し、MUSIC JUKEを選びます。
- 2 ロータリーボタンを押します。

聞きたいトラック（曲）を選ぶ

MUSIC JUKEに保存されている複数のトラック（曲）をアルバム名やジャンルなどグループ別に選ぶことができます。タッチするプレイモードによって、表示するプレイリストは切り替わります。

プレイモード	プレイリスト
アルバム	録音した時に自動で作成したプレイリストを表示します。
マイセレクト	オリジナルで作成したプレイリストを表示します。
トラック	プレイリストはありません。録音したすべての音楽を表示します。
アーティスト	録音した時に自動で作成したアーティスト名のプレイリストを表示します。
ジャンル	録音した時に自動で作成したジャンル別のプレイリストを表示します。
録音日	録音した日付のプレイリストを表示します。

MUSIC JUKEの使い方

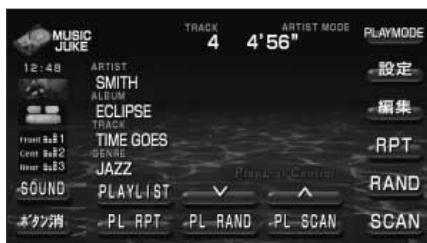
TUNE/TRACKボタンから選ぶ

●タッチスイッチの操作

1 **PLAY MODE** にタッチしてプレイモードを選びます。

- プレイモードを切り替えると選んだプレイモードの一番目に収録されているプレイリストを再生します。
- PLAY MODE** にタッチすることにより、下図の順に切り替わります。

アルバム → マイセレクト → トラック
↑
録音日 ← ジャンル ← アーティスト



2 **▲**、または **▼** にタッチしてプレイリストを選びます。

- プレイリストに収録されている先頭のトラック情報を表示します。

3 **▲**、または **▼** を押してトラックを選びます。

- プレイリストに収録されているトラックが順に切り替わります。

●パネルボタンの操作

1 番号ボタン **1**、または番号ボタン **2** を押して、プレイリストを選びます。

2 **▲**、または **▼** を押してトラックを選びます。

- プレイリストに収録されているトラックが順に切り替わります。
- プレイモードを切り替えることはできません。ディスプレイ立ち上げ時に聞いているプレイモードに収録されているプレイリストを切り替えることができます。
- プレイモードにプレイリストが1つしか収録されていない場合や、ディスプレイ立ち上げ時に、プレイモードの「トラック」が選ばれていた場合、番号ボタン **1**、および番号ボタン **2** は操作できません。**2** の操作でトラックを切り替えてください。



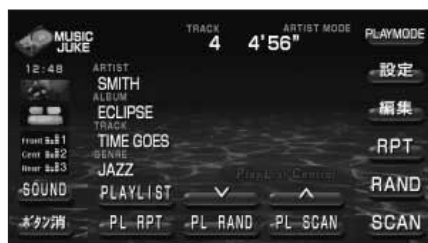
各プレイモードは、プレイリストが作成されていないと選べません。

プレイリスト画面から選ぶ

●タッチスイッチの操作

1 **PLAY LIST** にタッチします。

- プレイリスト画面が表示されます。



2 プレイモードにタッチします。

- プレイモードに収録されているプレイリストを表示します。
- トラック** にタッチすると、MUSIC JUKEに録音されている全てのトラックを一覧で表示します。



- プレイリスト画面

プレイリスト

3 プレイリストにタッチします。

4 **TRACK** にタッチします。

- 選んだプレイリストのトラックを一覧で表示します。
- 再生** にタッチすると、プレイリストに収録されている先頭の曲から再生を始めます。



5 トラック名（曲名）にタッチします。

- 選んだトラックを再生します。



- トラッカー一覧画面



- 各プレイモードは、プレイリストが作成されていないと選べません。
- 同じモード内にリストが4個以上ある場合は、**▲**・**▼**にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。
- 同じリスト内に4曲以上収録されている場合は、**▲**・**▼**にタッチすると、トラック名（曲名）を切り替えて表示することができます。

MUSIC JUKEの使い方

早送り・早戻しする

いま聞いているトラック（曲）を早送り・早戻しすることができます。

- 1 **▲**、**▼**を“ピッ”と音がするまで長く押します。

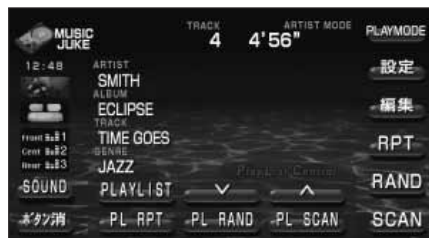
- **▲**（上側）：トラック（曲）を進めるとき **▼**（下側）：トラック（曲）を戻すとき “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたいトラック（曲）を探す

プレイリストの中から聞きたい曲を探す

●タッチスイッチの操作

- 1 **SCAN** にタッチします。



- 再生中のプレイリスト内、全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 **SCAN** にタッチする、または番号ボタン **4** を押すとその曲で再生を続けます。

プレイモードの中から聞きたいプレイリストを探す

●タッチスイッチの操作

- 1 **PL SCAN** にタッチします。



- 再生中のプレイモード内、全プレイリストの1曲目に収録されているトラックを始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 **PL SCAN** にタッチする、または番号ボタン **4** を押すとそのプレイリストで再生を続けます。

●パネルボタンの操作

- 1 番号ボタン **4** を押します。

- SCAN機能を使用しているときは、サブディスプレイにトラックナンバー、および再生時間を表示します。

●パネルボタンの操作

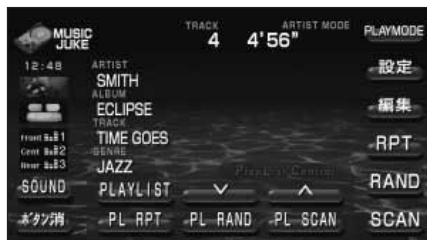
- 2 番号ボタン **4** を1秒以上押します。

聞きたいトラック（曲）を繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

●タッチスイッチの操作

- 1 **RPT** にタッチします。



●パネルボタンの操作

- 1 番号ボタン **5** を押します。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチする、または番号ボタン **5** を押すと解除されます。

いま聞いているプレイリストを繰り返し再生する

●タッチスイッチの操作

- 1 **PL RPT** にタッチします。



●パネルボタンの操作

- 1 番号ボタン **5** を1秒以上押します。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **PL RPT** にタッチする、または番号ボタン **5** を押すと解除されます。

MUSIC JUKEの使い方

トラック（曲）の順番をランダムに聞く

いま聞いているプレイリストの中からランダムに再生する

●タッチスイッチの操作

1 **RAND** にタッチします。



●パネルボタンの操作

1 番号ボタン **6** を押します。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **RAND** にタッチする、または番号ボタン **6** を押すと解除されます。
- ランダム再生中に **RPT** にタッチすると、再生中の曲を繰り返し再生します。もう一度 **RPT** にタッチすると、ランダム再生にもどります。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

MUSIC JUKEに保存されている全曲の中からランダムに再生する

●タッチスイッチの操作

1 **PL RAND** にタッチします。



●パネルボタンの操作

1 番号ボタン **6** を1秒以上押します。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **PL RAND** にタッチする、または番号ボタン **6** を押すと解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

トラック情報の表示について

MUSIC JUKEに録音されているトラックのアーティスト名やアルバム名を表示することができます。

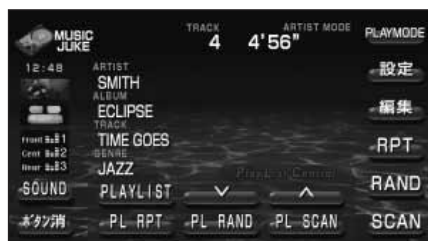
CD-TEXTが収録されていなくても、本機のデータベースに再生しているディスクのトラック情報が収録されていれば、表示することができます。

表示できる文字数は下記になります。

文字の種類	ディスプレイの表示	サブディスプレイの表示
全角文字	最大14文字	—
半角文字	最大28文字	最大10文字（英語・数字・記号のみ）

■ ディスプレイの表示

- 1 **AUDIO CONT** を押し、操作画面を表示します。



■ サブディスプレイの表示

トラックナンバー・再生時間を表示する

- 1 番号ボタン **3** を1秒以上押します。

- もう一度、番号ボタン **3** を1秒以上押すと、もとの表示に切り替わります。

トラック情報を切り替える

アーティスト名とトラックタイトルの表示を切り替えることができます。

- 1 番号ボタン **3** を押します。

- アーティスト名、トラックタイトルを順にスクロール表示し、その後、トラックタイトルの固定表示になります。
- 下記の場合、アルバム名、トラックタイトルを順にスクロール表示し、その後トラックタイトルを固定表示します。
 - ソースをMUSIC JUKEに切り替えたとき
 - トラックを切り替えたとき（自動／手動）
 - プレイリストを切り替えたとき（自動／手動）
 - ランダム再生を設定し、トラックが切り替わったとき

MUSIC JUKEの使い方

MUSIC JUKEを止める

1 **PWR** を押します。

●もう一度**PWR**を押すと再生が再開されます。



ワンポイント

- サブディスプレイが時計表示に設定されていると、トラック情報は表示されません。**DISP**を押すと、トラック情報が表示されます。(「時計表示の切り替え」52ページ参照)
- トラック情報に英語／数字／記号以外の文字が収録されている場合は、サブディスプレイに“NO TITLE”を表示します。

プレイリストの編集

本機は、MUSIC JUKEに録音すると、アルバム名やアーティスト名などのプレイリストを自動で作成し、グループ分けしますが、お好みのトラック（曲）を集めたオリジナルプレイリストを作成することができます。また、プレイリストの名称の編集やプレイリストの並び替えをすることができます。

●編集中は音楽の再生を一時停止します。

プレイリストの作成

プレイモードのマイセレクトはお好みの曲だけを集めたプレイリストを作成することができます。プレイモードのアーティストに、新しくプレイリストを作成する場合は「アーティストを変更する」（119ページ）を参照してください。

1 MUSIC JUKE操作画面で、**編集** にタッチします。

●編集メニュー画面が表示されます。



2 **プレイリストの新規作成** にタッチします。



●編集メニュー画面

■プレイリスト名を入力する

3 **タイトル** にタッチします。

●文字入力画面が表示されます。



4 タイトルを入力します。

●名称の入力については、「プレイリストの名称入力」（111ページ）を参照してください。



プレイリストの編集

5 **読み** にタッチします。

●文字入力画面が表示されます。



6 読みを入力します。

●読みの入力については「カナ、英字、数・記号の入力」(次ページ)を参照してください。



7 タイトル、読みを確認し、**完了** にタッチします。



■作成したプレイリストにトラックを追加する

8 トラックを選びます。

●トラックの検索については、「トラックの検索」(117ページ)を参照してください。



9 **完了** にタッチします。



- 作成したプレイリストには、必ずトラックを追加してください。1曲もトラックが入っていないプレイリストは作成できません。
- 読みはカタカナ全角のみ入力することができます。
- 複数のトラックを同時に選ぶ場合は、選びたいトラック全てにタッチしてください。
- 一度に選ぶことができるトラック数は最大99です。

プレイリストの名称入力

1 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ**（カタカナ）、**英字**、**数・記号**（数字・記号）にタッチして、入力画面を切り替えます。
- カナ入力、英字入力、数・記号入力については「カナ、英字、数・記号の入力」を参照してください。
- 間違えた（または入力されている）ときは**クリア**にタッチすると、1つずつ消去されます。



2 ひらがなのときは、**無変換**、漢字のときは、**変換**にタッチします。



3 **変換**にタッチしたときは、変換する熟語リストで、入力する熟語にタッチします。

- 変換する文字の範囲を変更するときは、**◀**・**▶**にタッチして、範囲を変更し、再度**変換**にタッチします。



4 **完了**にタッチします。

カナ、英字、数・記号の入力

1 **カナ**、**英字**、**数・記号**にタッチします。

2 **半角**（または**全角**）にタッチして、入力する文字の大きさを切り替えます。

- **▲前 ▼次**が表示されているときは、タッチするとページを切り替えることができます。



- 入力することができる文字数は最大16文字（半角文字は32文字）までです。
- 同じ名称は重複して登録することができません。

プレイリストの編集

3 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- 間違えた（または入力されている）ときは **クリア** にタッチすると、1つずつ消去されます。

4 **完了** にタッチします。

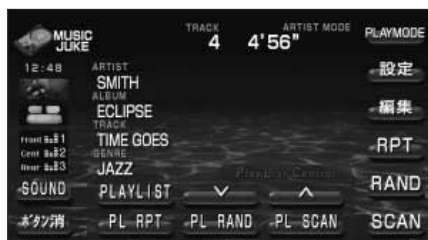


リスト名称の編集

プレイモードのアルバム、またはマイセレクトに登録されているプレイリストを編集することができます。

1 MUSIC JUKE操作画面で、**編集** にタッチします。

- 編集メニュー画面が表示されます。



2 **名称編集** にタッチします。



3 **プレイリストの編集** にタッチします。



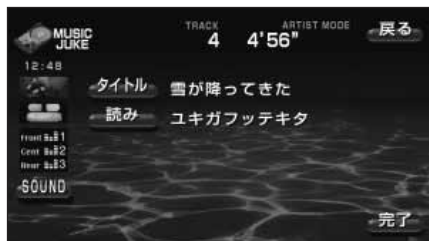
4 **アルバム**、または **マイセレクト** にタッチします。

5 編集したいプレイリストにタッチします。



6 タイトル にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。



7 タイトルを入力します。

- 名称の入力については、「**プレイリストの名称入力**」(111ページ)を参照してください。



8 読み にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。



9 読みを入力します。

- 読みの入力については「**カナ、英字、数・記号の入力**」(111ページ)を参照してください。



10 タイトル、読みを確認し、完了 にタッチします。



読みはカタカナ全角のみ入力することができます。

プレイリストの編集

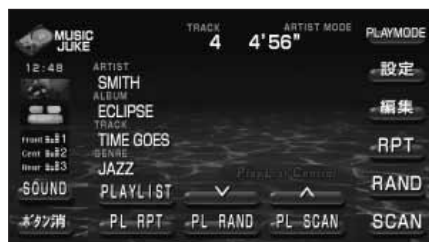
プレイリスト・トラックの並び替え

プレイリストやトラックは、録音した順に表示され、再生されます。プレイリストやトラックの表示を並び替えることで、再生する順を任意に変更することができます。

- プレイリストは、MUSIC JUKE設定画面の「表示並び替え」がONに設定されていないと並び替えできません。「表示並び替え」をONに設定する場合は、「作成した順番に並び替える」(下記)の手順で「表示並び替え」の **ON** にタッチしてください。

お好みに合わせて並び替える

- 1 MUSIC JUKE操作画面で、**PLAY LIST** にタッチします。



- 2 選きたいプレイモードにタッチします。

- 3 選きたいプレイリストにタッチします。

- 4 **再生** にタッチします。

- 選んだプレイリスト内のトラックを再生し、プレイリストの表示も切り替わります。



作成した順番に並び替える

お好みに合わせて並び替えたプレイリストを作成(録音)した順番に戻すことができます。

- 1 MUSIC JUKE操作画面で、**設定** にタッチします。

- MUSIC JUKE設定画面が表示されます。



- 2 表示並び替えの **デフォルト** にタッチします。

- 作成(録音)した順番にプレイリストを並び替えます。



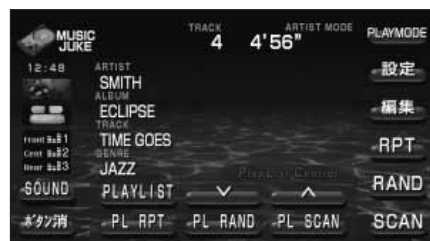
プレイリストの消去

プレイモードのアルバムまたはマイセレクトに登録されているプレイリストを消去することができます。選択したプレイモードにより、消去されるデータが違います。

選択したプレイモード	消去されるデータ
アルバム	選択したプレイリストおよびトラック（曲データ）は消去されますので、他のプレイモードからも検索することができなくなります。
マイセレクト	選択したプレイリストは消去されますが、トラック（曲データ）は消去されませんので、他のプレイモードから検索することができます。

1 MUSIC JUKE操作画面で、**編集** にタッチします。

●編集メニュー画面が表示されます。



2 **削除** にタッチします。



3 **プレイリストの削除** にタッチします。



4 **アルバム**、または **マイセレクト** にタッチします。



5 プレイリストにタッチします。

●消去確認画面が表示されます。

6 **YES** にタッチします。



ワンポイント

アーティストおよびジャンル、録音日のプレイリストは、該当するトラック（曲データ）が全て消去されると、プレイリストも自動で削除されます。

トラックの編集

トラック情報の編集を行います。録音したトラックのアーティスト名やジャンルを設定すると、トラックを検索する時、アーティスト名やジャンルからも探し出すことができます。

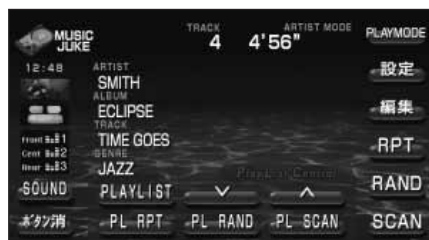
●編集中は音楽の再生を一時停止します。

トラックの追加

録音したトラックは、マイセレクト内のプレイリストに追加することができます。その他のプレイモードには追加できません。

- 1 MUSIC JUKE操作画面で、**編集** にタッチします。

●編集メニュー画面が表示されます。



- 2 **トラックの追加** にタッチします。



●トラックを追加したいプレイリストを選択する

- 3 プレイリストにタッチします。



■追加するトラックを選択する

- 4 トラックを選びます。

●トラックの検索については「トラックの検索」(次ページ)を参照してください。



- 5 **完了** にタッチします。

●トラックがプレイリストに追加されます。



- 複数のトラックを同時に追加する場合は、追加するトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。
- 一度に選ぶことができるトラック数は最大99です。

トラックの検索

複数あるトラックの中から、選択したいトラックを検索します。

編集メニュー画面からトラックを検索すると、下記の画面を表示します。

1 プレイモードにタッチします。

● **トラック** にタッチすると、トラック一覧画面が表示されます。



2 選びたいプレイリストにタッチします。

● トラック一覧画面が表示されます。

3 選びたいトラックにタッチします。



● トラック一覧画面

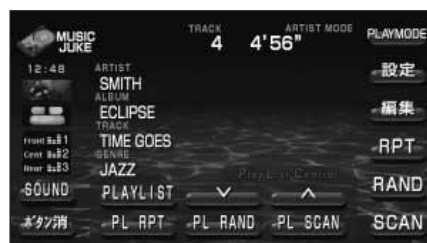
トラック情報の編集

アーティスト名やアルバム名、トラックのタイトル、ジャンルを変更することができます。

トラック編集画面の呼び出し

1 MUSIC JUKE操作画面で、**編集** にタッチします。

● 編集メニュー画面が表示されます。



2 **名称編集** にタッチします。



ワンポイント

同じプレイモード内にリストが4個以上ある場合は、**▲**・**▼**にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

トラックの編集

3 「トラックの編集」にタッチします。



4 編集したいトラックを選びます。

- トラックの検索については、「トラックの検索」(前ページ)を参照してください。



トラックタイトルを変更する

1 トラック編集画面で、「タイトル」にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。



- トラック編集画面

2 タイトルを入力します。

- 名称の入力については、「プレイリストの名称入力」(111ページ)を参照してください。



3 読み」にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。

4 読みを入力します。

- 読みの入力については「カナ、英字、数・記号の入力」(111ページ)を参照してください。



ワンポイント

読みはカタカナ全角のみ入力することができます。

アーティストを変更する

1 **アーティスト** にタッチします。

●登録アーティスト一覧画面が表示されます。



2 選びたいアーティスト名にタッチします。



● **新規** にタッチすると、新しくアーティストを登録することができます。アーティスト名の入力については、「**プレイリストの名称入力**」(111ページ)、アーティスト名の読み入力については、「**カナ、英字、数・記号の入力**」(111ページ)を参照してください。

ジャンルを変更する

1 **ジャンル** にタッチします。



2 ジャンルにタッチします。

● **設定なし** にタッチすると、ジャンルを設定せずに登録することができます。



3 **完了** にタッチします。



A・**V**にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

トラックの編集

トラックの消去

録音したトラックを消去することができます。

選択したプレイモード（プレイリスト）やトラックにより、消去されるデータが違います。

選択したプレイモード	選択したトラック	消去されるデータ
マイセレクト内の プレイリスト	リスト内のトラック	選択したプレイリスト内の登録を消去します。トラック（曲データ）は消去されませんので、他のプレイモード、プレイリストから検索することができます。
	リスト内の 残り1つのトラック	選択したプレイリストは消去されます。トラック（曲データ）は消去されませんので、他のプレイモード、プレイリストから検索することができます。
マイセレクト以外の プレイリスト	リスト内のトラック	選択したトラック（曲データ）を消去します。他のプレイモード、プレイリストからも検索することができません。
	リスト内の 残り1つのトラック	選択したプレイリストおよびトラック（曲データ）を消去します。他のプレイモード、プレイリストからも検索することができません。

1 **編集** にタッチします。

●編集メニュー画面が表示されます。



3 **トラックの削除** にタッチします。



2 **削除** にタッチします。



4 トラックにタッチします。

- トラックの検索については「**トラックの検索**」(117ページ) を参照してください。



5 **削除** にタッチします。

- 消去確認画面が表示されます。

6 **YES** にタッチします。

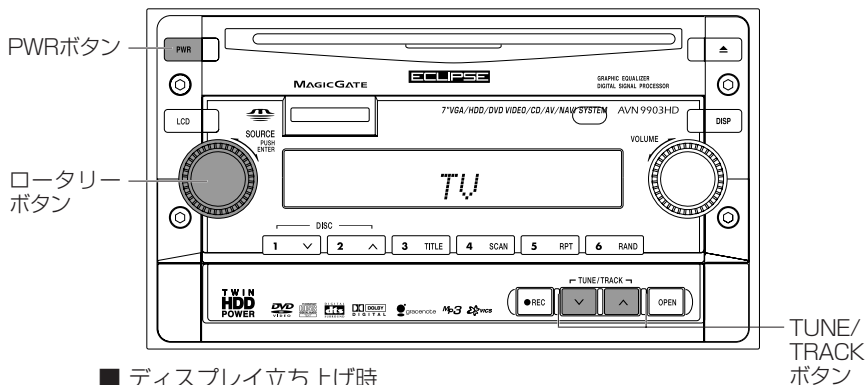


- 複数のトラックを同時に削除する場合は、削除するトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。

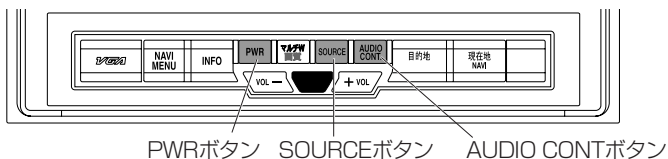
TVの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、サイドブレーキをかけた場合のみTVをご覧になることができます。(走行中にTVモードを選択した場合や、ディスプレイを収納している場合、音声のみになります。)

■ ディスプレイ収納時



■ ディスプレイ立ち上げ時



TVを見る

● タッチスイッチの操作

1 **SOURCE** を押します。

2 **TV** にタッチします。

- TV画面になります。
- **AUDIO CONT** を押す、または画面にタッチすると、TV操作画面になります。

● パネルボタンの操作

1 ロータリーボタンを回し、TVを選びます。

2 ロータリーボタンを押します。

- 受信している放送局の音声を出力します。



TV操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。

AUDIO CONT を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。

見たいチャンネルを選ぶ

手動で選ぶ

- 1 ▲、▼を押す、または▲、▼にタッチします。

- 押すごとに1ステップずつチャンネルがUP/DOWNします。

▲▲（上側）：
チャンネルUP（大きくなる）

▼▼（下側）：
チャンネルDOWN（小さくなる）

自動で選ぶ

- 1 ▲、▼を“ピツ”と音がするまで押す、または▲、▼に“ピツ”、“ピツ”と2度続けて音がするまでタッチします。

- 現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときはもう一度押すと解除されます。

- 受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

プリセットスイッチから選ぶ

- 1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- チャンネルの記憶方法は「チャンネルを記憶する」右記を参照してください。

- 2 **決定** にタッチすると、放送局受信画面に切り替わります。



チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が表示されているときは**AUTO.P**または**エリア**（126ページ）にタッチします。

- 1 放送局を選び、記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- プリセットスイッチをタッチして選局できるようにになります。



ワンポイント

ディスプレイ収納時の番号ボタンにチャンネル（放送局）を記憶させることはできません。また、番号ボタンを押してもチャンネルは切り替わりません。

TVの使い方

AUTO.P（自動）で記憶する

1 **AUTO.P** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.Pが表示され自動的に選局を始めます。“ピーッ”と音がすると自動選局が終了し記憶されます。
- もう一度 **AUTO.P** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。



AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する

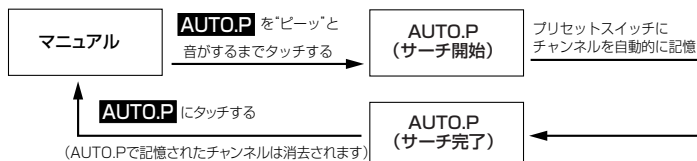
1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。ふだんど観になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。

AUTO.P動作中、または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態にもどります。（このときAUTO.Pで記憶したチャンネルは消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



ワンポイント

- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- 受信できたチャンネルが8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

マルチチャンネルビューを表示する

プリセットされている放送局を同時に最大8画面に分割して表示することができます。現在、放送されている複数の番組を確認しながら、好みの番組を選ぶことができます。

1 **マルチ** にタッチします。



- プリセットしている番組を順に受信して、並べて（最大8画面）表示します。
- 戻る** にタッチすると1画面にもどります。
- 各表示画面は順次動画、静止画の順に切り替わります。
- 〇〇〇**（放送局）にタッチすると全面になります。



TV設定画面の切り替え

TVモードでは、TV設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- エリアプリセット
- 音声多重放送の切り替え
- 画面モード（ワイドモード）の切り替え
- DSP、EQ、POSなどの音質調整
- マニュアルでのチャンネルの記憶

1 **設定** にタッチします。

- エリアプリセットや音声多重放送の切り替え操作などをおこなうことができます。
- 戻る** にタッチするとTV操作画面にもどります。



- マルチ** にタッチしてからプリセットしている番組をすべて表示するまで音声は聞こえません。すべて表示したあと動画の音声聞こえます。
- 受信できなかった放送局は画面に表示されません。
- TV設定画面でチャンネルをマニュアルで記憶すると、TV画面に切り替わりますので連続して記憶できません。

TVの使い方

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルの表示・選局ができます。

1 エリア にタッチします。

- “AREA.P” の表示と、その地域で放送されている放送局名およびチャンネルが表示されます。
- 放送局を選ぶときは、表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの画面にもどります。



局名スイッチについて

TVを受信したとき、同じチャンネルの放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

1 局名 にタッチします。

- 重複した放送局名が切り替わります。



音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

- ### 1 主/副 をタッチすることにより、下図の順に切り替わります。

主音声 → 副音声 → 主・副音声
MAIN SUB MAIN・SUB



TVソースを終わる

- ### 1 PWR を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと電源を切る前の受信放送局（チャンネル）が受信（音声のみ）されます。ディスプレイ立ち上げ時、**AUDIO CONT** を押すと映像を表示します。



ワンポイント

- 放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。
- 2ヶ国語放送を受信したときは、**主/副** が表示され主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

DVDプレーヤーをお使いになる前に

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

DVDビデオの特長

マルチ音声機能について

DVDディスクには複数の言語が収録されているものがあり、再生中、TVの音声多重放送のように音声言語を切り替えることができます。



石の階段に...



On the Stone Steps...

マルチアングル機能について

DVDディスクには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。



映像のアングルが切り替わります。



注意

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

DVDプレーヤーをお使いになる前に

字幕表示機能について

DVDディスクには複数の字幕が記録されているものがあり、再生中に、字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。



ディスクについて

再生できるディスクの種類について

本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間
	12cm／片面	1層 133分
		2層 242分
	12cm／両面	1層 266分
		2層 484分

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDディスクには （地域番号）が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「このディスクは再生できません」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できないことがあります。



注意

DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

再生できるサラウンドシステムについて

本機は、Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)、LPCM、Dolby Pro Logicに対応していますので、映画館やコンサートホールなどのように臨場感あふれる音響空間を創り出すことができます。ディスクやパッケージに「Dolby Digital5.1ch」、「DTS5.1ch」と表示されているディスクも再生することができます。

DVDビデオを再生する場合の音質調整については、「サラウンドシステムの調整」(35ページ)を参照してください。

ディスクに表示されているマークについて

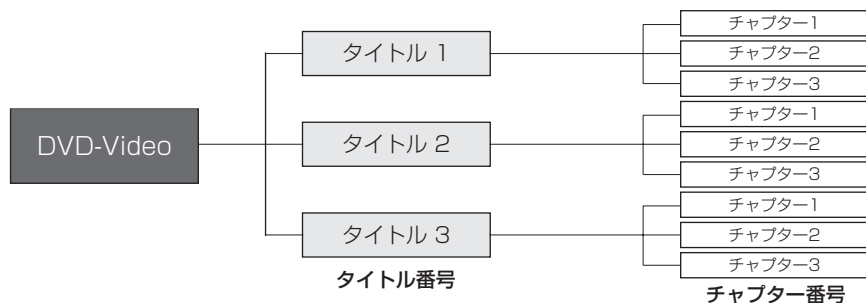
DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比(テレビ画面の横と縦の比率)を表します。 ●「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号(タイトル番号)が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号(チャプター番号)が付けられています。



センタースピーカー、サブウーファを接続していなくても、「Dolby Digital5.1ch」、「DTS5.1ch」と表示されているDVDビデオを再生することができますが、5.1ch音声方式では再生できません。

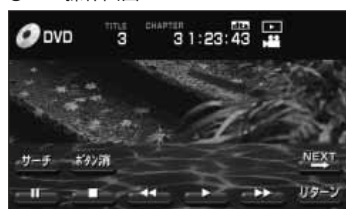
DVDプレーヤーをお使いになる前に

操作の流れについて

映像の操作や検索、DVDプレーヤーの初期設定などの流れを説明します。

●タッチスイッチにタッチすると、下記の操作画面に切り替わります。

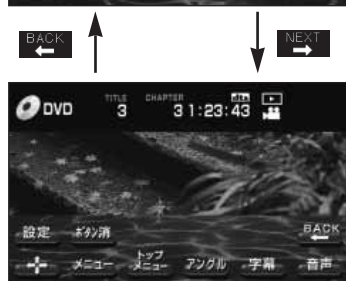
●DVD操作画面



サーチ



●タイトル画面



設定



初期設定



●初期設定画面



●メニュー操作画面

数字

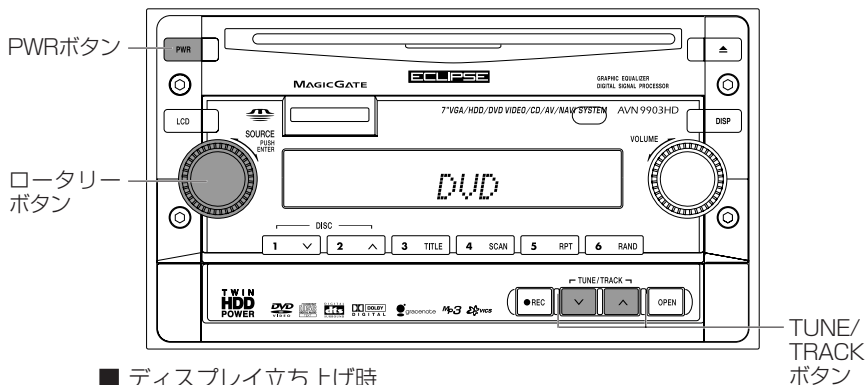


●メニュー番号検索画面

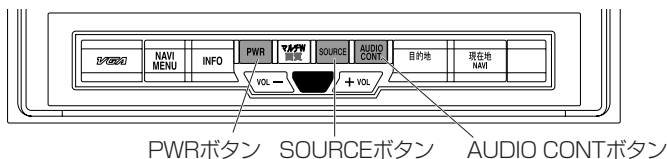
DVDプレーヤーの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、サイドブレーキをかけた場合のみDVDをご覧になることができます。(走行中にDVDモードを選択した場合や、ディスプレイを収納している場合、音声のみになります。)

■ ディスプレイ収納時



■ ディスプレイ立ち上げ時



DVDを見る

DVD挿入口にDVDを挿入すると、再生を始めます。

●タッチスイッチの操作

- 1 DVDが挿入されているときに **SOURCE** を押します。
- 2 **DVD** にタッチします。

- 再生を始めます。
- 操作スイッチ（タッチスイッチ）を表示する場合は **AUDIO CONT** を押す、または画面にタッチします。

●パネルボタンの操作

- 1 DVDが挿入されているときにロータリーボタンを回し、DVDを選びます。
- 2 ロータリーボタンを押します。

- 再生を始めます。



ワンポイント

- タッチスイッチなどの情報は約6秒間表示されます。 **AUDIO CONT** を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
- ディスクによって、自動再生されないものや、ディスクに記録されているメニュー項目を選択しないと、再生されないものがあります。(「ディスクメニューを操作する」133ページ参照)

DVDプレーヤーの使い方

映像を操作する

映像を再生する

- 1  にタッチします。



早送り・早戻しする

再生している映像を早送り・早戻しすることができます。

パネルボタンから早送り・早戻しする

- 1 、または  を“ピッ”と音がするまで押します。
-  (上側) : 映像を進めるとき
 -  (下側) : 映像を戻すとき
 - “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

タッチスイッチから早送り・早戻しする

- 1 、または  にタッチします。

- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。



映像を一時止める

- 1  にタッチします。

- 一時停止中 ()、 に短くタッチするとスロー再生、 にタッチするとコマ送り再生します。



映像を止める

- 1  にタッチします。



ディスクメニューを操作する

ディスクに収録されているメニューを操作することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **メニュー**、または **トップメニュー** にタッチします。

3 **+** にタッチします。



4 **↓**, **↑**, **←**, **→** にタッチし、再生したい映像を選びます。

5 **決定** にタッチします。



チャプターナンバー・再生時間を表示する

サブディスプレイに、チャプターナンバー、および再生時間を表示することができます。

●パネルボタンの操作

1 番号ボタン **3** を1秒以上押します。

●もう一度、番号ボタン **3** を1秒以上押すと、もとの表示に切り替わります。

DVDを止める

1 **PWR** を押します。

●もう一度 **PWR** を押すと再生が再開（音声のみ）されます。**AUDIO CONT** を押すと映像を表示します。



●サブディスプレイに時計が表示されていると、チャプターナンバー、再生時間は表示されません。**DISP** を押すと、チャプターナンバー、再生時間が表示されます。（「時間表示の切り替え」52ページ参照）

●ディスクによって記録されているメニュー項目は違います。また、ディスク内容に当たって再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

DVDプレーヤーの使い方

見たい映像を探す

見たい映像をタイトルやチャプター、メニュー番号（内容ごとに区切られた番号）から探すことができます。

チャプターから探す

1 **△**、または**▽**を押します。

- **△**（上側）：次のチャプターを選ぶとき
- **▽**（下側）：前のチャプターを選ぶとき

チャプター番号



タイトル番号から探す

1 **サーチ** にタッチします。

- タイトル番号入力画面が表示されます。

タイトル番号



2 **-**、**+**、**-10**、**+10** にタッチし、タイトル番号を入力します。

- **-**、または **+** にタッチすると、タイトル番号が1ずつ切り替わります。
- **-10**、または **+10** にタッチすると、タイトル番号が10ずつ切り替わります。

3 **決定** にタッチします。

メニュー番号から探す

1 **NEXT** にタッチします。

2 DVD操作画面で **+** にタッチします。



3 **数字** にタッチします。

●メニュー番号入力画面が表示されます。



4 **-**、**+**、**-10**、**+10** にタッチし、メニュー番号を入力します。

- **-**、または **+** にタッチすると、メニュー番号が1ずつ切り替わります。
- **-10**、または **+10** にタッチすると、メニュー番号が10ずつ切り替わります。

5 **決定** にタッチします。

DVDプレーヤーの使い方

タッチスイッチの表示を切り替える

タッチスイッチの表示を切り替えたり、タッチスイッチの表示を消すことができます。

タッチスイッチを消す

- 1 **ボタン消** にタッチします。

- **AUDIO CONT** を押す、または画面にタッチすると、再度、タッチスイッチを表示します。



タッチスイッチの表示場所を切り替える

- 1 **NEXT** にタッチします。

- 2 **十字キー** にタッチします。

- 3 **パネル** にタッチします。

- タッチすることによりタッチスイッチの表示場所が上下に切り替わります。



画面表示・音声の切り替え

再生する映像の字幕言語や音声言語、表示アングルを切り替えることができます。

アングルの切り換え

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングルを切り替えて表示することができます。

- 1 **NEXT** にタッチします。

- 2 マルチアングルマークが表示されているときに **アングル** にタッチします。

- アングル番号が表示されます。

マルチアングルマーク



- 3 **アングル切換** にタッチします。

- アングル番号が替わり、映像のアングルが切り替わります。

アングル番号



アングル切換 にタッチすることにより、ディスクに収録されているアングルが順に切り替わります。

字幕言語の切り替え

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り替えて表示することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **字幕** にタッチします。

●字幕番号および言語が表示されます。



3 **字幕切替** にタッチします。

●字幕番号が替わり、字幕の表示言語が切り替わります。

字幕番号および言語



音声言語の切り替え

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声を切り替えて再生することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **音声** にタッチします。

●音声番号および言語が表示されます。



※ディスクに記録されているdts音声を選択した場合に表示されます。

3 **音声切替** にタッチします。

●音声番号が替わり、音声の再生言語が切り替わります。

音声番号および言語



- **字幕切替** にタッチするごとに、ディスクに収録されている字幕言語が順に切り替わります。
- **音声切替** にタッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語が順に切り替わります。
- DTS音声を選択した場合、スピーカーの設定状況により、音声が出力されない場合があります。(「**スピーカーの調整**」38ページ参照)

DVDプレーヤーの使い方

DVDプレーヤーの設定

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。



3 **初期設定** にタッチします。



●初期設定画面が表示されます。

4 各タッチスイッチにタッチすると下記の設定を行うことができます。



タッチスイッチ	機能	ページ
音声	再生する映像の音声言語を設定します。	次ページ
字幕	再生する映像の字幕言語を設定します。	次ページ
ソフトメニュー	表示するメニューの言語を設定します。	140
マルチアングルマーク	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	140
視聴制限	再生できるDVDビデオを制限します。	141
映像出力切換	画面サイズを設定します。	142



ワンポイント

初期設定画面で設定を変更した後、**決定** にタッチせずに、画面が切り替わるスイッチ（**AUDIO CONT**、**SOURCE**）を押すとDVDの再生は停止した状態になります。再度再生する場合は映像操作画面で **▶** にタッチします。（132ページ参照）

音声言語を設定する

再生中の映像をお好きな言語で楽しむことができます。

1 初期設定画面で **音声** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 優先音声言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(143ページ)を参照してください。



3 **決定** にタッチします。

字幕言語を設定する

再生中の映像をお好きな字幕で表示することができます。

1 初期設定画面で **字幕** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると、画面に表示された言語以外の言語を設定できます。
- **字幕非表示** にタッチすると、画面に字幕を表示せずに再生することができます。



コードを入力する

1 優先字幕言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(143ページ)を参照してください。



3 **決定** にタッチします。



選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。

DVDプレーヤーの使い方

メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

1 初期設定画面で**ソフトメニュー**にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 ソフトメニュー言語設定画面で**その他**にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては「言語コード一覧」(143ページ)を参照してください。



3 **決定** にタッチします。



ワンポイント

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の右上にマルチアングルマークが表示されます。

マルチアングルマーク (アングル選択マーク) の表示を設定する

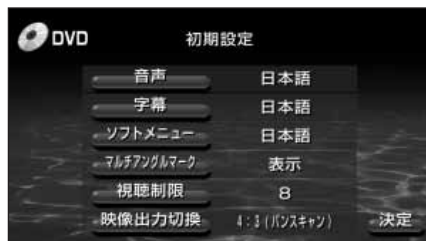
再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。

マルチアングルマーク



1 初期設定画面で**マルチアングルマーク**にタッチします。

● タッチするごとに「表示」と「非表示」が切り替わります。



2 **決定** にタッチします。

視聴制限を設定する

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

1 初期設定画面で **視聴制限** にタッチします。

2 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。



3 **決定** にタッチします。

4 お好みの視聴制限レベルにタッチします。



5 **決定** にタッチします。



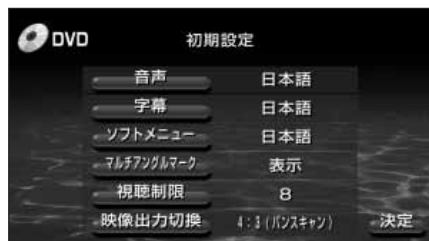
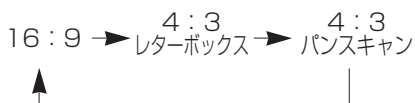
- 視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定できません。
- 暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。
- 暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「-----」で表示されます。
- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、**クリア** に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）することができます。
- 視聴制限レベルは大きく3種類に分類されます。
レベル1 ……子ども向けのDVDソフトのみを再生します。（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
レベル2～7…子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。（成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
レベル8 ……全てのDVDソフトを再生します。（初期設定）

DVDプレーヤーの使い方

映像出力を切り替える

- 1 初期設定画面で **映像出力切換** にタッチします。

- タッチすることにより下の順に画面サイズが切り替わります。



- 2 **決定** にタッチします。

● 「16:9」

通常のワイドサイズで表示されます。
4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、又は左右に伸びた表示になります。

● 「4:3 [レターボックス]」

上下両端が黒く表示された映像になります。
4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。

● 「4:3 [パンスキャン]」

左右両端がカットされた映像になります。
4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。



ワンポイント

後席モニターなどの別のモニターを接続した場合、本機（フロント）で設定した映像出力切換のサイズにより、後席モニターで表示されるサイズは異なります。



注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択することができます。

コード	言語名称
1001	日本語
0514	英語
0618	フランス語
0405	ドイツ語
0920	イタリア語
0519	スペイン語
1412	オランダ語
1821	ロシア語
2608	中国語
1115	韓国語
0512	ギリシャ語
0101	アファル語
0102	アプバジャ語
0106	アフリカーンス語
0113	アムハラ語
0118	アラビア語
0119	アッサム語
0125	アイマラ語
0126	アゼルバイジャン語
0201	バシキール語
0205	ベラルーシ語
0207	ブルガリア語
0208	ビハーリー語
0209	ビスラマ語
0214	ベンガル語
0215	チベット語
0218	ブルトン語
0301	カタロニア語
0315	コルシカ語
0319	チェコ語
0325	ウェールズ語
0401	デンマーク語
0426	ブータン語
0515	エスペラント語
0520	エストニア語
0521	バスク語
0601	ペルシア語
0609	フィンランド語
0610	フィジー語
0615	フェロー語
0625	フリジア語
0701	アイルランド語
0704	スコットランドゲール語
0712	ガルシア語
0714	グアラニ語
0721	グジャラート語

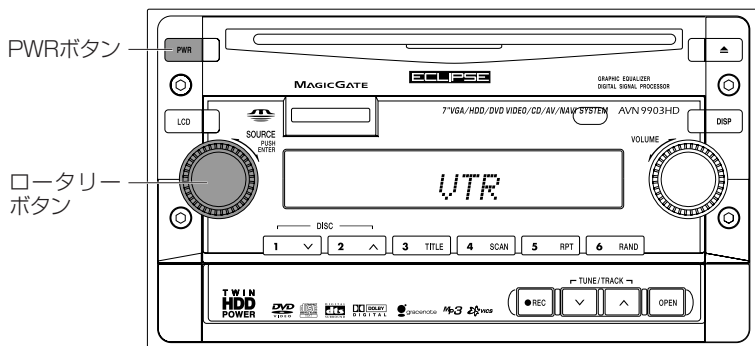
コード	言語名称
0801	ハウサ語
0809	ヒンディー語
0818	クロアチア語
0821	ハンガリー語
0825	アルメニア語
0901	国際語
0905	Interlingue
0911	イヌピアック語
0914	インドネシア語
0919	アイスランド語
0923	ヘブライ語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カナダ語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラヤーラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラータ語
1319	マライ語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語
1405	ネパール語
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オモロ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	アフガニスタン語
1620	ポルトガル語

コード	言語名称
1721	ケチュア語
1813	レートロマン語
1814	キルンディー語
1815	ローマ語
1823	キンヤルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンド語
1908	セルボクロアチア語
1909	セイロン語
1911	スロバック語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	シヨナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	シスワティ語
1920	セストゥ語
1921	スワズ語
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2009	チグリス語
2011	ツルキ語
2012	タガログ語
2014	セツワナ語
2015	ニュージーランド語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タタール語
2023	トウィ語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベク語
2209	ベトナム語
2215	ボラピュク語
2315	ウォルフ語
2408	コーサ語
2515	ヨルバ語
2621	ズールー語

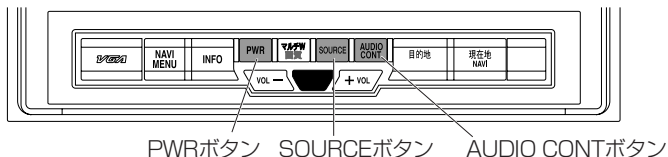
VTRの使い方

市販のVTR機器を接続すると、ビデオをご覧になれます。エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。(走行中にVTRモードを選択した場合や、ディスプレイを収納している場合、音声のみになります。)

■ ディスプレイ収納時



■ ディスプレイ立ち上げ時



VTRを見る

● タッチスイッチの操作

- 1 **SOURCE** を押します。
- 2 **VTR** にタッチします。

- VTR画面になります。
- **AUDIO CONT** を押す、または画面にタッチすると、VTR操作画面になります。

● パネルボタンの操作

- 1 ロータリーボタンを回し、VTRを選びます。
- 2 ロータリーボタンを押します。

- 再生しているVTRの音声を出力します。

VTRソースを終わる

- 1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開 (音声のみ) されます。 **AUDIO CONT** を押すと映像を表示します。



VTR操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。

AUDIO CONT を押すと再度、表示します。

マルチウィンドウ機能

マルチウィンドウについて

ナビゲーションの画面とオーディオ、TVの操作画面を左右に分割して同時に表示することができます。また、オーディオ機能以外の目的地情報や速度情報、時計を表示することができます。



●ナビゲーション画面＋速度情報画面

マルチメニュー画面

1 **マルチW/画質** を押します。

●マルチメニュー画面が表示されます。

2 各項目にタッチすると次ページのマルチウィンドウ画面を表示します。



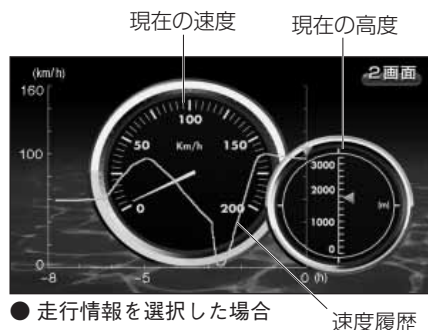
- マルチウィンドウ画面を表示中は、地図向きの切り替えや、地図の移動（ワンタッチスクロール）は操作できません。
- 通常のTVモード、またはDVDモードが選択されている場合、マルチメニュー画面で **オーディオ** にタッチしても、TV画面、またはDVD画面が表示されます。オーディオ画面を表示する場合は、オーディオモードを切り替えてから **マルチW/画質** を押してください。

マルチウィンドウ機能

表示画面	機能	ページ
	TV画面の表示 チャンネルの切り替えができます。	次ページ
	目的地情報画面の表示 目的地周辺の衛星画像を表示することができます。	148
	オーディオ画面の表示 FM、AM、CD、“メモリースティック”、MDCH、CDCH、MP3、MUSIC JUKE、VTRの画面を表示することができます。	148
	DVD画面の表示 チャプターの切り替えができます。	次ページ
	速度情報の表示 現在の速度、高度、速度履歴を表示します。	—
	時計の表示 現在の時刻を表示します。	—

マルチウィンドウ画面の操作

- **全画面** にタッチすると、全画面に切り替わります。
- **2画面** が表示されているとき、**2画面** にタッチすると、マルチウィンドウ画面に戻ります。



TV・DVD画面の操作

TVではチャンネルを、DVDではチャプターを切り替えることができます。TV操作の詳細については「**TVの操作**」(122ページ)を、DVD操作の詳細については「**DVD/VTRの操作**」(127ページ)を参照してください。

1 **▲**、**▼** にタッチします。

- TV画面では、プリセットボタンに記憶されている放送局を順に切り替えます。
- DVD画面では、ディスクに記録されているチャプターを順に切り替えます。



TV・DVD画面は、**全画面** にタッチすると通常のTVモード、DVDモードに切り替わります。再度マルチウィンドウ画面を表示するときは、**マルチW/画質** を押し、**TV**、または **DVD** にタッチしてください。

マルチウィンドウ機能

目的地情報画面の操作

目的地が設定されていて、目的地周辺の衛星画像が収録されている地域では、上空からの衛星画像を表示することができます。

- 衛星画像が収録されている地域などについては「取扱説明書ナビゲーション編」-「衛星画像 (IKONOS) の表示」を参照してください。



- 1 **詳細** または **広域** にタッチすると、衛星画像画面の縮尺を切り替えることができます。

- **解除** にタッチすると、通常の地図画面に切り替わり、**イコノス** にタッチすると衛星画像 (IKONOS) に切り替わります。
- **2画面** にタッチし、マルチウィンドウ画面に戻すと、自動で衛星画像 (IKONOS) に切り替わります。



- 地図向きを切り替えることができません。
- マルチウィンドウ機能を解除するときは **現在地/NAVI** を押してください。
- オーディオ画面は、**全画面** にタッチすると通常のオーディオモードに切り替わります。再度マルチウィンドウ画面を表示するときは **AUDIO CONT** を押してください。

オーディオ画面の操作

AM、FMモードでは放送局の切り替え、CD、“メモリスティック”、MUSIC JUKE、MP3、CDC、MDCモードでは曲やリストを切り替えることができます。各オーディオ操作やVTR操作の詳細については、各操作ページを参照してください。

- オーディオモードを切り替えるときは、**SOURCE** を押して、各モードにタッチしてください。モードが切り替わりマルチウィンドウ画面に戻ります。



知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

CD／MP3

メッセージ ディスプレイ／サブディスプレイ	原因	処置
CD(MP3)が入っていません。 ／NO DISC	CDプレーヤーディスク (MP3ディスク)が入ってないため。	音楽ディスク(MP3ディスク) を入れてください。
CD(ディスク)をお確かめ下さい。 ／INFO 3	CDが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときは クリーニングしてください。 裏返しの場合は正しく入れて ください。
異常検知でCD(MP3)停止中です。 ／INFO 5※ ¹	なんらかの原因でCDプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
高温のためCD(MP3)停止中です。 ／INFO 6※ ²	CDプレーヤーの温度が異常に 高いため。	温度が下がるまで、しばらく そのままお待ちください。
録音禁止されているため、録音をキャンセルします。 ／REC CANCEL	デジタル録音が禁止されているCDを録音しようとしたため。	●REC を押して録音してください。アナログ録音方式で録音します。
このCDは録音済みなので、録音をキャンセルします。 ／REC CANCEL	すでに録音されている音楽CDアルバムを再度録音しようとしたため。	すでに録音されている音楽CDは録音することができません。録音する場合は、録音されているデータを削除してから、再度録音してください。(115、120ページ参照)

※¹ イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

※² この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

知っておいていただきたいこと

CDCH/MDCH

メッセージ ディスプレイ/サブディスプレイ	原因	処置
CD検索中です	CDチェンジャーにマガジンをセットしたとき、CDチェンジャーがディスクの有無を検索しているため。	検索が終わるまで、そのまま、しばらくお待ちください。
CDのふたが開いています	CDチェンジャーの扉が開いているため。	CDチェンジャーの扉を閉めてください。
CDマガジンが入っていません。 ／INFO 2	CDチェンジャーにマガジンが入っていないため。	マガジンを入れてください。
CDが入っていません。 ／INFO 2	CDチェンジャーにディスクが入っていないため。	CDを入れてください。
MDが入っていません。 ／NO DISC	MDチェンジャーにディスクが入っていないため。	MDを入れてください。
異常検知でCD(MD)停止中です。 ／INFO 5、またはINFO 7※ ¹	なんらかの原因でCD(MD)チェンジャーが動かないため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
高温のためCD(MD)停止中です。 ／INFO 6※ ²	CD(MD)チェンジャーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。

※¹ イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

※² この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

MEMORY STICK

メッセージ ディスプレイ/サブディスプレイ	原因	処置
MEMORY STICKが入っていません /MS INFO 1	MG MEMORY STICKが入っていないため。	MG MEMORY STICKを入れてください。
このMEMORY STICKには対応していません。 /MS INFO 6	対応していないMEMORY STICKを挿入したため。	本機で利用できるMEMORY STICKを確認してください。(20ページ参照)
再生可能なファイルがありません。 /MS INFO 7	再生可能な音楽データが入っていないMG MEMORY STICKを挿入したため。	MG MEMORY STICKに録音されている音楽データを確認してください。
期間・回数に制限があるため、再生できません。 /MS INFO 9	再生制限付きのデータを制限を越えて再生しようとしたため。	再度、データを入手してから再生してください。
録音中はMEMORY STICKモードへ移行できません。 /RECORDING	録音中にソースをMEMORY STICKに切り替えようとしたため。	録音を中止してからソースをMEMORY STICKに切り替えてください。(99、100ページ参照)
MEMORY STICK認証中 /CHECK	MEMORY STICKの認証処理しているため。	MEMORY STICKの認証にしばらく時間がかかります。しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
MEMORY STICKをお確かめ下さい。 /MS INFO 6	静電気により、MEMORY STICKが再生できなくなったため。	しばらくしてから再度、挿入し、再生してください。
このMEMORY STICKからHDDへ保存できません	対応していないMEMORY STICKからHDDへデータを保存しようとしたため。	本機で利用できるMEMORY STICKを確認してください。(20ページ参照)

知っておいていただきたいこと

MUSIC JUKE

メッセージ ディスプレイ/サブディスプレイ	原因	処置
音楽データがありません。 ／NO DATA	MUSIC JUKEに何も録音されていないときに、MUSIC JUKEモードに切り替えるようにしたため。	MUSIC JUKEに録音してからMUSIC JUKEモードに切り替えてください。(98ページ参照)
HDDの容量が一杯になったので、録音を停止します。 ／DATA FULL	録音中にHDDの容量が一杯になったため。	HDD内の音楽データを削除してから、再度録音してください。(115、120ページ参照)
タイムオーバーなので、録音を停止します。 ／TIME OVER	アナログ録音時、連続録音時間が300分に達したため。	再度、 ●REC を押して録音を続けてください。
録音禁止されているため、録音をキャンセルします。 ／REC CANCEL	デジタル録音が禁止されているCDを録音しようとしたため。	●REC を押して録音してください。アナログ録音方式で録音します。
このCDは録音済みなので、録音をキャンセルします。 ／REC CANCEL	すでに録音されている音楽CDアルバムを再度録音しようとしたため。	すでに録音されている音楽CDは録音することができません。録音する場合は、録音されているデータを削除してから、再度録音してください。(115、120ページ参照)
プレイリストが一杯なので、プレイリストを削除してから録音開始して下さい。 ／LIST MAX	MUSIC JUKE内のプレイリスト数が一杯になり、これ以上、自動でプレイリストを作成できないため。	プレイリストを削除してから、録音を開始してください。(115ページ参照)
トラックが一杯なので、トラックを削除してから録音開始して下さい。 ／TRACK MAX	MUSIC JUKE内のトラック数が一杯になり、これ以上、音楽を録音できないため。	トラックを削除してから、録音を開始してください。(120ページ参照)
トラックが一杯です。 ／TRACK MAX	プレイリスト内のトラック数が一杯になり、これ以上、トラックを追加できないため。	トラックを削除してから、トラックを追加してください。(120ページ参照)
プレイリストが一杯です。 ／LIST MAX	MUSIC JUKE内のプレイリスト数が一杯になり、これ以上、新規でプレイリストを作成できないため。	プレイリストを削除してから、新規でプレイリストを作成してください。(109、115ページ参照)

メッセージ ディスプレイ／サブディスプレイ	原因	処置
異常検知でMusic Juke停止中です。 ／MJ INFO 1	何かしらの原因で異常を検知したため。	エンジンをOFF（ACCをOFF）にしてください。
異常発生により、録音を停止します。 ／MJ INFO 2	何かしらの原因で異常を検知したため。	オーディオをOFFにしてください。
高温のため、録音を停止します。 ／MJ INFO 3※ ¹	HDD内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
低温のため、録音を停止します。 ／MJ INFO 4※ ¹	HDD内の温度が異常に低いため。	温度が上がるまで、しばらくそのままお待ちください。
高温のため、HDD停止中です。 ／MJ INFO 3※ ¹	HDD内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
低温のため、HDD停止中です。 ／MJ INFO 4※ ¹	HDD内の温度が異常に低いため。	温度が上がるまで、しばらくそのままお待ちください。
Music Juke準備中 【注】準備中は電源を落とさないで下さい。 ／SET UP	ソースをMusic Jukeに切り替えたとき、初期化を行っているため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
録音準備中 【注】準備中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。／SET UP	録音中、車のエンジンをOFF（ACC OFF）にし、再度車のエンジンをON（ACC ON）にしたため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
録音中は、編集モードへ移行できません	録音中に、編集作業を行おうとしたため。	録音を中止してから編集作業を行ってください。（99、100ページ参照）

※¹ この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

知っておいていただきたいこと

TV/DVD

メッセージ ディスプレイ/サブディスプレイ	原因	処置
走行中は音声をお楽しみください	走行中にTVまたはDVDを見ようとしたため。	車を安全な場所に停車させてサイドブレーキをかけてからお楽しみください。
DVDが入っていません。 ／NO DISC	DVDディスクが入っていないため。	DVDディスクを入れてください。
ディスクをお確かめ下さい。 ／INFO 3	DVDが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しの場合は、正しく入れてください。
異常検知でDVD停止中です。 ／INFO 5、またはINFO 7※1	何らかの原因でDVDプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
温度異常のためDVD停止中です。 ／INFO 6※2	DVDプレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
このDVDは演奏できません	対応していないDVDを入れているため。	対応しているDVDを入れてください。(17、128ページ参照)
受け付けないコードです	DVDに対応していない言語コードを入力したため。	DVDに対応している言語コードを確認してください。
コード番号が正しくありません	暗証番号が正しく入力されなかったため。	正しい暗証番号を入力してください。
視聴制限がかかっており再生できません	視聴制限がかかっているため。	視聴制限の設定を変更して再生してください。

※1 イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

※2 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

その他

メッセージ ディスプレイ/サブディスプレイ	原因	処置
データ更新中 【注】更新中は電源を落とさないで下さい。 また、メディアを抜かないで下さい。	データ更新中に電源を落として、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
データ保存中 【注】保存中は電源を落とさないで下さい。 また、メディアを抜かないで下さい。	データ保存中に電源を落として、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
データ消去中 【注】消去中は電源を落とさないで下さい。 また、メディアを抜かないで下さい。	データ消去中に電源を落として、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
画像編集のため、オーディオOFFします	ソースがMEMORY STICKまたはMUSIC JUKEのときに、HDDに画像データを保存しようとしたため。	オーディオを切り替える、またはオーディオをOFFにしてから画像データを保存してください。
画像データが読みません ディスクが正しいかご確認ください	壁紙の記録されていないディスクが入っている、または何かしらの原因でディスクが読めないため。	画像データを確認してください。(43ページ参照)
画像を表示できません 容量がオーバーしています	画像の容量が大きすぎるため。	1.5MB以下の画像ファイルとしてください。(43ページ参照)
画像を表示できません 画像サイズがオーバーしています	画像サイズが大きすぎるため。	横800×縦480dot以下の画像ファイルとしてください。(43ページ参照)
画像を表示できません データをご確認ください	壁紙の画像データのファイル形式が違っているため。	画像データを確認してください。(43ページ参照)
カスタム画像がありません カスタムの変更から画像の登録ができます	カスタム画像とする画像データが登録されていないため。	カスタムに画像を登録してください。(42ページ参照)

知っておいていただきたいこと

メッセージ ディスプレイ／サブディスプレイ	原因	処置
画像ファイルの保存に失敗しました	何かしらの原因で、HDDに画像データが保存できなかったため。	画像データを確認してからHDDへ保存してください。 (43ページ参照)
すでにデータベースが更新されているため、更新することができません	すでにバージョンアップが完了しているデータベースをもう一度バージョンアップしようとしたため。	すでにバージョンアップされているデータベースは、同じバージョンのデータでは更新できません。
データ更新失敗しました	何かしらの原因でデータベースの更新に失敗したため。	再度更新してください。更新できない場合は、販売店に相談してください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

症 状	考えられること	処置
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくそのままお待ちください。
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくすると安定します。
音が出ない	音量の調整不良。	音量スイッチを押して確認してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードがはずれている。	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量の調整不良。	左右音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない。	放送、ディスクを変更して確認してください。
CD・DVDが入らない	電源が入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている。	すでに入っているCD・DVDをイジェクトしてから、お好みのCD・DVDを入れてください。
CD・DVDの再生ができない	結露している。	しばらく放置してから使用してください。（17ページ参照）
	CD・DVDに大きなキズやソリがある。	他のCD・DVDを入れてください。
	CD・DVDがひどく汚れている。	クリーニングしてください。（18ページ参照）
	CD・DVDが裏返しになっている。	CD・DVDを正しい向きで挿入してください。
	対応していないCD・DVDが挿入されている。	対応しているCD・DVDを挿入してください。（17ページ参照）
	自動再生されないDVDディスクが挿入されている。	DVDディスクに収録されているメニューを操作してください。（133ページ参照）
MEMORY STICKの再生ができない	対応していないMEMORY STICKが挿入されている。	対応しているMEMORY STICKを挿入してください。（20ページ参照）
画面に CD CHANGER 1 、 CD CHANGER 2 が表示されない	CDチェンジャーの接続が不完全。	CDチェンジャーとの接続を確認してください。

知っておいていただきたいこと

症 状	考えられること	処置
MD CHANGER にタッチしても、MDチェンジャーにならない	MDチェンジャーの接続が不完全。	MDチェンジャーとの接続を確認してください。
CDを再生しても、自動で録音されない	デジタル録音モードが“MANUAL”に設定されている。	デジタル録音モードを“AUTO”に設定してください。(96ページ参照)
	MP3を再生している。	MP3は録音できません。
音声は出るが、映像が出ない	画面消しボタンで画面を消したとき。	SOURCE を押してください。(49ページ参照)
音声は出るが、TV映像が出ない(停車中)	サイドブレーキを引いていない。	サイドブレーキを引いてください。
映像も音も出ない	車の電源スイッチが入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードの接続が不完全。	各接続コードの接続を確認してください。
ディスプレイに光る点がある	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
壁紙が表示されない	取り込み画像サイズおよびファイル形式は適切ですか。	取り込み画像サイズを確認してください。(43ページ参照)
DVD再生中センタースピーカーから音が出ない	センタースピーカーのセッティングが“NONE”になっていませんか。	スピーカーサイズ切替で“LARGE”もしくは“SMALL”にしてください。(38ページ参照)
DVD再生中リアスピーカーから音が出ない(5.1chで鳴らない)	DVDの音声ドルビーサラウンドまたは(ステレオ)になっていませんか。	音声切替を行ってください。音声属性はパッケージでご確認ください。(139ページ参照)
サブディスプレイにトラックタイトルなどが表示されない	トラック情報などが収録されているディスクを再生していますか。	トラック情報が収録されているディスクを再生してください。
	サブディスプレイの表示設定が時計表示になっていませんか。	サブディスプレイの表示設定で時計表示を切り替えてください。(52ページ参照)

用語説明

MP3	MP3はMPEG Audio LayerⅢの略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聴きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1／10のサイズにすることができます。
ID3タグ	MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。ID3タグに対応したプレイヤーでID3タグ情報の表示・編集が可能です。
エンコーダ	WAVEファイルからMP3ファイルへ変換（圧縮）するためのソフトウェアのことです。
ATRAC3 (アトラックスリー)	「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略で、高音質、高圧縮を両立させた圧縮技術です。元のファイルを約1／10のサイズに圧縮することができるので、1枚のCDに複数の音楽を録音することができます。
“メモリースティック”	小型、軽量のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1枚の“メモリースティック”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。
“MG メモリースティック (マジックゲートメモリースティック)”	著作権保護技術 “Magic Gate (マジックゲート)”を搭載した“メモリースティック”の名称で、音楽など、著作権保護技術が必要なデータの記録・再生を行うためのIC記録メディアです。対応機器とメディアの間で、お互いが、著作権保護に対応しているかどうかの判断を行い、対応していると認証された機器のみで再生することができます。

用語説明

SCMS (シリアルコピー マネージメントシステム)

デジタル録音は、音質の劣化がとても少ないという特徴があり、著作権保護の観点から、デジタル信号でコピーした音源をさらにデジタル信号で録音（コピー）することはデジタル録音機器によって規制されています。これがSCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）です。

Dolby Digital (5.1ch)

フロントL/R、センター、リヤサラウンドL/Rの、サブウーファ6つのスピーカーを使用する5.1chの標準的なフォーマット [Dolby Digital] に対応しています。6chそれぞれを完全に独立（ディスクリート方式）させたデジタル圧縮信号をデコーダで伸長。自然で立体的な音場と明瞭な移動感、定位感で、ビデオソフトを十分に楽しむことができます。

DTS (5.1ch)

デジタルシアターシステム社が開発した最新の劇場用サラウンド方式 [DTS] にも対応しています。ドルビーデジタル5.1chと同様、6chそれぞれに別々の音声収録されていますが、圧縮率がドルビーデジタルの約1/10に比べ約1/4と低いため、さらにダイナミックレンジの広い緻密なサウンドを得ることが可能です。

コピーコントロールCD レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを“セッション”と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

Dolby Pro Logic	ステレオ2chの中にセンター、リヤサラウンド（モノラル）の信号を合成して記録したもので、従来からビデオソフトなどに採用されている一般的なサラウンド方式です。再生時にデコーディングを行い、これらの信号を抽出。2chで録音されている名画旧作品や音楽CDも豊かな臨場感で楽しむことができます。
LPCM（リニアPCM）	音楽CDに使用されている信号記録方式で、Linear Pulse Code Modulationの略です。音楽CDでは、44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは、48kHz/16bit～96kHz/24bitで記録されているため、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。
MPEG	Moving Picture Experts Groupの略で、「エムペグ」と読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。
gracenote CDDB	CDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteロゴ及びロゴタイプ、Gracenote CDDBロゴ及びロゴタイプ、ならびに"Powered by Gracenote CDDB"ロゴは、Gracenoteの商標です。音楽認識サービスとMRSはGracenoteのサービスマークです。 音楽認識技術及び関連データは、Gracenote及びthe Gracenote CDDB Music Service により提供されています。Gracenoteは音楽認識技術及び関連コンテンツ配信分野での業界標準です。 より詳しい情報は、www.gracenote.comをご覧ください。

gracenote CDDBのご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、バークレー市のGracenote ("Gracenote") からの技術とデータが含まれています。この製品はGracenoteの技術 ("Gracenote Embedded Software") により、ディスク識別を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報 ("Gracenote Data") を得ることも可能です。この技術はGracenote Database ("Gracenote Database") に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Dataにアクセスすることに同意すること。
- 第三者に、Gracenote Embedded SoftwareまたはGracenote Dataの譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されたこと以外でのGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたのGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Databaseの全ての使用をやめることに同意すること。
- GracenoteはGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの所有権を含むすべての権利を保有しています。
- Gracenoteはこの同意のもとで、Gracenoteの名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded SoftwareやGracenote Dataの各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。Gracenoteは、すべてのGracenote Dataの正確さに関する、明示或いは黙示、真実の表明或いは保証は、一切致しません。GracenoteはGracenoteが明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。

Gracenote Embedded Softwareが、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Softwareの機能が断絶しないものであるという保証は致しません。

Gracenoteは新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来Gracenoteが提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenoteは、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不存在を含む全ての明示または黙示の保証をしません。Gracenoteは、Gracenote ComponentまたはいかなるGracenote Serverの利用により生じた結果について保証しません。

Gracenoteはいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

目的別索引

画面・音の調整について

<画面の調整に関して>

- オーディオ操作画面や、TV・DVDの画面を見やすくしたい
「画面の調整・設定」……………P48
- サブディスプレイを見やすくしたい
「サブディスプレイのコントラスト調整」……………P51
- 操作画面、または設定画面の表示を、自動で切り替えたい
「優先画面の設定」……………P51
- 画面を消したい
「画面を消すときは」……………P49
- 操作画面などのタッチスイッチを消したい
「画面スイッチの表示切り替え」……………P52
- 壁紙を切り替えたい
「Pic-CLIPを切り替える」……………P41
- パソコンで取り込んだ画像やデジタルカメラで撮った画像を壁紙にしたい
「Pic-CLIPを書き換える」……………P42
- パソコンで取り込んだ画像やデジタルカメラで撮った画像をHDDに保存したい
「画像データを保存する」……………P44
- HDDから画像データを削除したい
「画像データを消去する」……………P46
- 画面をワイドモードにしたい
「画面モード切り替え」……………P53
- サブディスプレイに時計を表示したい
「時計表示の切り替え」……………P52

<音の調整に関して>

- 音量をかえたい
「主音量の調整」……………P24
- スイッチを操作したときの操作音を消したい（鳴らしたい）
「操作音の設定」……………P24
- 演奏会場を擬似的に創り出したい
「DSP（音場）の設定」……………P28

目的別索引

- イコライザを調整したい
「EQ（イコライザ）の調整」P29
- 音量バランスを調整したい
「音量バランスの調整」P32
- 小・高音量時にメリハリのある音にしたい
「オートLOUDの設定」P33
- MP3の音質を調整したい
「MP3音質補正の設定（MP3ハーモナイザー）」P33
- サブウーファの設定を変更したい
「サブウーファの設定」P34
- DVDビデオをもっと迫力のあるサウンドで聞きたい
「サラウンドシステムの調整」P35
- 音の到達時間差やスピーカーの出力レベルを調整したい
「スピーカーの調整」P38

オーディオ関係

ラジオの使い方について

■ラジオを聞きたい

「ラジオを聞く」P54

■放送局を探したい

「聞きたい放送局を選ぶ」P54

■放送局を記憶させたい

「放送局を記憶する」P55

■今、いるエリアの放送局が知りたい

「エリアスイッチについて」P57

CD・CDチェンジャーの使い方について

■CDを聞きたい

「CDを聞く」P58

■聞きたい曲やCDを選びたい

「聞きたい曲を選ぶ」P59

「聞きたいCDを選ぶ」P77

「聞きたい曲を探す」P59

「チェンジャー内の全CDから聞きたい曲やCDを探す」P77

■いま聞いている曲やCDを繰り返し再生したい

「同じ曲を繰り返し聴いて聞く」……………P60

「聞きたい曲や同じCDを繰り返し聴いて聞く」……………P78

■いつもと違う順番で聞きたい

「曲の順番をランダムに聴いて聞く」……………P60,78

■トラック情報を切り替えたい

「トラック情報の表示について」……………P61

「トラックナンバー・再生時間を表示する」……………P61,79

MP3プレーヤーの使い方について

■MP3を聞きたい

「MP3を聴いて聞く」……………P63

■聞きたいフォルダや音楽ファイルを選びたい

「聞きたいフォルダを選ぶ」……………P63

「聞きたい音楽ファイルを選ぶ」……………P64

■階層を戻りたい／今の階層がわからない

「階層の表示を切り替える」……………P64

■聞きたい音楽ファイルを探したい

「聞きたい音楽ファイルを探す」……………P65

■同じ音楽ファイルを繰り返し再生したい

「同じ音楽ファイルを繰り返し聴いて聞く」……………P65

■普段と違う順番で聞きたい

「順番をランダムに聴いて聞く」……………P66

■ディスクに記録した情報を表示したい

「ファイル情報を表示する」……………P67

■MP3について知りたい

「MP3について」……………P68

■MP3ファイルの作り方を知りたい

「MP3ファイルの作り方、楽しみ方」……………P71

「ファイル情報の表示について」……………P66

目的別索引

“メモリースティック” プレーヤーの使い方について

■ “メモリースティック” を聞きたい

「メモリースティック」を聞くP72

■ 聞きたい曲を選びたい

「聞きたい曲を選ぶ」P73

■ 聞きたい曲を探したい

「聞きたい曲を探す」P73

■ いま聞いている曲を繰り返し再生したい

「同じ曲を繰り返し聴く」P74

■ いつもと違う順番で聞きたい

「曲の順番をランダムに聞く」P74

■ トラック情報を切り替えたい

「トラック情報の表示について」P75

MDチェンジャーの使い方について

■ MDを聞きたい

「MDを聞く」P80

■ 聞きたい曲やMDを選びたい

「聞きたい曲を選ぶ」P81

「聞きたいMDを選ぶ」P81

■ 聞きたい曲が何番目、またはどのMDに入っているかわからない

「聞きたい曲を探す」P82

「聞きたいMDを探す」P82

■ いま聞いている曲やMDを繰り返し再生したい

「いま聞いている曲を繰り返し再生する」P83

「いま聞いているMDを繰り返し再生する」P83

■ いつもと違う順番で聞きたい

「曲の順番をランダムに聞く」P84

「ディスクタイトル・トラックタイトルを表示する」P85

「トラック情報の表示について」P85

MUSIC JUKEについて

MUSIC JUKEの使い方について

■MUSIC JUKEを聞きたい

「MUSIC JUKEを聞く」P101

■MUSIC JUKEについて知りたい

「MUSIC JUKEの概要」P87

「MUSIC JUKEの構成について」P87

■録音について知りたい

「MUSIC JUKEへの録音について」P94

「録音についての注意」P94

●録音できるオーディオソースについて知りたい

「録音できるオーディオソースと録音方式について」P94

●録音の設定を切り替えたい

「録音方式の設定」P96

■データベースについて知りたい

「データベースについて」P89

■プレイリスト自動作成機能について知りたい

「オートタイティング機能について」P90

■タイトルデータベースを更新したい

「データベースを更新する」P91

■MUSIC JUKEに録音したい

●CDアルバムを自動で録音したい

「CDを再生しながら自動で録音する」P99

●CDを再生しながら好きなときに録音したい

「CDの中から好みのトラック（音楽）を録音する」P100

●他のオーディオモードから録音する

「CDプレーヤー以外のオーディオモードから録音する」P100

目的別索引

■プレイリストを編集したい

- 新しいプレイリストを作成したい
「プレイリストの作成」P109
- 新しくアーティストをリストに追加したい
「アーティストを変更する」P119
- 作成したプレイリストを編集したい
「リスト名称の編集」P112
- プレイリストを削除したい
「プレイリストの消去」P115
- プレイリスト・トラックを並び替えたい
「プレイリスト・トラックの並び替え」P114

■トラック（曲）を編集したい

- 作成したプレイリストにトラック（曲）を追加したい
「トラックの追加」P116
- 録音したトラック（曲）を編集したい
「トラック情報の編集」P117
- トラック（曲）を削除したい
「トラックの消去」P120

■聞きたいトラック（曲）を選びたい

- 「TUNE/TRACKボタンから選ぶ」P102
- 「プレイリスト画面から選ぶ」P103

■聞きたいトラック（曲）を探したい

- 「プレイリストの中から聞きたい曲を探す」P104
- 「プレイモードの中から聞きたいプレイリストを探す」P104

■いま聞いているプレイリストやトラック（曲）を繰り返し再生したい

- 「いま聞いている曲を繰り返し再生する」P105
- 「いま聞いているプレイリストを繰り返し再生する」P105

■いつもと違う順番で聞きたい

- 「いま聞いているプレイリストの中からランダムに再生する」 …P106
- 「MUSIC JUKEに保存されている全曲の中からランダムに再生する」…P106

■トラック情報を切り替えたい

- 「トラック情報の表示について」P107

TVについて

TVの使い方について

■TVを見たい

「TVを見る」……………P122

■放送局を探したい

「見たいチャンネルを選ぶ」……………P123

■放送局を記憶させたい

「チャンネルを記憶する」……………P123

■TVの設定画面に表示を切り替えたい

「TV設定画面の切り替え」……………P125

■今、いるエリアの放送局が知りたい

「エリアスイッチについて」……………P126

■今、聞いている音声を切り替えたい

「音声多重放送を切り替える」……………P126

■同時に複数の番組を表示したい

「マルチチャンネルビューを表示する」……………P125

DVDビデオ/VTRについて

DVDプレーヤーの使い方について

■DVDビデオを見たい

「DVDを見る」……………P131

■ディスクについて知りたい

- ディスクやパッケージに表示されているマークの意味が知りたい
「ディスクに表示されているマークについて」……………P129
- 再生できるディスクを知りたい
「再生できるディスクの種類について」……………P128
- 再生できるサラウンドシステムを知りたい
「再生できるサラウンドシステムについて」……………P129
- ディスクの構成を知りたい
「ディスクの構成について」……………P129

目的別索引

■ディスクに記録されているメニューを操作したい

「ディスクメニューを操作する」P133

■再生している映像を操作したい

「映像を操作する」P132

■映像を選びたい・探したい

「チャプターから探す」P134

「タイトル番号から探す」P134

「メニュー番号から探す」P135

■タッチスイッチの表示を切り替えたい

「タッチスイッチの表示場所を切り替える」P136

■字幕や音声、映像のアングルを切り替えたい

「アングルの切り替え」P136

「字幕言語の切り替え」P137

「音声言語の切り替え」P137

■プレーヤーの設定について知りたい

「音声言語を設定する」P139

「字幕言語を設定する」P139

「メニュー言語を設定する」P140

「マルチアングルマーク（アングル選択マーク）の表示を設定する」 ...P140

「視聴制限を設定する」P141

「映像出力を切り替える」P142

■VTRを使いたい

「VTRの使い方」P144

その他

便利な機能

■ナビゲーション画面とオーディオ画面を同時に表示したい

「マルチウインドウについて」P145

わからなくて困りのとき

「こんなメッセージが表示されたときは」P149

「故障とお考えになる前に」P157

索引

五十音順

ア

エリアスイッチ	57, 126
オートLOUDの設定	33
オートタイトリング機能	90
音質の調整	25
音声多重放送	126

カ

画質調整	50
画像データを消去する	46
画像データを保存する	44
画面の調整	48
画面モード切り替え	53

サ

サブウーファの設定	34
サブディスプレイのコントラスト調整	51
主音量の調整	24
スピーカーの調整	38
操作音の設定	24

タ

データベースについて	89
データベース情報の表示	91
データベース情報の更新	91
時計表示	52
トラック情報の表示	61, 75, 107
トラックの編集	116

ハ

ハードディスク容量の確認	92
背景画（壁紙）	41
昼画表示	49
ファイル情報の表示	66, 85
プレイモード・プレイリスト	88
プレイリストの編集	109

マ

マルチアングルマーク	140
マルチウィンドウ	145
マルチチャンネルビュー	125
名称入力	111

“メモリースティック” プレーヤーの 使い方	72
---------------------------	----

ヤ

夜画表示	49
------	----

ラ

ラジオの使い方	54
録音方式の設定	96

索引

アルファベット

A

AUTO .P 56,124

C

CDチェンジャーの使い方 76

CDプレーヤーの使い方 58

Center Blendを調整する 36

Center Levelを調整する 37

COMPRESSIONを調整する 36

D

DISC RAND 78,84

DISC RPT 78,83

DISC SCAN..... 77,82

Dolby Pro Logicを設定する 35

DSP（音場）の設定 28

DVDビデオの特長 127

DVDプレーヤーの使い方 131

E

EQ（イコライザ）の調整 29

H

HOME 64

M

MDチェンジャーの使い方..... 80

MP3音質補正の設定
（MP3ハーモナイザー） ... 33

MP3について 68

MP3プレーヤーの使い方 62

MUSIC JUKEの使い方 101

MUSIC JUKEへの録音..... 98

P

Pic-CLIP 41

POS 31

R

RAND 60,66,74,84,106

Rear Levelを調整する 37

RPT 60,65,74,83,105

S

SCAN 59,65,73,82,104

T

TV設定画面 125

TVを見る 122

V

VTRの使い方 144

MEMO

ご参考に

MEMO

[illegible]

MEMO

ご参考に

MEMO

[illegible]

富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話 神戸 (078) 671-5081



この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この説明書は、再生紙を使用しています。

©富士通テン株式会社 2003

090002-2642A700
0405C (N)